

2. 地区別構想（20地区）

① 咸宜地区

(1) 地区の概況

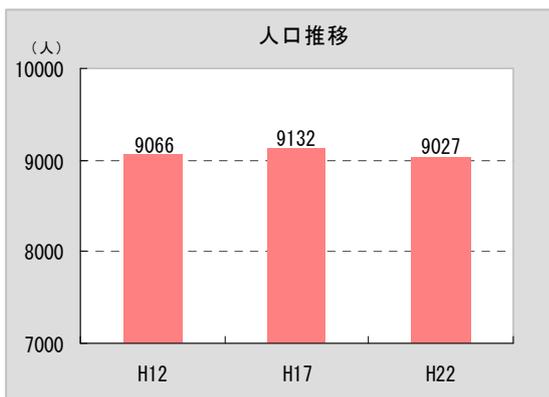
● 位置・地勢

- 伝統的建造物が建ち並び、歴史・文化が感じられる豆田地区と官公庁関係施設等が集積する田島地区を中心とした利便性の高い地区です。
- 商業地や住宅地が中心となる西部地区と大原公園や比佐津公園等の自然環境に恵まれた東部地区で構成され、都市と自然が共存している地区です。

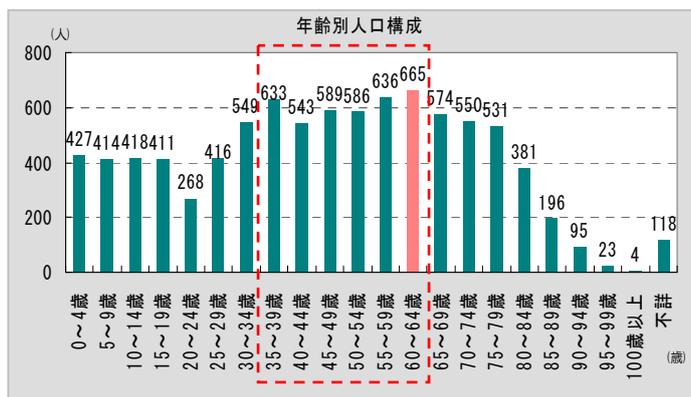


● 人口の動向

- 地区における人口は、平成12年からほぼ横ばいの傾向です。
- 年齢別人口構成は、30歳代後半から60歳代前半が比較的多くなっています。



出典：国勢調査（H12・H17・H22）



出典：国勢調査（H22）

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 地区全域が都市計画区域内であり、住居系・商業系の用途地域が配置されていますが農用地も点在しています。
- 中心商店街となる三本松や中央通りにまとまった空地や空き店舗が点在しています。
- 地区東部の一部と地区西部に低層住宅地が広がっているため、高度地区を3地域に指定しています。
- 古い町並みが残る地区や官公庁機能が集積した地区等の土地利用が中心です。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として国道212号・県道日田玖珠線・県道戸畑日田線が配置されています。
- 地区内に都市計画道路が9路線ありますが完了していない区間や長期未着手の路線があります。
- 低層の木造住宅が密集している地区に、狭隘な道路が通過しています。
- 観光拠点でもある豆田地区を縦断する生活道路は交通量が多く、中心市街地や豆田地区周辺部の駐車場も不足しています。

● 公園緑地

- 地区内には8ヶ所の都市計画公園があり、小規模な公園も点在しています。
- 大原公園や比佐津公園等、市街地の中にとまった貴重な山林緑地が残っています。



● 都市施設

- 地区全域に上水道や簡易水道が整備されています。
- 地区全域に公共下水道が整備済みです。
- 公民館・警察署・文化会館等、多様な公共施設が立地しています。
- 花月川や城内川等の増水により、地区内の水路等の氾濫が懸念されます。

● 景観

- 豆田地区は、歴史的・文化的な古い町並みが形成されており、当時の町割りや伝統的建造物群が残る貴重な地区です。
- 草野本家や咸宜園などの歴史的景観資源が多く残されています。
- 地区の東部にある月隈公園や比佐津公園は日田盆地特有の山なみ景観を感じることができる貴重な自然景観が広がっています。



● 防災

- 豪雨に伴う花月川等の増水・氾濫による家屋の浸水被害が懸念されます。
- 木造住宅等が密集している地域では、狭隘な道路や火災・地震等の災害発生に伴う被害が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動について周知・徹底や日頃からの連絡体制の確認や強化が求められています。

● その他

- 商業施設や官公庁等の公共施設が集積していることから、土地の利用価値の高さを活かした中心市街地としての活性化が求められています。



咸宜地区の現況・課題図

【土地利用】

- 地区全域が都市計画区域内であり、住居系・商業系の用途地域が配置されているが、農用地も点在
- 中心市街地となる商店街にまとまった空き地や空き店舗が点在
- 地区東部の一部と地区西部に低層住宅地や広がっているため、高度地区を3地区指定
- 古い町並みが残る地区や官公庁機能が集積した地区等、多様な土地利用が図られている

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、国道1路線と県道2路線が配置
- 都市計画道路が9路線あり、整備が完了していない区間や路線あり
- 低層住宅が密集している地区に狭隘な道路あり
- 観光拠点となる豆田地区や中心市街地は交通量が多く、駐車場も不足

【公園緑地】

- 都市計画公園が8公園あり、小規模公園も点在
- 大原公園や比佐津公園など、市街地の中にまとまった緑地が残る

【都市施設】

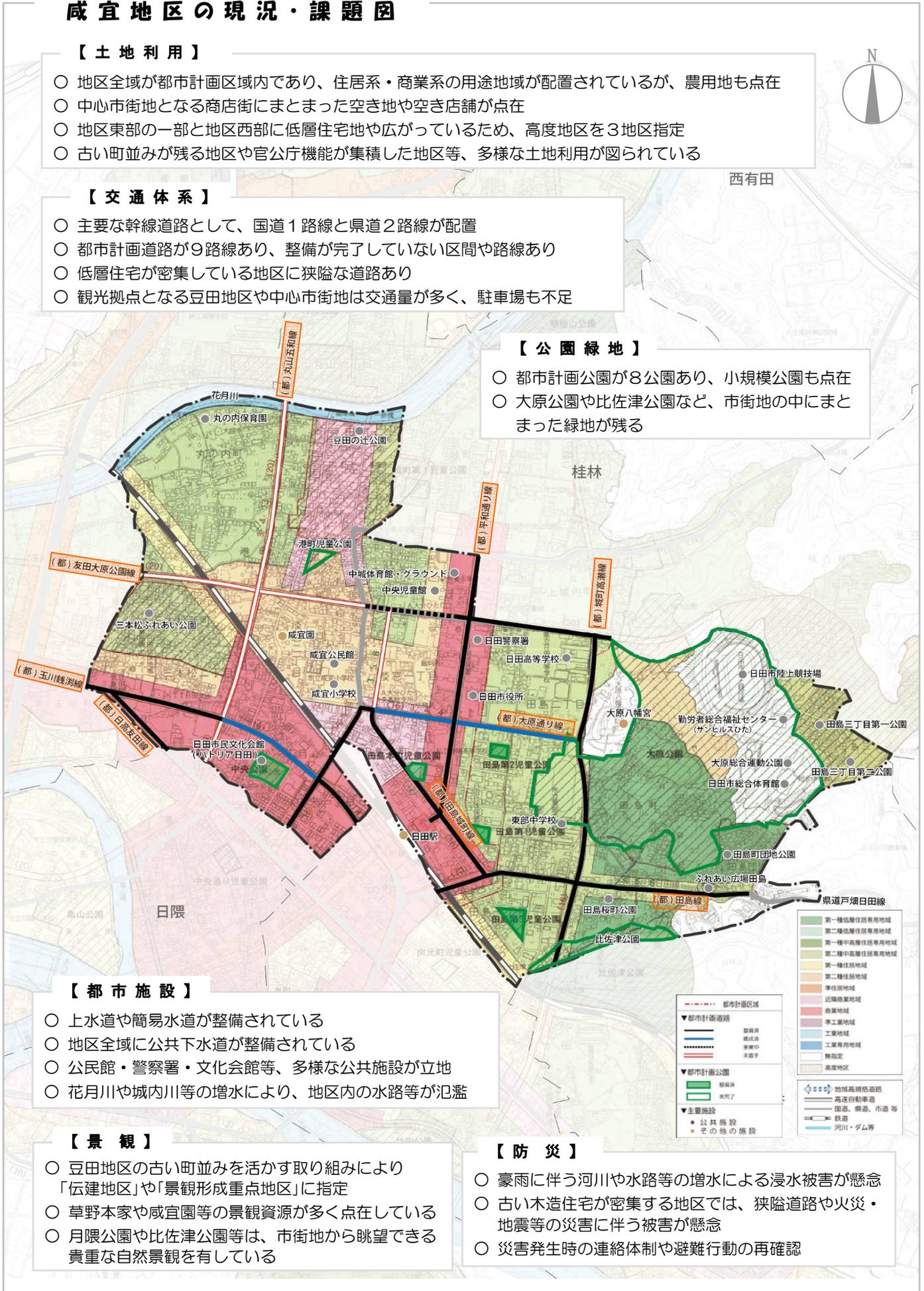
- 上水道や簡易水道が整備されている
- 地区全域に公共下水道が整備されている
- 公民館・警察署・文化会館等、多様な公共施設が立地
- 花月川や城内川等の増水により、地区内の水路等が氾濫

【景観】

- 豆田地区の古い町並みを活かす取り組みにより「伝建地区」や「景観形成重点地区」に指定
- 草野本家や咸宜園等の景観資源が多く点在している
- 月隈公園や比佐津公園等は、市街地から眺望できる貴重な自然景観を有している

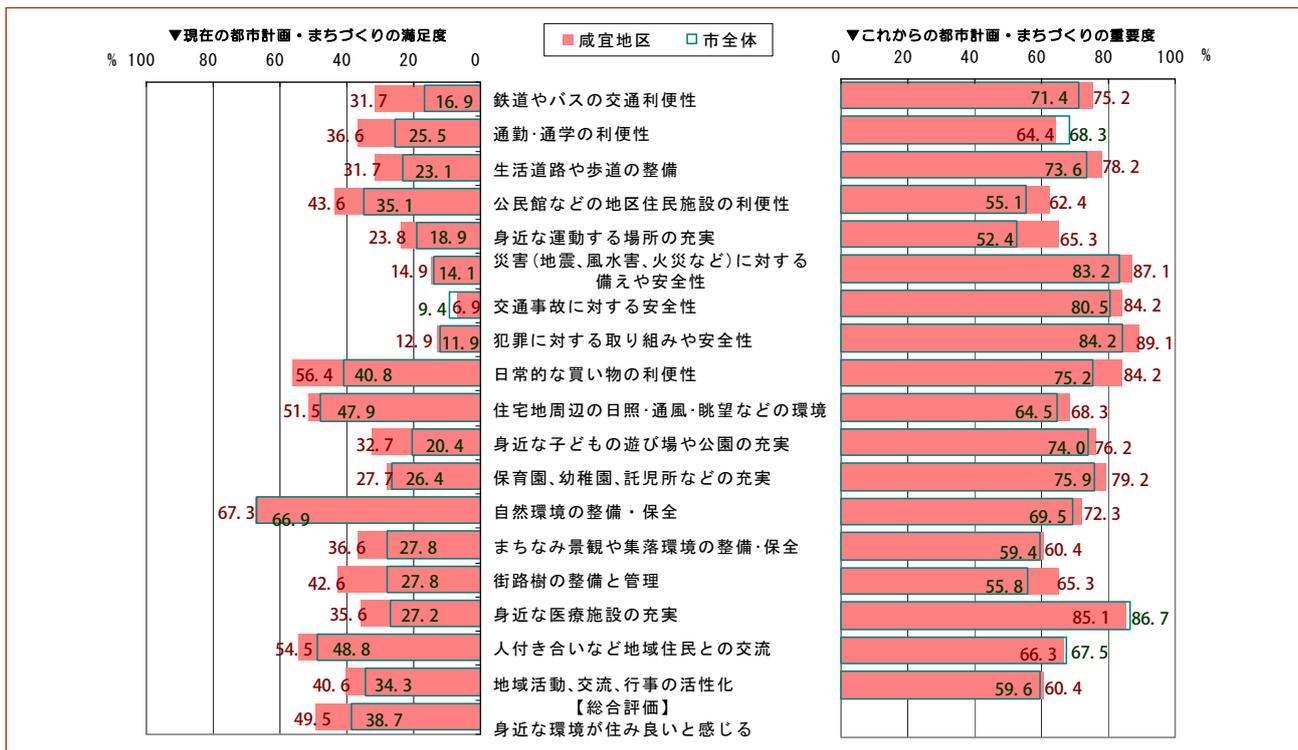
【防災】

- 豪雨に伴う河川や水路等の増水による浸水被害が懸念
- 古い木造住宅が密集する地区では、狭隘道路や火災・地震等の災害に伴う被害が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認



● 市民の意向

- “交通事故に対する安全性”を除く、全ての項目の満足度が市全体の平均よりも高くなっていることから、比較的暮らしやすい環境が整っていることが推測できます。
- 日用品等の買い物、通勤・通学の利便性、街路樹の管理、身近な子供の遊び場や公園に対する満足度が高いことが特徴的です。
- 災害に対する備えや犯罪に対する取り組み等安全・安心まちづくりに関する重要度が高いことに注視する必要があります。
- 公民館の利便性や街路樹の管理等、経年が原因と考えられる施設の整備・改善の重要度が高い点は、地域の課題を反映していると思われます。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 豆田地区は江戸時代の町割りの面影を残す歴史的文化的な町並みが形成されていることから“**人々が集い交流するまちづくり**”を推進します。
- 多くの公共施設が集積し、生活利便性も高く、駅前地区と隣接していることから“**中心拠点としての賑わいのあるまちづくり**”を推進します。
- 住居系の用途地域の占める割合が比較的高いことから、居住人口の増加も視野に入れた居住環境の向上を図り、中心市街地の活性化を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地利用

- 土地利用の動向や道路整備等による土地利用の変化に対する誘導・規制を促進します。
- 中心市街地にある空き地や空き店舗等の有効活用のため、高度な土地利用を推進します。
- 都市計画道路整備後の沿道や周辺地域の居住環境の向上に努めます。
- 古い町並みが残る豆田地区の保全及び町並みの連続性の維持を推進します。
- 点在する農用地の無秩序な土地開発の抑制による居住環境の向上に努めます。

● 交通体系

- 都市計画道路は地域の実情や必要性も踏まえて、地元住民や関係機関等との調整を図りながら、整備・計画等の見直しを検討します。
- 豆田地区及び中心市街地における駐車場の拡充に努めるとともに、生活道路等の利用現況を踏まえながら、通過交通対策に努めます。
- 道路の管理・保全による機能の維持を推進し安全性の向上に努めます。



都市計画道路 友田大原公園線

● 公園緑地

- 未整備区域がある都市計画公園については、地元住民や関係機関等と協議しながら、整備や計画等の必要性を検討します。
- 地区内にある既存公園は、適正な管理・保全による機能の維持に努めます。

● 都市施設

- 上水道等の水道供給施設の維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 下水道施設の適正な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- 地域に集積する多様な公共施設の適正な管理による機能の維持を推進します。
- 氾濫する恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。



城内川

● 景観

- 豆田地区の古い町並みの保全を支援し、良好な景観の誘導及び景観資源の有効な利活用を促進します。
- 地区東部にある大原公園等の自然緑地景観については“日田特有の山なみ景観”として、積極的な維持・保全と適正な管理に努めます。

● 防災

- 花月川や城内川等の氾濫や災害危険区域等に関する情報収集や災害防止対策に努めます。
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善や耐震改修、防火設備等の設置に努めます。
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

● その他

- 静かな環境が広がる田島地区については、用途の混在防止による居住環境の維持に努めます。

咸宜地区の方針図

【土地利用】

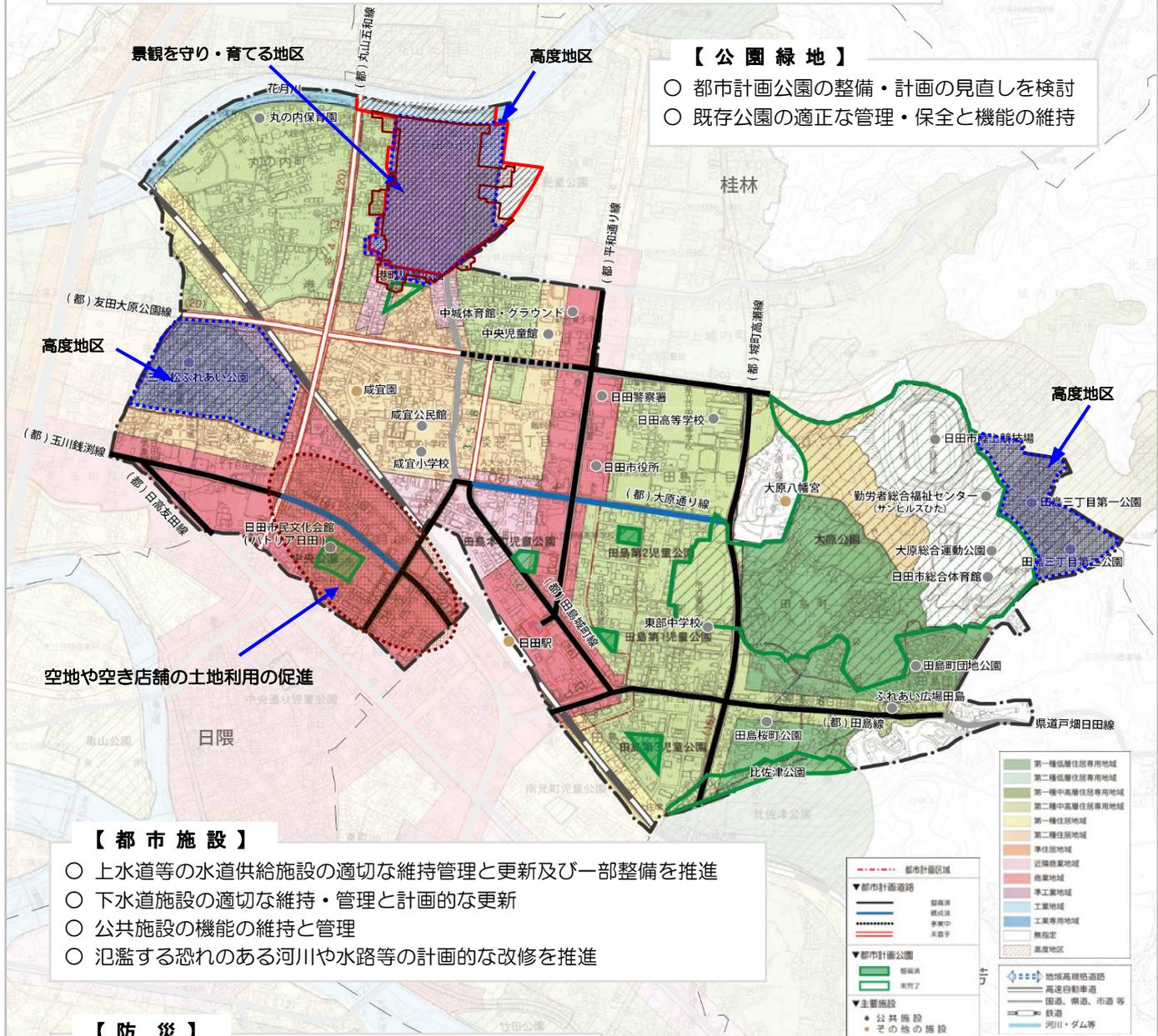
- 土地の利用動向や道路整備等による土地利用の変化に対する誘導を促進
- 中心市街地の空き地や空き店舗の利活用を促進するため高度な土地利用を推進
- 都市計画道路整備後の沿道や周辺地域の居住環境の維持
- 古い町並みが残る地区の保全及び町並みの連続性の維持を推進
- 点在する農用地の無秩序な土地開発の抑制による周辺居住環境の向上

【交通体系】

- 都市計画道路は地域の実情や必要性も踏まえて計画の見直しを検討
- 豆田地区における通過交通及び中心市街地や豆田地区の駐車場の拡充などの交通対策を推進
- 道路機能の維持・保全と適正な管理による安全性の向上

【公園緑地】

- 都市計画公園の整備・計画の見直しを検討
- 既存公園の適正な管理・保全と機能の維持



【都市施設】

- 上水道等の水道供給施設の適切な維持管理と更新及び一部整備を推進
- 下水道施設の適切な維持・管理と計画的な更新
- 公共施設の機能の維持と管理
- 氾濫する恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進

【防災】

- 花月川や城内川等の増水・氾濫・災害危険区域に関する情報収集や災害防止対策に努める
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善や耐震改修や防火設備等の設置に努める
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避、連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

【景観】

- 豆田地区の古い町並みの保全を支援し、良好な景観形成誘導及び景観資源の有効な活用を促進
- 特徴的な自然景観の保全及び活用のため、周辺や背景となる景観の誘導

② 桂 林 地 区

(1) 地区の概況

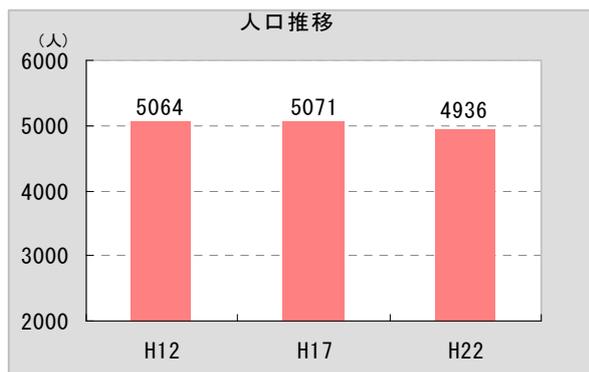
● 位置・地勢

- 月隈公園・慈眼山公園・大原公園等の丘陵地が北部～東部にかけて地区を囲むように連なっているなか、中央部から南部にかけて低層住宅地が広がっています。
- 官公庁等の機能が集積した地区に隣接しており利便性の高い住環境を形成している地区です。

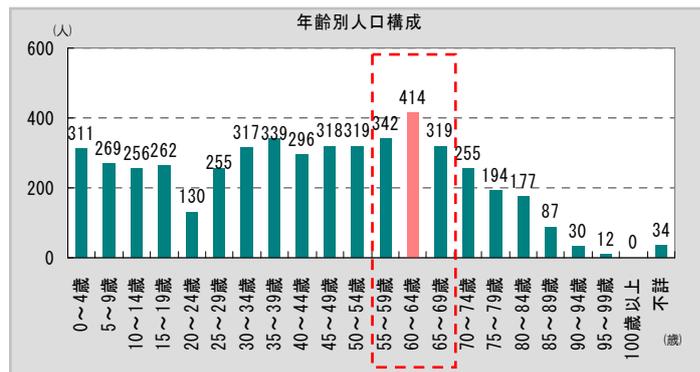


● 人口の動向

- 地区人口は緩やかに減少傾向を示し、平成12年と比較して約130人減少しています
- 子供から高齢者まで幅広い世代で均一的な年齢構成となっています



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地 利 用

- 地区全域が都市計画区域内であり、住居系商業系の用途地域が配置されていますが、農用地も点在しています。
- 地区東部の一部と地区西部に低層住宅地が広がっているため、高度地区を2地域に指定しています。
- 古い町並みが残る地区や大規模な住宅地、公営団地が集積する地区等の土地利用が中心となっています。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として県道日田玖珠線が配置されています。
- 地区内に都市計画道路が6路線ありますが整備が完了していない路線や区間があり、今後の整備・計画の方向性等について検討する必要があります。
- 低層の木造住宅が密集している地区に、狭隘な生活道路が通過しています。

● 公園緑地

- 地区内には5ヶ所の都市計画公園があり、大原公園や月隈公園等、市街地の中にまとまった貴重な山林緑地が残っています。



● 都市施設

- 上水道が整備されていますが、一部地域に未整備区域があります。
- 地区全域に公共下水道が整備済みです。
- 公民館・図書館・小学校等の多様な公共施設が立地しています。
- 花月川や城内川等の増水による河川の護岸等の損傷が発生しました。



● 景観

- 豆田地区の古い町並みを活かす取り組みにより、日田市景観計画に基づく「豆田地区景観形成重点地区」に指定しています。
- 月隈公園や慈眼山公園は、市街地から日田特有の自然景観を感じることができます。



● 防災

- 豪雨に伴う花月川等の増水・氾濫による家屋の浸水被害が懸念されます。
- 木造住宅が密集している地域では、狭隘な道路や火災・地震等の災害による被害が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動について周知・徹底や日頃からの連絡体制の確認や強化が求められています。

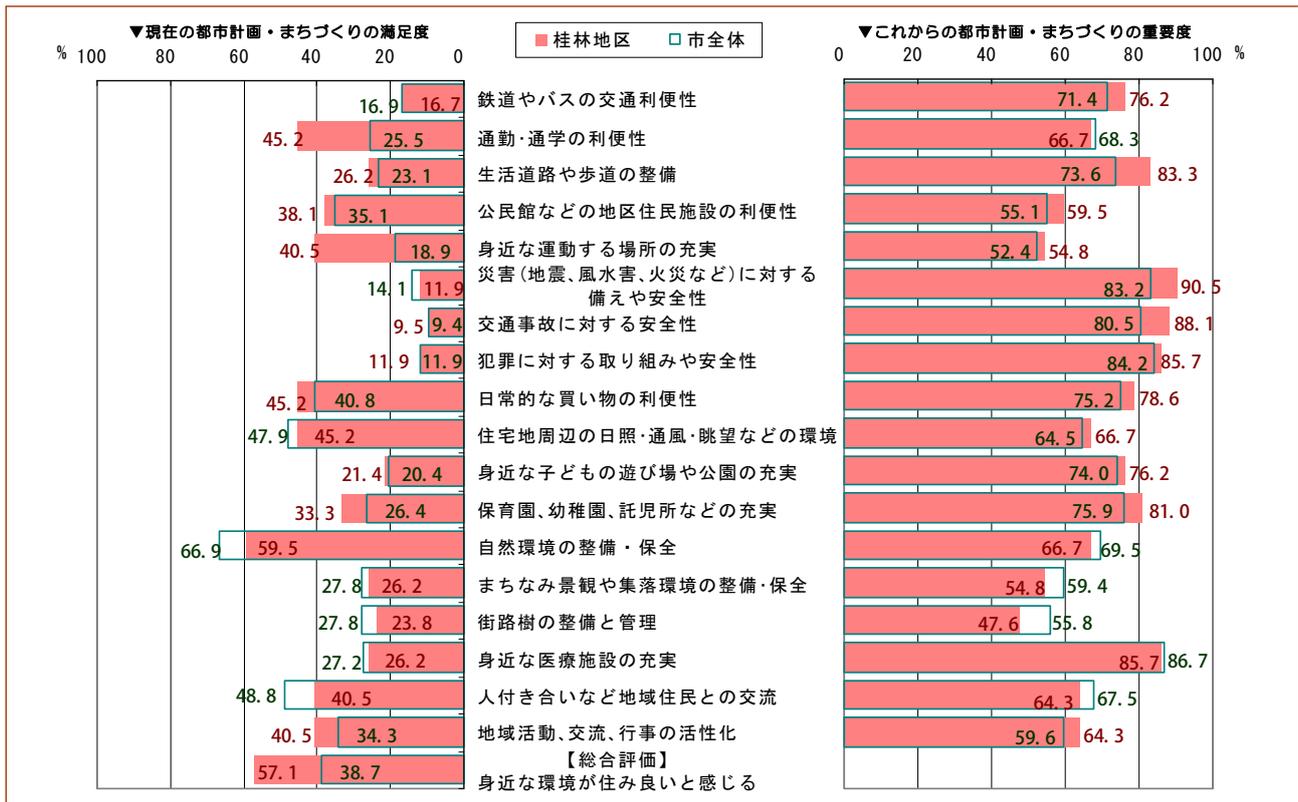
● その他

- 多目的な水路である城内川は、歴史的にも貴重な資源であることから、管理・保全や利活用が求められています。



● 市民の意向

- 地区内に小中学校や業務地、物品販売店舗が比較的多く、また、近くに立地していることから利便性に関する満足度が高く、暮らしやすい環境が整っていることが推測できます。
- 通勤・通学の利便性、保育園等の充実、日常的な買い物の利便性、身近に運動する場所の充実度が高くなっていることが特徴的です。
- まとまった住宅地が要因となって発生する日常的な交通量の増加に対応した生活道路等の整備や安全・安心なまちづくりへの取り組み等、高い居住空間づくりに関する重要度が比較的高くなっています。
- 地区内に日用品の商業施設が少ないことから日常的な買い物に対する要求を感じます。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 月隈公園や慈眼山公園等、市街地の中にある貴重な自然環境や河川環境の整備を促進することで“**よりよい居住環境を守るまちづくり**”を推進します。
- 住宅地として大規模なコミュニティを形成し、多様な施設が集積する地区と隣接する等、都市機能も充実していることから、地域特性や利便性を活かした“**賑わいのあるまちづくり**”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土 地 利 用

- 土地利用の動向や道路整備等による土地利用の変化に対する誘導・規制を促進します。
- 都市計画道路整備後の沿道や周辺地域の居住環境の向上に努めます。
- 古い町並みが残る丸山地区の保全及び町並みの連続性の維持を推進します。
- 点在する農用地の無秩序な土地開発の抑制による周辺居住環境の向上に努めます。

● 交 通 体 系

- 都市計画道路は地域の実情や必要性も踏まえて、地元住民や関係機関等との調整を図りながら、整備・計画等の見直しを検討します。
- 道路の管理・保全による機能の維持を推進し安全性の向上に努めます。



都市計画道路 平和通り線

● 公 園 緑 地

- 未整備区域がある都市計画公園については、地元住民や関係機関等と協議しながら、整備や計画の必要性を検討します。
- 緑豊かな月隈公園や慈眼山公園は歴史的背景や文化財等を有しており、貴重な自然や歴史及び文化を保全していくため、適正な維持・管理に努めます。

● 都 市 施 設

- 上水道の維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 下水道施設の適正な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- 地域に集積する多様な公共施設の適正な管理による機能の維持を推進します。
- 氾濫する恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。

● 景 観

- 丸山地区の古い町並みの保全を支援し、良好な景観の誘導及び景観資源の有効な利活用を促進します。
- 地区北部にある月隈公園や慈眼山公園等の自然景観は“日田特有の山なみ景観”として、適正な維持・管理と保全に努めます。

● 防 災

- 花月川や城内川等の氾濫や災害危険区域等に関する情報収集や災害防止対策に努めます。
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善や耐震改修や防火設備等の設置に努めます。
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

● そ の 他

- 城内川等は古い玉石積みが残る多目的な水路として文化的価値も高く、また、雨水幹線としての防災機能等も有していることから、各機能に応じた維持・保全に努めます。

桂林地区の方針図

【土地利用】

- 土地の利用動向や道路整備等による土地利用の変化に対する誘導を促進
- 都市計画道路整備後の沿道や周辺地域の居住環境の維持
- 古い町並みが残る地区の保全及び町並みの連続性を推進
- 点在する農用地の無秩序な土地開発の抑制による周辺居住環境の向上

【交通体系】

- 都市計画道路は地域の実情や必要性も踏まえて計画の見直しを検討
- 道路機能の維持・保全と適正な管理による安全性の向上

【公園緑地】

- 都市計画公園の整備・計画の見直しを検討
- 既存公園の適正な管理・保全と機能の維持

光岡

豆田地区景観形成重点地区

西有田

高度地区

咸宜

高度地区

【都市施設】

- 上水道の適切な維持・管理と更新及び一部整備を推進
- 下水道施設の適切な維持・管理と計画的な更新
- 公共施設の機能の維持と管理
- 氾濫する恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進

日隈

【景観】

- 丸山地区の古い町並みの保全を支援し、良好な景観形成誘導及び景観資源の有効な活用を促進
- 特徴的な自然景観の適正な維持・管理と保全

若宮

【防災】

- 花月川や城内川等の増水・氾濫・災害危険区域に関する情報収集や災害防止対策に努める
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善や耐震改修や防火設備等の設置に努める
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避、連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認



第一種低層住居専用地域
第二種低層住居専用地域
第一種中高層住居専用地域
第二種中高層住居専用地域
第一種住居地域
第二種住居地域
準住居地域
近隣商業地域
商業地域
準工業地域
工業地域
工業専用地域
無指定
高度地区

地域高規格道路
高速自動車道
国道、県道、市道等
鉄道
河川・ダム等

--- 都市計画区域

都市計画道路
幹線道
副幹道
主要道
支線道

都市計画公園
整備済
未完了

▼ 主要施設

公共施設
その他の施設

③ 日隈地区

(1) 地区の概況

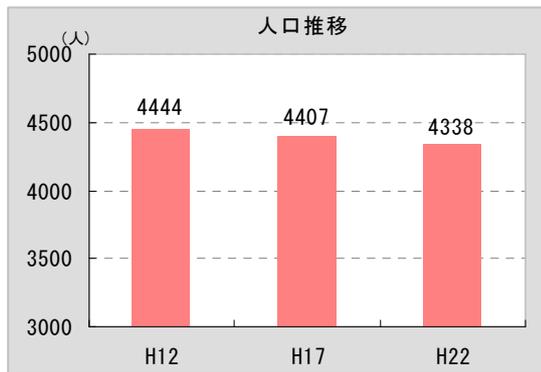
● 位置・地勢

- 三隈川や亀山公園等の恵まれた自然環境の中にあり、古い町並みや温泉街のある商業地が中心の隈・庄手地区と林業関連施設が立地する工業地と静かな住宅地が広がる島内地区など、日田特有の地域性が感じられる地区です。
- 中州形状が特徴的で未利用地も残り、有効な土地利用が期待できる中ノ島地区があります。

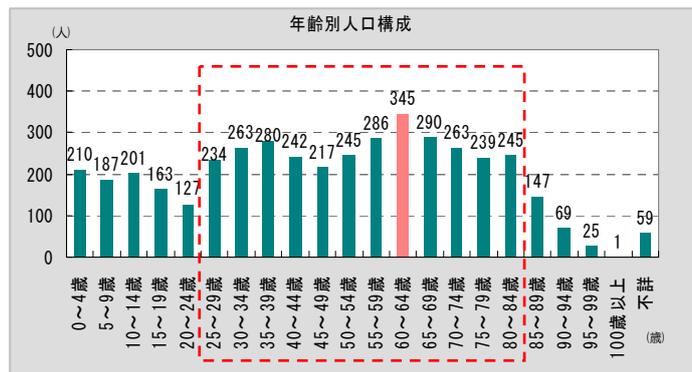


● 人口の動向

- 平成12年と比較して約100人減少していますが、30代の人口も比較的多いことから、緩やかな減少傾向が想定されます。
- 年齢別人口構成は、60歳代が比較的多くなっていますが、全体的に子供から高齢者まで幅広い世代構成となっています。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 地区全域が都市計画区域内であり、用途地域が指定されています。
- 地区内に商業系、住居系、工業系の用途地域が指定され、農用地も点在しています。
- 整備中である都市計画道路丸山五和線周辺には、低層の住宅が広がっています。
- 中ノ島地区には、住宅地や多様な施設等が立地していますが、広い範囲で未利用地もあります。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として国道212号・国道386号・県道石井庄手線が配置されています。
- 地区内に都市計画道路が8路線ありますが、整備が完了していない区間や長期未着手の路線があります。
- 低層の木造住宅が密集している地区に、狭隘な生活道路が通過しています。



● 公園緑地

- 地区内に2ヶ所の都市計画公園があり、小規模なポケットパークも点在しています。
- 多様な施設が立地している市街地であり、都市機能が充実しているため、まとまった緑地が少なくなっています。



● 都市施設

- 地区全域で上水道が整備されています。
- 地区全域に公共下水道が整備済みです。
- 小中学校のほか、保育所及び社会福祉施設等の公共施設が立地しています。

● 景観

- 隈地区は、江戸時代からの建造物が建ち並び、歴史的で特徴のある景観を有している地区であることから「隈地区景観形成重点地区」に指定しています。
- 『水郷ひた』を象徴する三隈川と日田三丘の一つである亀山公園が一体となって、特徴的な自然景観を形成しています。



● 防災

- 豪雨に伴う三隈川の増水・氾濫による家屋の浸水被害が懸念されます。
- 木造住宅が密集している地域では、狭隘な道路や火災・地震等の災害発生に伴う被害が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動について周知・徹底や日頃からの連絡体制の確認や強化が求められています。

● その他

- 隈地区の古い町並みや三隈川、日田祇園祭、日田川開き観光祭等、多様な景観資源・観光資源を有しています。



日隈地区の現況・課題図

【土地利用】

- 地区全域が都市計画区域内であり、用途地域が指定
- 地区内に住居系、商業系、工業系の用途地域が機能別に指定されており、農用地も点在
- 庄手地区を横断する予定の都市計画道路丸山五和線周辺は低層住宅が広がる
- 中ノ島地区には住宅地や多様な施設が立地しているが、広い範囲の未利用地あり

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、国道2路線と県道1路線が配置
- 都市計画道路が8路線あり、整備が完了していない区間や路線あり

【公園緑地】

- 地区内に都市計画公園が2公園あり、小規模な公園が点在
- 都市機能が充実しているため、まとまった緑地は少ない

【都市施設】

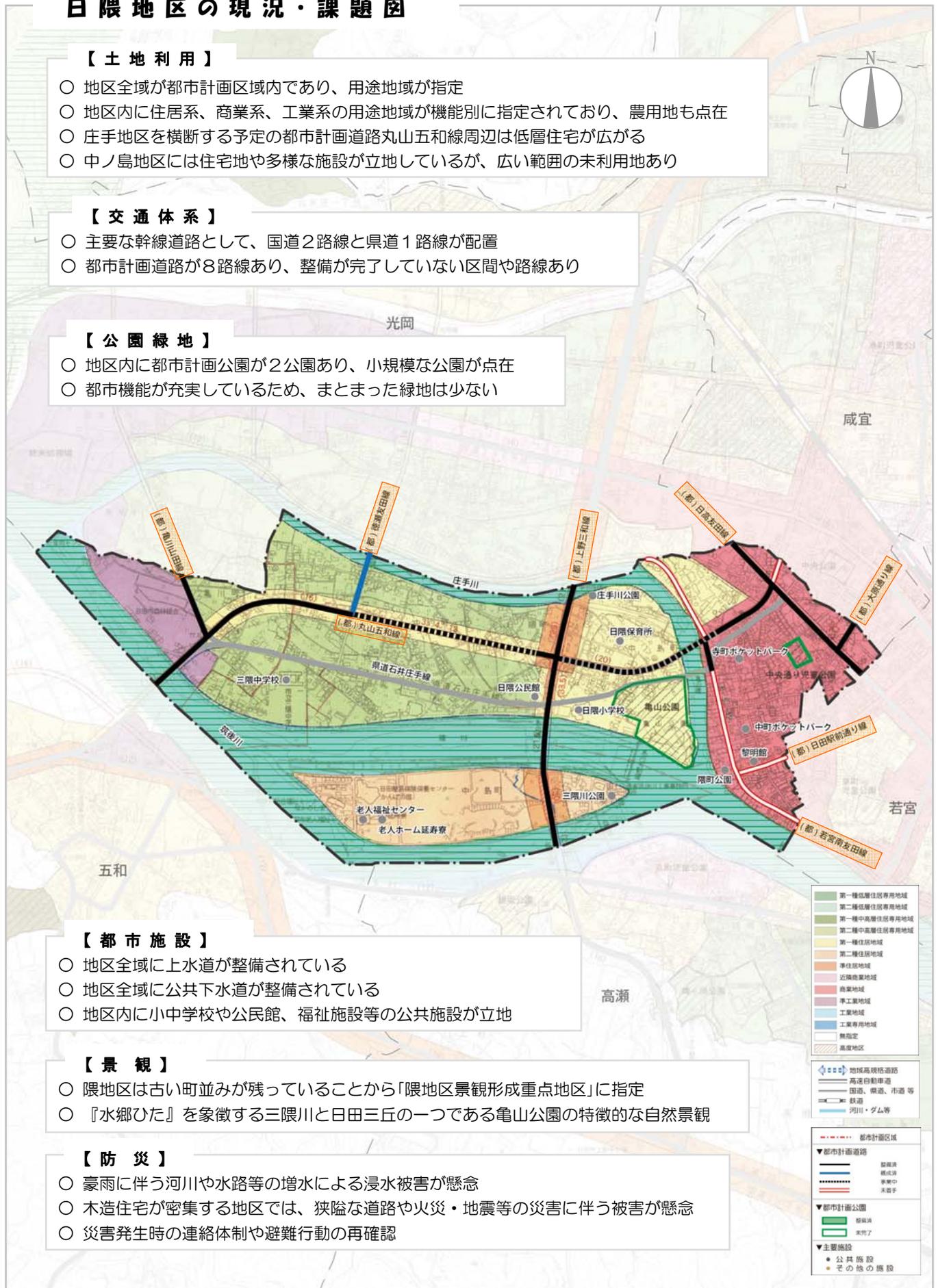
- 地区全域に上水道が整備されている
- 地区全域に公共下水道が整備されている
- 地区内に小中学校や公民館、福祉施設等の公共施設が立地

【景観】

- 隈地区は古い町並みが残っていることから「隈地区景観形成重点地区」に指定
- 『水郷ひた』を象徴する三隈川と日田三丘の一つである亀山公園の特徴的な自然景観

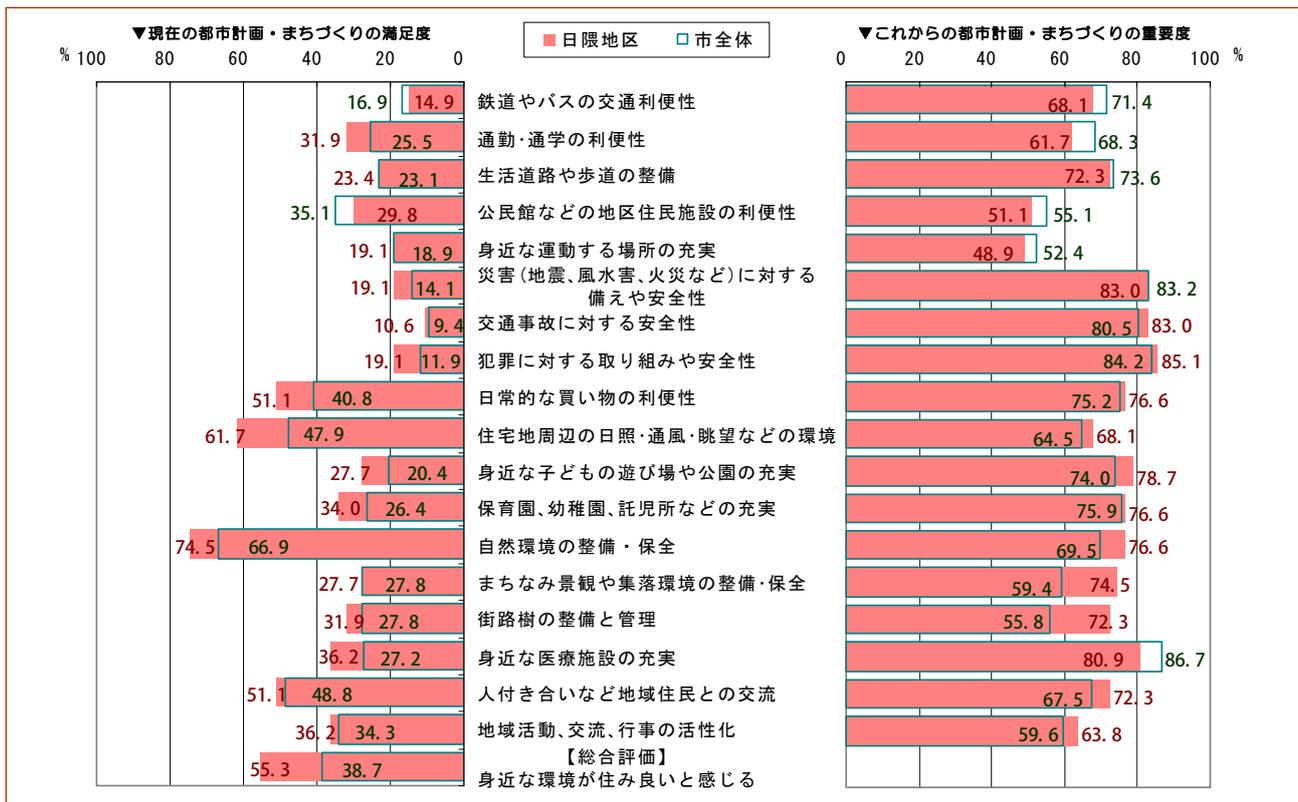
【防災】

- 豪雨に伴う河川や水路等の増水による浸水被害が懸念
- 木造住宅が密集する地区では、狭隘な道路や火災・地震等の災害に伴う被害が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認



● 市民の意向

- 日常的な買い物や自然環境の整備、住宅地周辺の環境に対する満足度が高く、公園や幼稚園等の施設も立地していることから、居住環境が充実していることが伺えます。
- ほぼ全ての項目における満足度が、市全体の平均よりも高いことから、比較的暮らしやすい環境にあると評価されています。
- 限地区においては、通過交通や観光バス等の来訪者も多く、夜間の飲食店も多いことから、安全・安心なまちづくりの重要度が高くなっています。
- 地区人口の減少や商業機能の低下により古い町並みや商店街等の機能の維持に関する重要度が高くなっています。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 『水郷ひた』を感じることができる隈・庄手地区や林業に関する機能や静かな居住環境が広がっている島内地区等、多様な機能が集まっていることから“**地区特性を活かしたまちづくり**”を推進します。
- 地区内を縦横断する幹線道路等の整備に伴い、商業施設や住宅地等の秩序ある土地利用誘導を促進していくことで、“**利便性の高いまちづくり**”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土 地 利 用

- 土地の利用動向や道路整備等による土地利用の変化に対する用途の見直しを検討します。
- 古い町並みを構成している建築物等の保全を支援し、町並みの連続性の維持に努めます。
- 都市計画道路整備後の沿道や周辺地域の居住環境の向上を推進します。
- 中ノ島地区の未利用地は、有益な利活用を促進するため、高度な土地利用を推進します。

● 交 通 体 系

- 地区を横断する都市計画道路丸山五和線の整備を促進し、接続する幹線道路とのアクセス性を向上させることで、利便性の高い居住環境の形成を目指します。
- 都市計画道路は地域の実情や必要性も踏まえ、地元住民や関係機関等との調整を図りながら、整備・計画等の見直しを検討します。
- 道路の管理・保全による機能の維持を推進し、安全性の向上に努めます。



● 公 園 緑 地

- 未整備区域がある都市計画公園については、地元住民や関係機関等と協議しながら、整備や計の必要性を検討します。
- 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。

● 都 市 施 設

- 上水道の適正な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 下水道施設の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- 保育所や小中学校等の公共施設の機能維持と適正な管理に努めます。

● 景 観

- 隈地区の歴史的・文化的な建造物の景観の維持と保全を図るため、景観計画に基づく景観形成基準に即した整備を施し、隈らしい活気のある町並み形成を推進します。
- 『水郷ひた』を象徴する三隈川や庄手川と亀山公園の美しい水辺景観の保全と背景となる盆地の山なみ景観に配慮した景観誘導に努めます。

● 防 災

- 三隈川等の増水や氾濫、災害危険区域に関する情報収集や災害防止対策に努めます。
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善や耐震改修や防火設備等の設置に努めます。
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。



● そ の 他

- 多様な景観資源や観光資源等を活かした交流拠点としての環境整備に努めます。

日隈地区の方針図

【土地利用】

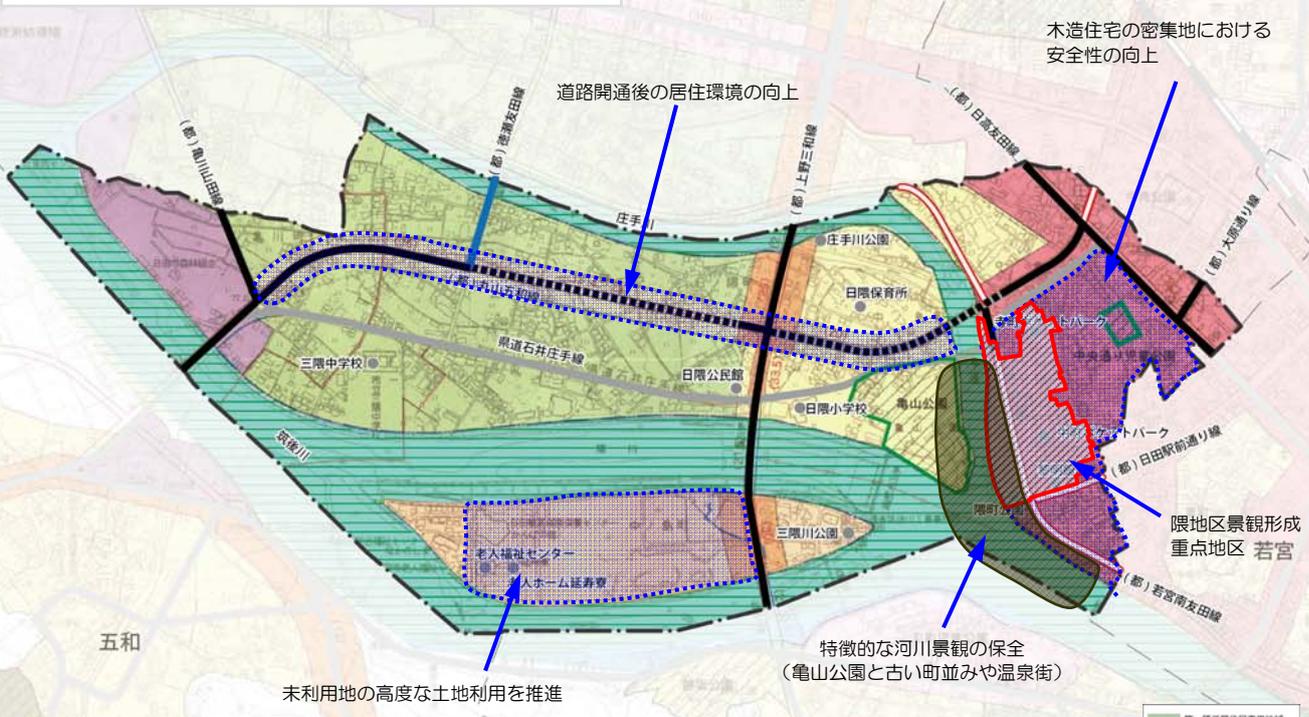
- 土地の利用動向や道路整備等による土地利用の変化に対する用途の見直しを検討
- 古い町並みが残る地区の保全及び町並みの連続性の維持を推進
- 都市計画道路開通後の沿道や周辺地域の居住環境の向上
- 中ノ島地区の未利用地は、有益な利活用を促進するため高度な土地利用を推進

【交通体系】

- 都市計画道路丸山五和線の整備による幹線道路との連携及び地域の利便性向上
- 都市計画道路は地域の実情や必要性等も踏まえて計画の見直しを検討

【公園緑地】

- 都市計画公園の整備・計画の見直しを検討
- 既存公園の適正な管理・保全と機能の維持



【都市施設】

- 上水道の適切な維持・管理及び計画的な更新
- 下水道施設の適切な維持・管理と計画的な更新
- 公共施設の機能維持と管理

【景観】

- 隈地区の古い町並み保全を支援し、重点地区における景観形成誘導及び有効な活用を促進
- 亀山公園と三隈川が一体となった象徴的な自然景観保全及び活用のため、周辺や背景の景観誘導

【防災】

- 三隈川等の増水や氾濫・災害危険区域に関する情報収集や災害防止対策に努める
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善や耐震改修や防火設備等の設置に努める
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

第一種低層住居専用地域	地域高規格道路
第二種低層住居専用地域	高速自動車道
第一種中高層住居専用地域	国道、県道、市道等
第二種中高層住居専用地域	鉄道
第一種住居地域	河川・ダム等
第二種住居地域	都市計画区域
準住居地域	都市計画道路
近隣商業地域	第一種
商業地域	第二種
準工業地域	第三種
工業地域	第四種
工業専用地域	第五種
無指定	都市計画公園
高度地区	整備済
	未完了
	主要施設
	公共施設
	その他の施設

④ 若宮地区

(1) 地区の概況

● 位置・地勢

- JR日田駅前地区としての玄関口の機能を有しており、中心市街地の一角を構成しています。
- 昭和40年代後半から50年代にかけて、土地区画整理事業が施行され、市街地の中でも基盤整備水準が高い市街地を形成しています。
- その反面、商業地域に囲まれた住宅地には木造住宅が密集した地域もあり、新・旧双方の側面を併せ持つ地区です。

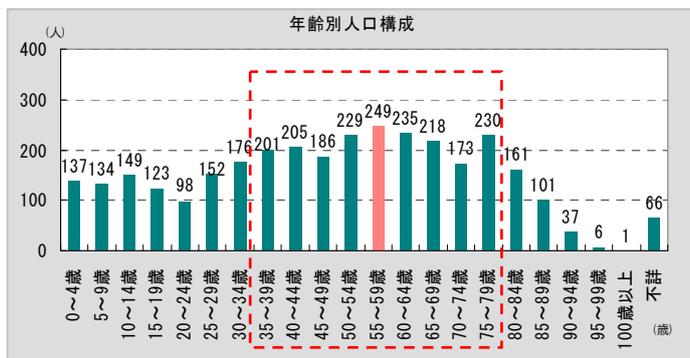


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示しており、平成12年と比較して、約390人減少しています。
- 30歳代後半から70歳代後半までの幅広い年齢層の人口が多くなっています。



出典：国勢調査（H12・H17・H22）



出典：国勢調査（H22）

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 日田駅前周辺にまとまった空き地や空き店舗が点在しています。
- 東町地区は、商業地域に囲まれた木造住宅が密集した地区となっています。
- 駅前地区は土地区画整理事業の実施により商業機能と居住機能が効率的に区分されています。
- 国道386号から三隈川の区域にまとまった空き地や中低層の住宅が集積しています。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として国道212号・国道386号・県道日田玖珠線・県道戸畑日田線が配置されています。
- 地区内に都市計画道路が7路線ありますが、整備が完了していない区間や長期未着手の路線があります。
- 低層の木造住宅が密集する地域の中を、狭隘な道路が通過しています。

● 公園緑地

- 地区内に4カ所の都市計画公園を計画・整備しており、バランスよく配置されていますが、整備率は約8割となっています。
- 中心市街地であり、都市機能が充実しているため、まとまった緑地が少なくなっています。

竹田公園



● 都市施設

- 地区全域において上水道が整備されています。
- 地区全域において公共下水道が整備済みです。
- 複数の病院・診療所や小学校、保育所、老人福祉施設が立地しています。

若宮浄水場



● 景観

- JR日田駅前の商業地域では、高い容積率を活用し、高層化した集合住宅やホテル等の大規模建築物が立地しています。
- 商業系用途地域に指定されている道路沿道に多様な用途の商業施設が立地しており、コーポレートカラーにちなんだ色彩の広告物等が多く見られます。



● 防災

- 豪雨に伴う三隈川等の増水・氾濫による家屋浸水の被害が懸念されます。
- 商業地域内に、木造住宅が密集している地域があり、狭隘な道路や火災・地震等の災害発生時の被害が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動についての周知・徹底や日頃からの連絡体制の確認及び強化が求められています。

● その他

- 駅前周辺に、まとまった空き地や空き店舗の利活用の推進が課題となっています。

若宮地区の現況・課題図

【土地利用】

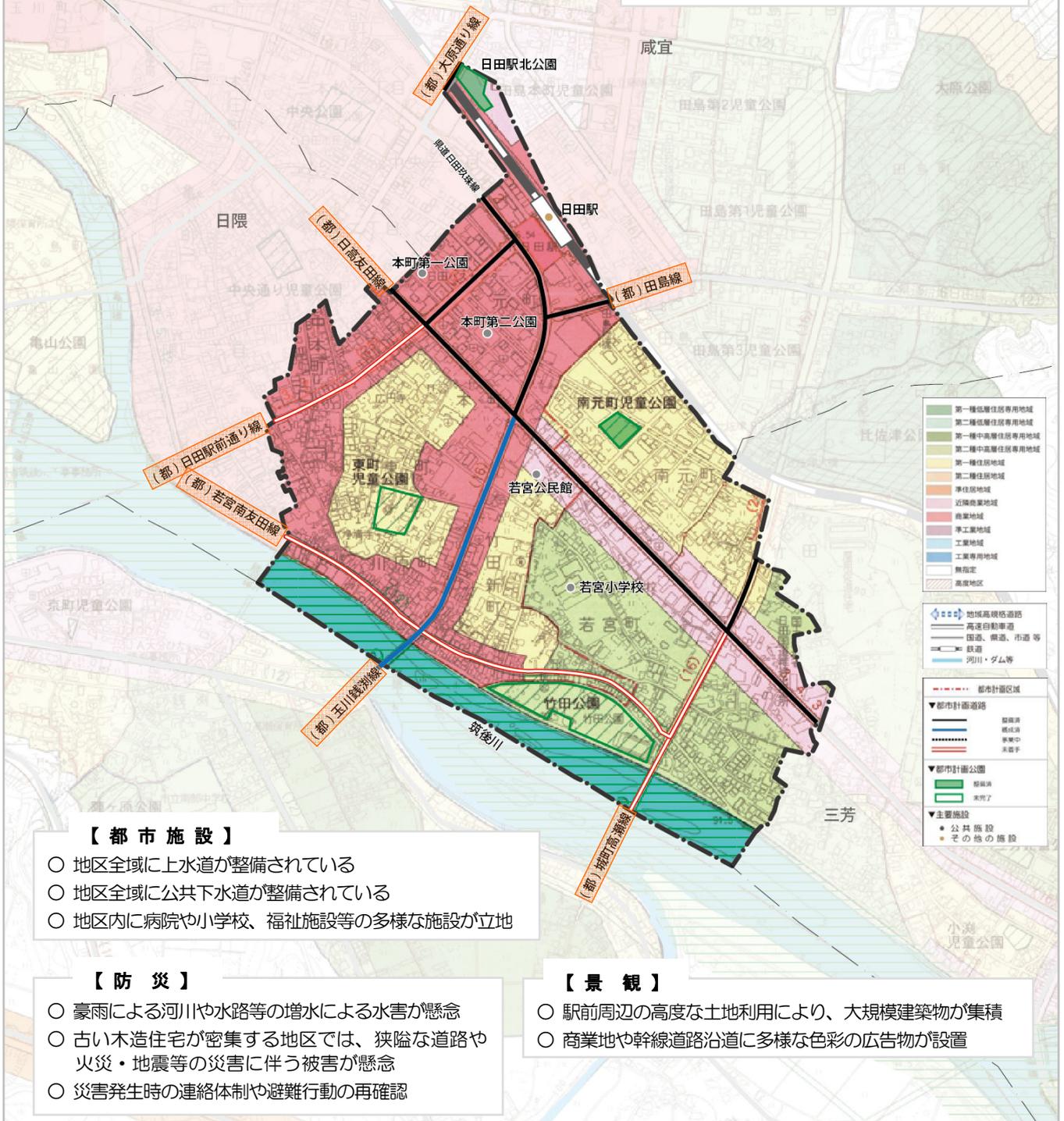
- 駅前周辺地区内にまとまった空き地や空き店舗が点在
- 東町地区は商業地域に囲まれた木造住宅が密集した地域
- 駅前地区は土地区画整理事業の実施により、商業機能と居住機能を効率的に区分
- 国道386号から三隈川にかけて、まとまった空き地や中低層の住宅が集積

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、国道2路線と県道2路線が配置
- 都市計画道路が7路線あり、整備が完了していない区間や路線あり
- 木造住宅密集地の中を狭隘な生活道路が通過

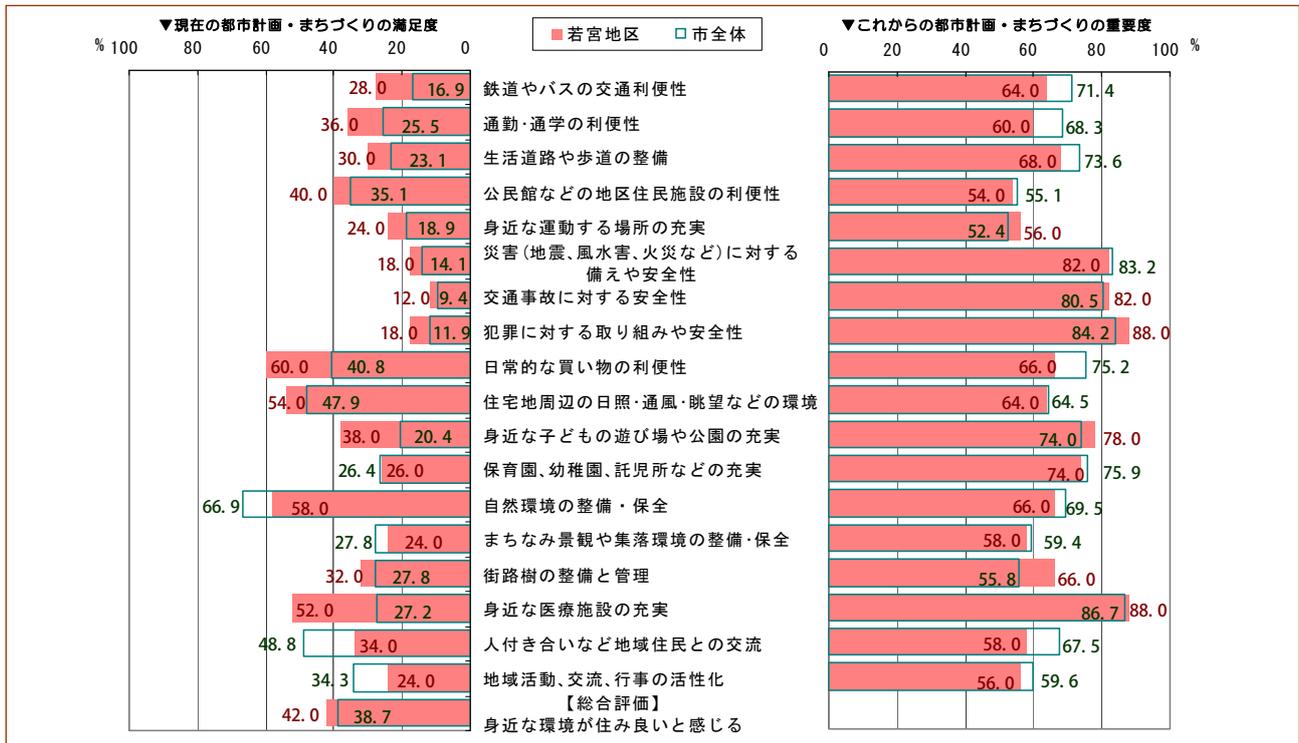
【公園緑地】

- 地区内に都市計画公園が4ヶ所あり、平均整備率は約8割でバランスよく配置
- 都市機能が充実しているため緑地が少ない



● 市民の意向

- 多くの項目についての満足度が、市全体の平均値よりも高いことから、比較的暮らしやすい環境にあると評価されています。
- 都市中心部を構成している地区であることから、自然環境やまちなみ景観等の整備に対する満足度や人付き合い、地域住民との交流等による活性化に対する満足度が低いことが特徴的です。
- 公共交通や通勤・通学の利便性、生活道路や歩道等の整備に対する重要度が低くなっていることから、生活基盤の整備がある程度整っていることが推測できます。
- 駅前や幹線道路等を有し、中心市街地であることから、交通事故や犯罪に対する取り組み等、安全性について懸念していることが伺えます。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 本市の玄関口となる地区であり、隈地区の温泉街や豆田の伝建地区等へ誘導していく中心拠点として、多様な人々が集い、交流することができる“賑わいと活気にあふれるまちづくり”を推進します。
- 幹線道路や商業施設等の都市基盤整備が進んでいる反面、交通事故や犯罪等が発生する危険性も高いため“地域の実情に応じた安全・安心なまちづくり”を推進します。

市街地における居住環境のイメージ



(3) 地区の方針

● 土地利用

- 地区に点在する空き地等の有効な土地利用の促進による地域の活性化を推進します。
- 木造住宅の密集地域では、火災や交通等の防災面を考慮した基盤整備等の推進による居住環境等の向上に努めます。
- 住居系や商業系の各用途が機能的に区分されているため、用途混在の抑制による良好な居住環境の維持に努めます。



● 交通体系

- 都市計画道路は地域の実情や必要性も踏まえて、地元住民や関係機関等との調整を図りながら、整備・計画等の見直しを検討します。
- 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。

● 公園緑地

- 未整備区域がある都市計画公園については、地元住民や関係機関等と協議しながら、整備や計画の必要性を検討します。
- 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。



● 都市施設

- 上水道の適正な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 下水道施設の適切な維持・管理と計画的な更新に努めます。
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。

● 景観

- 景観計画で定められた大規模建築物等は、町並みの連続性や周辺の景観との調和を重視し、適切な誘導・規制を促進します。
- 幹線道路の沿道における建築物や広告物等については、周辺景観や背景となる山なみ景観との調和に配慮した景観形成・誘導に努めます。

● 防災

- 三隈川等の氾濫に対する治水環境整備と併せて、ハザードマップに基づく危険区域や災害発生時の対応について周知・徹底を図ります。
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善や耐震改修や防火設備等の設置に努めます。
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。



● その他

- 空き地や空き店舗の計画的で有益な活用に対する支援により、中心拠点としての活性化に努めます。

若宮地区の方針図

【土地利用】

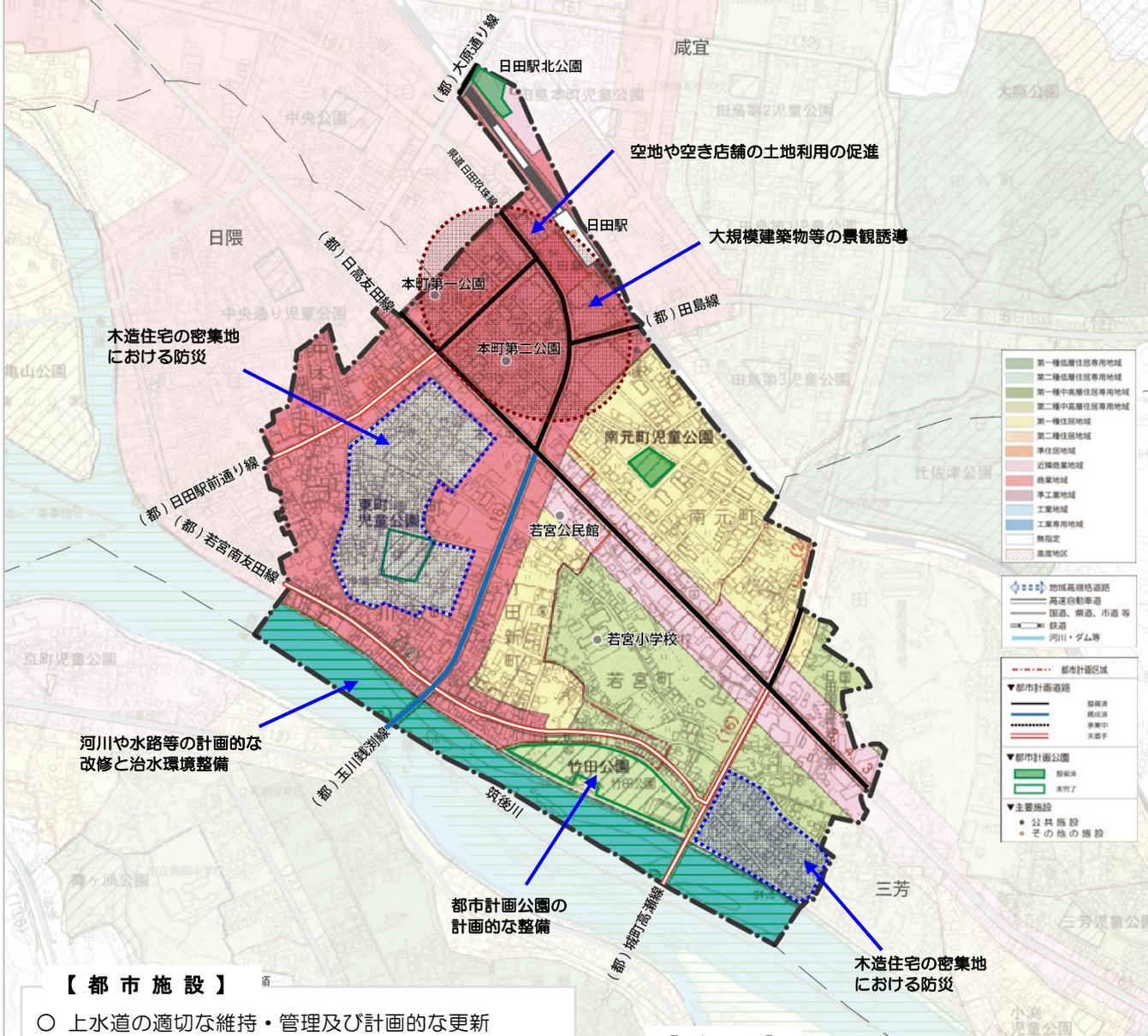
- 地区に点在する空き地等の有効な土地利用の促進による地域の活性化
- 木造住宅密集地における災害・事故防止に向けた基盤整備等の推進
- 効率的に区分された商業機能と居住機能の維持による居住環境の向上

【交通体系】

- 都市計画道路は、地域の実情や必要性も考慮した計画等の見直し
- 幹線道路等の機能維持・保全と整備による利便性・安全性の向上

【公園緑地】

- 未整備の都市計画公園は、整備・計画の見直しを検討
- 既存公園の適正な管理・保全と機能の維持



【都市施設】

- 上水道の適切な維持・管理及び計画的な更新
- 下水道施設の適切な維持・管理と計画的な更新
- 氾濫する恐れのある河川や小水路の計画的な改修を推進

【景観】

- 周辺景観に影響を与える大規模建築物等の立地誘導
- 幹線道路や河川沿いの建築物・広告物等に対する景観誘導

【防災】

- 三隈川等の氾濫等に対する治水環境整備の促進や災害危険区域、災害発生時の対応について周知
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善や耐震改修や防火設備等の設置に努める
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

⑤ 三 芳 地 区

(1) 地区の概況

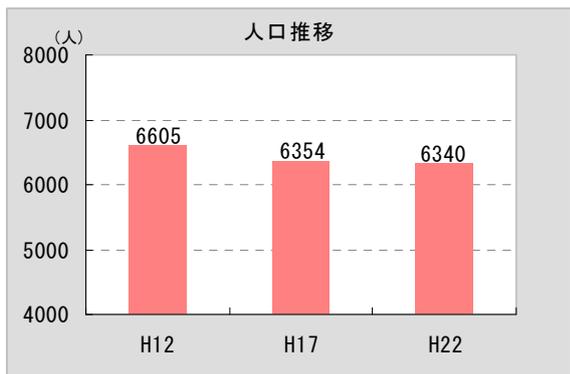
● 位置・地勢

- 地区東部の丘陵地が地区南側を流れる三隈川まで広がっており、整備された農用地や古墳を有する小高い山林等の豊かな自然環境を有しています。
- 昭和28年水害の災害復旧に伴う土地区画整理事業により、JR豊後三芳駅や国道386号沿道に商業施設や住宅等が立地し、駅を中心とした地区西部の平坦地には市街地が広がっています。

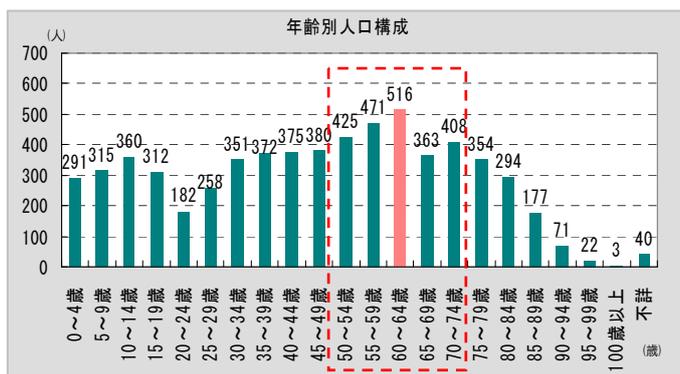


● 人口の動向

- 地区人口は減少傾向を示し、平成12年と比較して約270人減少しています。
- 年齢別人口構成は、50歳代から70歳代前半の人口が比較的多くなっています。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地 利 用

- JR豊後三芳駅前通りや国道386号沿道の近隣商業地域を中心として、地区西部の一部に住居系用途地域が広がっています。
- 地区中央の大規模な宅地開発に伴う住宅地は一定の居住環境を保全していくために、高度地区に指定しています。
- 駅前周辺地区は商業施設があまり見られず土地利用の動向の変化により、落ち着いた住宅地が広がっています。
- 地区西部の線路以北地域や市道古金線沿道の用途無指定地域に、小規模な宅地開発による集落地が点在しています。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として国道210号・国道386号・県道豊後三芳停車場線・県道戸畑日田線が配置されています。
- 地区内に都市計画道路が5路線ありますが整備が完了していない区間や長期未着手の路線があります。
- 点在する集落地と市街地を結ぶ路線において、土砂災害等による交通網の寸断が懸念されます。

● 公園緑地

- 地区内に3カ所の都市計画公園があり、比佐津公園は一部が未整備となっています。
- 比佐津公園周辺の山林緑地等は、市街地からも眺望できる地域特有の山なみ景観として良好な自然環境を形成しています。
- 玖珠川沿いが、耶馬日田英彦山国定公園区域に指定されています。

比佐津公園の景観



● 都市施設

- 上水道や簡易水道が整備されていますが、一部地域が給水区域外となっています。
- 地区西部に公共下水道が整備されていますが、その他の区域は未整備及び計画区域外となっています。
- 小学校や幼稚園等の公共施設が立地しています。

● 景観

- 国道210号沿道を「日田バイパス周辺地区景観形成重点地区」に指定しています。
- 求来里川や県道戸畑日田線の周辺に広がる整備された農用地や集落地が一体となって里山景観を形成しています。



● 防災

- 豪雨に伴う玖珠川等の増水・氾濫による家屋の浸水被害が懸念されます。
- 木造住宅が密集している地域では、狭隘な道路や火災・地震等の災害発生に伴う被害が懸念されます。
- 地区に点在する集落地や幹線道路周辺のがけ崩れ・地滑り等による土砂災害が懸念されます。

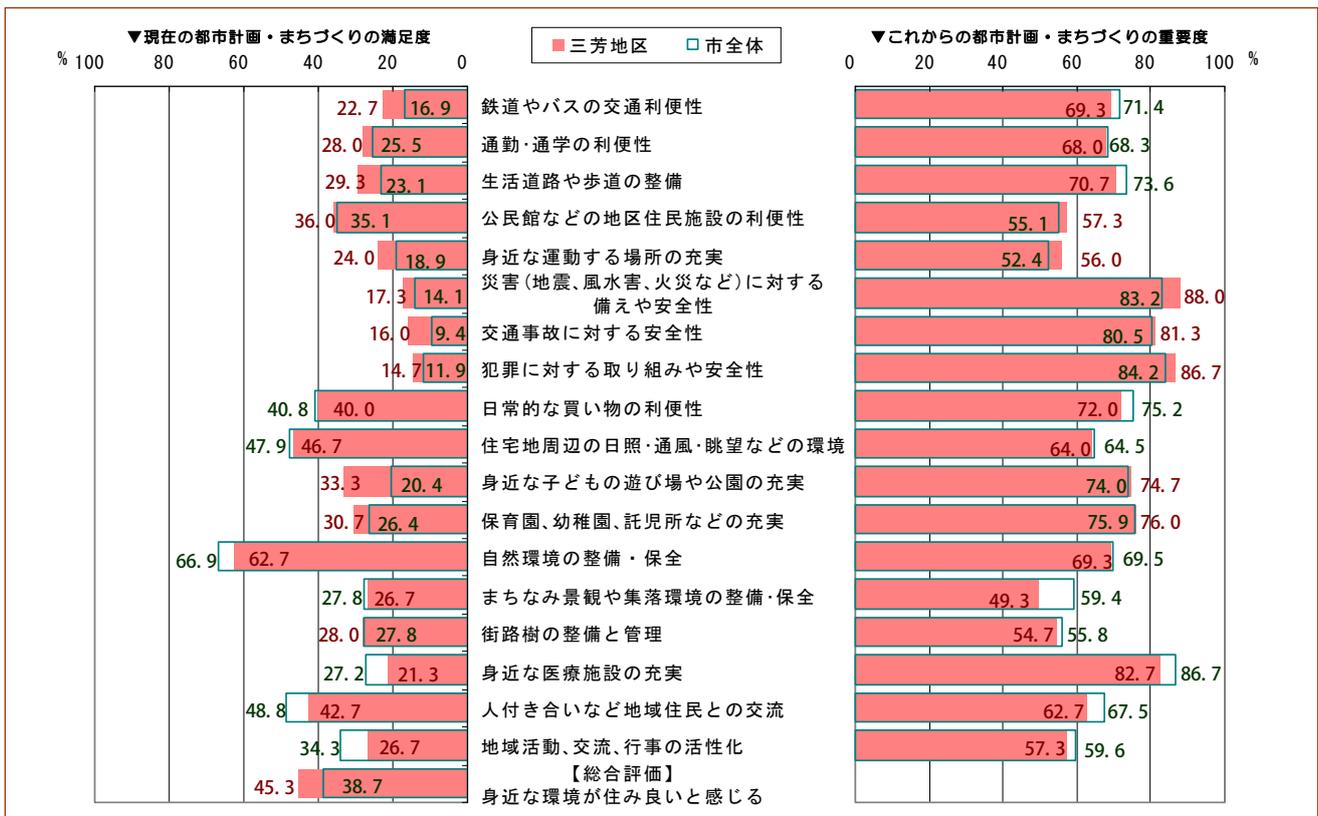
● その他

- 国道沿道に商業施設等が立地し、幹線道路によって利便性が比較的高い地区です。



● 市民の意向

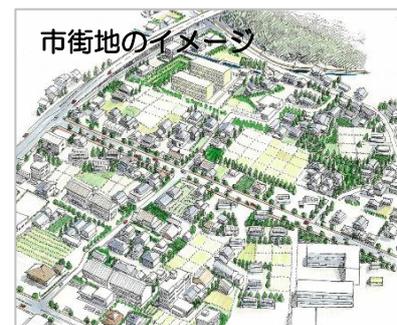
- 鉄道・バス等の公共交通や通勤・通学に対する利便性、身近な子供の遊び場や公園、保育園・幼稚園の充実等についての満足度が高いことから、比較的高い居住環境が得られていることが推測できます。
- 災害に対する備えや交通事故、犯罪に対する取り組み等が重要視されていることから安全・安心なまちづくりに対する関心が高いことが特徴です。
- 昭和28年水害からの災害復旧によって市街地が形成されたことから、町並み景観の保全に対する重要度は低くなっています。
- 人付き合いや地域住民の交流等、地域コミュニティの活性化が求められています。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 山林緑地や農用地の宅地化等、土地利用の転換が増加傾向にあることから、用途混在や無秩序な土地開発等の抑制による“**居住環境や利便性の高いまちづくり**”を推進します。
- 日田特有の山なみ景観や美しい水流をもつ玖珠川等の自然に囲まれた地区として“**自然環境を活かしたまちづくり**”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地利用

- 用途無指定地域のスプロール防止に努めます。
- 駅前周辺地区は、地域の実情や土地利用動向に対応した土地利用の誘導や規制を推進します。
- 地域特性を考慮して指定している高度地区等の規制を効果的に継続し、適正な土地利用による居住環境の維持に努めます。

● 交通体系

- 都市計画道路は地域の実情や必要性も踏まえて地元住民や関係機関等との調整を図りながら、整備・計画等の見直しを検討します。
- 山間に点在する集落地と市街地を結ぶ道路機能の維持や保全に努めます。



● 公園緑地

- 未整備区域がある都市計画公園等については、地元住民や関係機関等と協議しながら、整備・計画等の見直しを検討します。
- 比佐津公園は歴史的な背景や風致を有しており市内から見える自然豊かな眺望や環境等を保全していくため、適正な維持・管理に努めます。
- 玖珠川沿いの耶馬日田英彦山国定公園や地区に広がる山林緑地は、適切な誘導による無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制に努めます。

● 都市施設

- 上水道の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境保護や水質の汚染防止等の観点から、下水道の未整備区域では早期整備に努め、処理区域外では合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 公共性の高い施設等の機能の維持を推進し、居住環境の向上に努めます。

● 景観

- 国道210号沿道の日田バイパス周辺地区の自然景観を保全していくため、景観計画に基づく景観形成基準に即した建築行為等を促し、自然環境に配慮した景観形成を推進します。
- 地区内の山林緑地や農用地、集落地が一体となった里山景観の積極的な維持・保全に努めます。

● 防災

- 三隈川、玖珠川等の氾濫に対する治水環境整備等と併せて、ハザードマップに基づく危険区域や災害発生時の対応について周知・徹底を図ります。
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善や耐震改修や防火設備等の設置に努めます。
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

● その他

- 地域の実情や今後の土地利用動向についての情報を収集分析し、適切な土地利用誘導となるよう、必要に応じて用途地域の見直しを検討します。

三芳地区の方針図

【土地利用】

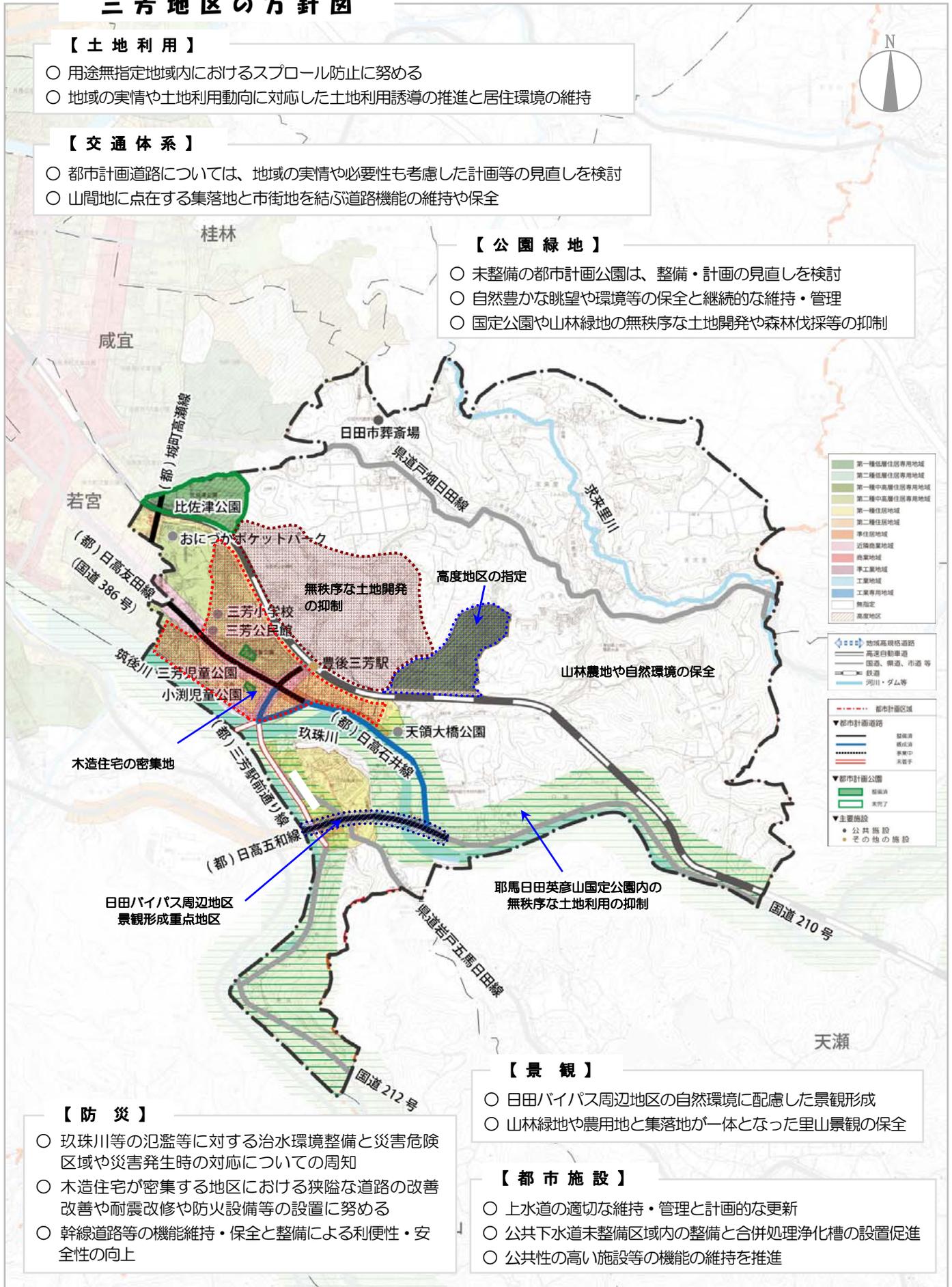
- 用途無指定地域内におけるスプロール防止に努める
- 地域の実情や土地利用動向に対応した土地利用誘導の推進と居住環境の維持

【交通体系】

- 都市計画道路については、地域の実情や必要性も考慮した計画等の見直しを検討
- 山間地に点在する集落地と市街地を結ぶ道路機能の維持や保全

【公園緑地】

- 未整備の都市計画公園は、整備・計画の見直しを検討
- 自然豊かな眺望や環境等の保全と継続的な維持・管理
- 国定公園や山林緑地の無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制



【防災】

- 玖珠川等の氾濫等に対する治水環境整備と災害危険区域や災害発生時の対応についての周知
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善改善や耐震改修や防火設備等の設置に努める
- 幹線道路等の機能維持・保全と整備による利便性・安全性の向上

【景観】

- 日田バイパス周辺地区の自然環境に配慮した景観形成
- 山林緑地や農用地と集落地が一体となった里山景観の保全

【都市施設】

- 上水道の適切な維持・管理と計画的な更新
- 公共下水道未整備区域内の整備と合併処理浄化槽の設置促進
- 公共性の高い施設等の機能の維持を推進

⑥ 高瀬地区

(1) 地区の概況

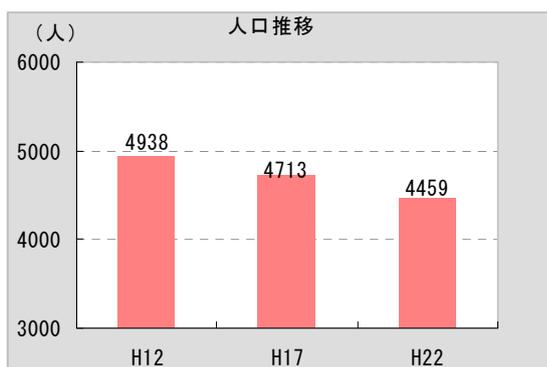
● 位置・地勢

- 市の中央部に位置し、地区北部の三隈川沿いの平坦地に市街地が形成されています。
- 地区の中部から南部にかけて、丘陵地や山林緑地が広がり、鏡坂公園からは市の中心部を一望できます。
- 国道210号と国道212号が交差しており、隣県の福岡や熊本からの通過交通が増加しています。

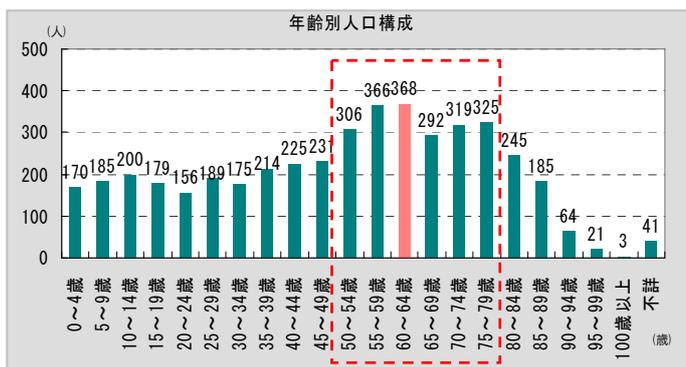


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示し、平成12年から約480人減少しています。
- 50歳代から70歳代が多く、高齢化の傾向がある地区です。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 地区北部の幹線道路沿いの一部が近隣商業地域になっており、その周辺は住居系の用途地域となっています。国道210号沿道は準住居地域に指定しています。
- 地区北部が都市計画区域、地区南部は都市計画区域外となっており、そのうちの約4割が津江山系県立自然公園の区域内です。
- 国道210号沿道に工場の立地や農業振興地域の指定等、多様な土地利用が図られています。



高瀬地区の景観

● 交通体系

- 主要な幹線道路として国道210号・国道212号・県道日田鹿本線・県道小畑日田線が配置されています。
- 地区内に都市計画道路が6路線ありますが整備が完了していない区間や長期未着手の路線があります。



県道小畑日田線

● 公園緑地

- 地区内に3ヶ所の都市計画公園があり、小規模な公園も点在しています。
- 地区南西部が津江山系県立自然公園に指定され、大山川沿いも耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けています。

● 都市施設

- 一部地域で上水道や簡易水道が整備されていますが、その他の地域は給水区域外です。
- 地区北部の一部地域が公共下水道処理区域となっており、地区中部から南部の丘陵地は区域外となっています。
- 地区内に複数の医療機関があり、小中学校や保育所等の多様な公共施設が立地しています。



上野浄水場

● 景観

- 国道210号沿道を良好な景観や沿道環境の保全等を目的として「日田バイパス周辺地区景観形成重点地区」に指定しています。
- 国定公園や県立自然公園の区域では、背景となる山なみと農用地、高瀬川等の河川が一体となった良好な里山景観が広がっています。



日田バイパス周辺地区景観形成重点地区

● 防災

- 豪雨に伴う高瀬川等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

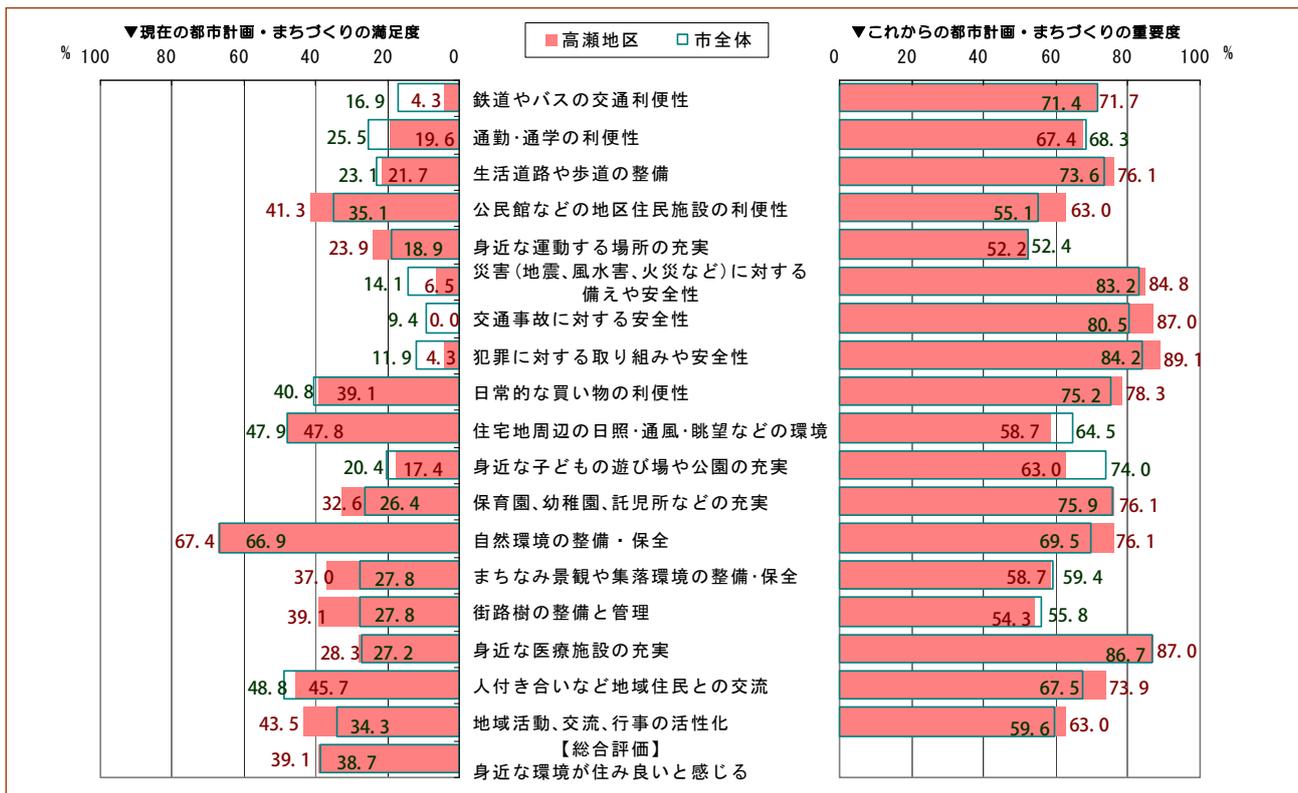
- 地区東部に立地しているビール工場は、観光・交流拠点として、多くの来訪者が訪れます。



丘陵地に立つビール工場

● 市民の意向

- 地区を縦断している幹線道路等が少なく、狭隘な道路区間もあることから、通勤・通学や生活道路・公共交通等の整備や利便性に対する懸念が伺えます。
- 災害や交通事故、犯罪等の安全性に対する懸念が高くなっている点が特徴的であり、重要度も高くなっています。
- 地区面積の多くが、農地や山林地と自然環境に恵まれています。面積が広い分、適正な維持・管理等に対する取り組みが重要であることが伺えます。
- 若年層の人口が減少してきていることから、人付き合いや地域住民の交流、地域活動の継続等に対する重要性が高くなっています。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 国道210号と国道212号が接合し、各方面へのアクセス性が高く、地区北部に商業施設や医療施設等の多様な機能が立地していることから、人・物・文化が交流し“よりよい居住環境のまちづくり”を推進します。
- 地区の大部分を占める山林緑地や農用地の間を通る幹線道路に沿って集落地が点在し、豊かな自然環境に囲まれて静かな住環境を形成していることから、“自然環境と調和したまちづくり”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地利用

- 適正な土地利用誘導により、良好な居住環境の維持・向上に努めます。
- 用途無指定地域における無秩序な土地開発の抑制による用途の混在防止に努めます。
- 地区の大部分を占める山林緑地の無計画な森林伐採等の抑制に努めます。

● 交通体系

- 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。
- 都市計画道路の整備は、未整備区間や長期未着手路線も含めて地元住民や関係機関等と調整を図りながら地域の実情や必要性も考慮し、計画等の見直しを検討します。

● 公園緑地

- 未整備区域がある公園については、地元住民や関係機関等と協議しながら、整備や計画の必要性を検討します。
- 耶馬日田英彦山国定公園や津江山系県立自然公園の指定地域内では、無秩序な土地開発や無計画な森林伐採等を抑制します。

鏡坂公園の桜並木



● 都市施設

- 上水道や簡易水道等の水道供給施設の維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境保護や水質の汚染防止等の観点から、下水道の未整備区域では、早期整備に努めるとともに、処理区域外の合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改善を推進します。

● 景観

- 国道210号沿道の日田バイパス周辺地区の自然景観を保全していくため、景観計画に基づく景観形成基準に基づく景観形成を誘導します。
- 耶馬日田英彦山国定公園や盆地特有の山林緑地の自然景観の保全に努めます。

● 防災

- 高瀬川等の増水に対する災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

土砂災害による道路寸断



● その他

- 産業や観光・交流の拠点となるような既存の施設の機能の維持やアクセス性の向上、周辺環境の整備等を推進します。

高瀬地区の方針図

【土地利用】

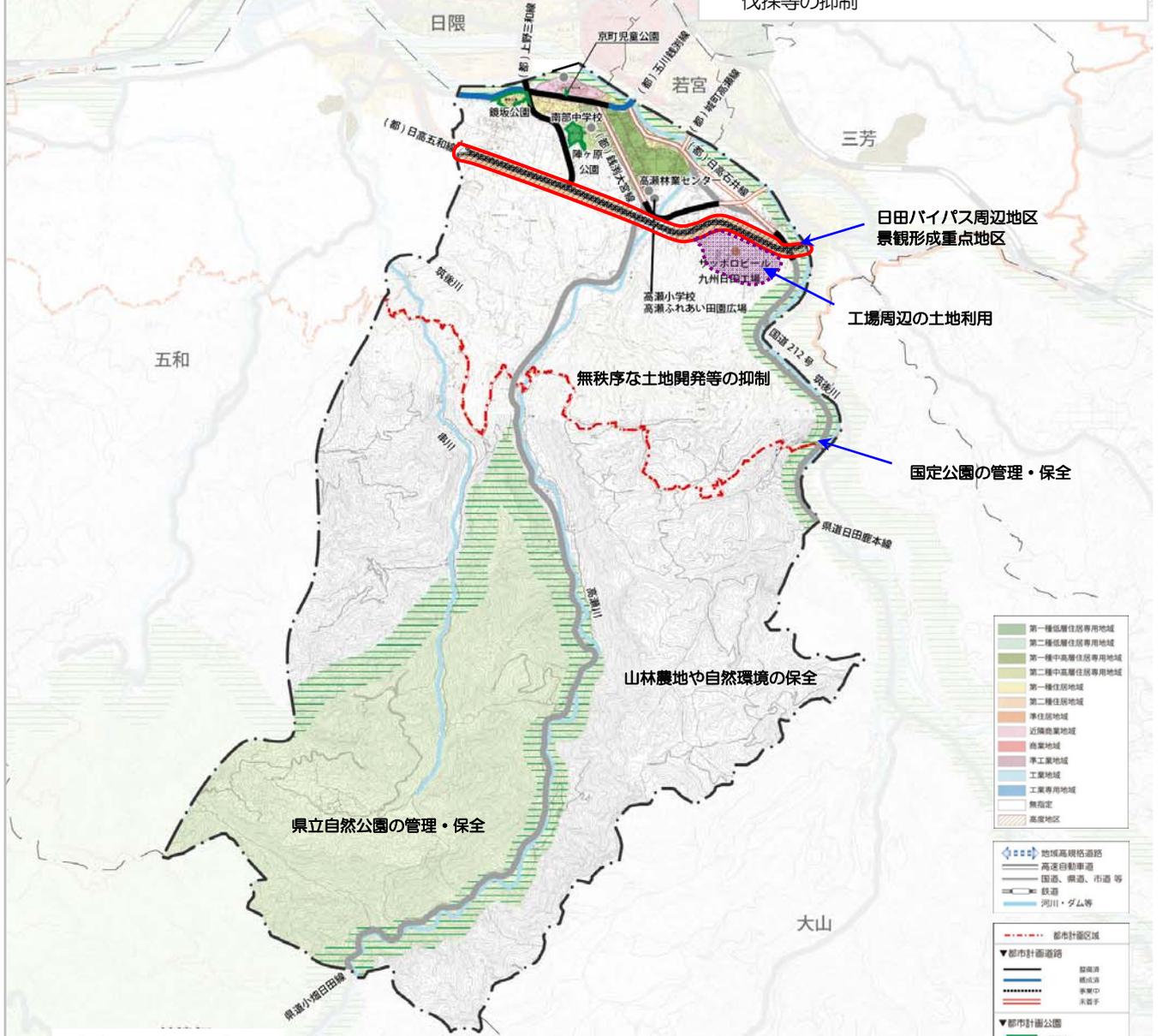
- 適正な土地利用誘導による居住環境の向上
- 用途無指定地域における無秩序な土地開発等の抑制による用途の混在防止
- 山林緑地の無計画な森林伐採等の抑制

【交通体系】

- 都市計画道路は、地域の実情や必要性も考慮した計画等の見直し
- 幹線道路等の機能の維持・保全と整備による利便性・安全性の向上

【公園緑地】

- 都市計画公園の整備・計画の見直しを検討
- 国定公園や山林緑地における無計画な森林伐採等の抑制



【都市施設】

- 上水道や簡易水道等の水道供給施設の適切な維持・管理と計画的な更新
- 下水道施設の計画的な更新と合併処理浄化槽の設置の促進
- 氾濫する恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進

【景観】

- 日田バイパス周辺地区の自然環境に配慮した景観形成
- 国定公園等や盆地特有の山林緑地等の自然景観の保全

【防災】

- 高瀬川等の氾濫等に対する治水環境整備の促進や災害危険区域、災害発生時の対応について周知
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

⑦ 五和地区

(1) 地区の概況

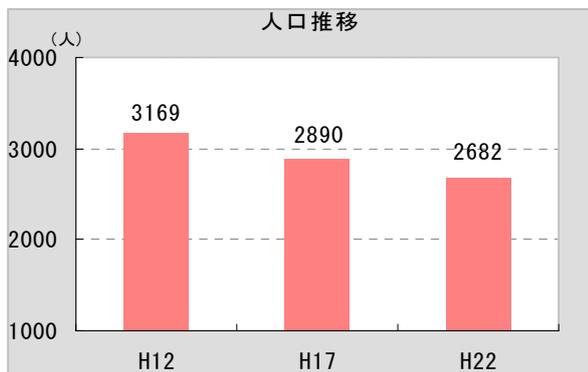
● 位置・地勢

- 市の西部に位置し、福岡県と隣接する地区です。
- 緑豊かな落ち着いたきのある住宅地と石井工業団地内の工業地、ガランドや古墳に代表される文化資源等、新旧の多様な側面を持つ魅力ある地区です。
- 地区南部の内河野川上流域には美しい杉林が植生し、地区北部を流れる三隈川沿いは耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。

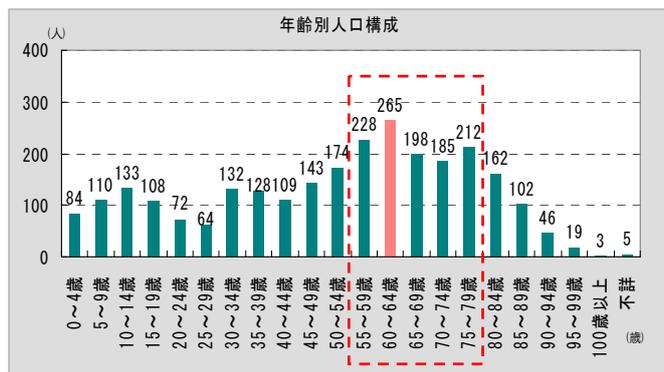


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示し、平成12年と比較して約490人減少しています。
- 50歳代後半から70歳代が比較的多く、高齢化の傾向にあります。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 地区北東部が都市計画区域であり、石井工業団地や国道210号沿道及び長者原団地に用途地域や高度地区を指定しています。
- 都市計画区域外や用途無指定地域における無秩序な土地開発や無計画な森林伐採等が懸念されます。
- 山林緑地や農用地が広がっており、豊かな自然環境の中に集落地が点在しています。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として国道210号・県道石井庄手線、県道朝田日田線、県道山北日田線が配置されています。
- 地区内に都市計画道路が4路線ありますが整備が完了していない区間や長期未着手の路線があります。
- 山間の集落地から市街地に通じる交通機能の低下や交通網の寸断が懸念されます。

国道210号（寺内トンネル）



● 公園緑地

- 都市計画公園の（仮）ガランドヤ古墳公園や小規模な公園が点在しています。
- 地区北西部の三隈川沿いの一部が耶馬日田英彦山国定公園、また、地区南部の一部が津江山系県立自然公園に指定されています。

● 都市施設

- 一部地域で上水道や簡易水道及び給水施設が整備されていますが、その他の地域は供給区域外となっています。
- 地区北西部で公共下水道が整備されていますが、その他の地域は合併処理浄化槽による生活排水処理が中心となっています。
- 内河野川や串川等の増水により、堤防や道路等の損壊に伴う家屋の浸水被害が懸念されます。

● 景観

- 国道210号沿道を良好な景観や沿道環境の保全等を目的として「日田バイパス周辺地区景観形成重点地区」に指定しています。
- 地区に点在している農用地や国定公園・県立自然公園の山林緑地及び河川が一体となった里山景観が広がっています。

● 防災

- 豪雨に伴う内河野川等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 木造住宅が密集している地域では、狭隘な道路や火災・地震等の災害発生に伴う被害が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



地区内の狭隘な道路

● その他

- ガランドヤ古墳等、歴史・文化資源を活かした取り組みが行なわれています。



ガランドヤ古墳

五和地区の現況・課題図

【土地利用】

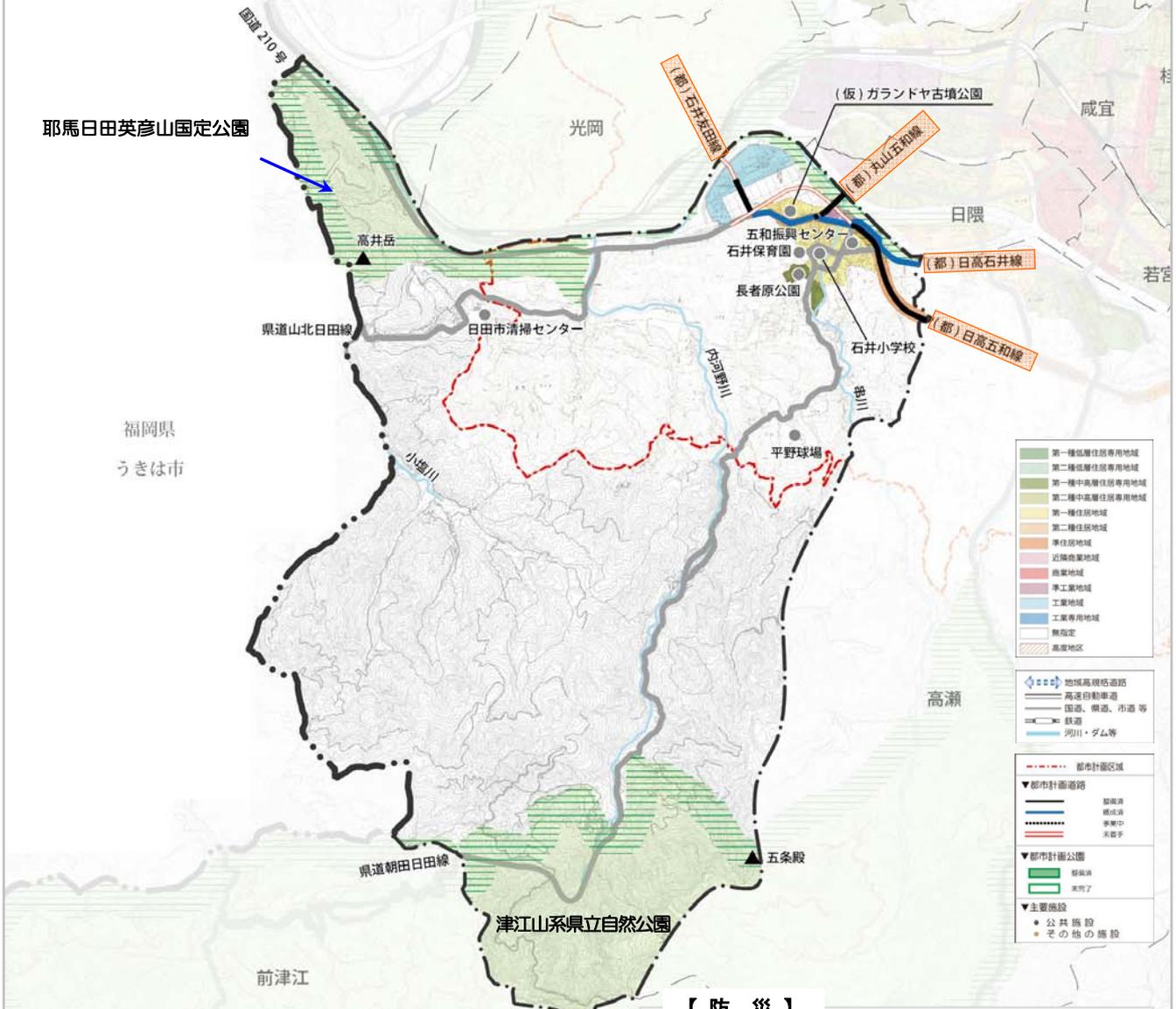
- 地区東部の国道210号沿道や長者原団地、石井工業団地で用途地域の指定
- 用途地域の指定がない地域（無指定地域）における無秩序な土地開発等が懸念
- 地区の大部分が山林緑地や農用地であり、豊かな自然環境の中に集落地が点在

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、国道1路線と県道3路線が配置
- 都市計画道路が4路線あり、未完了の区間や路線あり
- 山間の集落地に通じる幹線道路等の交通網寸断が懸念

【公園緑地】

- 地区内に都市計画公園と小規模公園が点在
- 地区北西部が耶馬日田英彦山国定公園に指定
- 地区南部が津江山系県立自然公園に指定



【景観】

- 国道210号沿道に日田バイパス周辺地区景観形成重点地区
- 基盤整備された農用地や点在する集落地による里山景観

【都市施設】

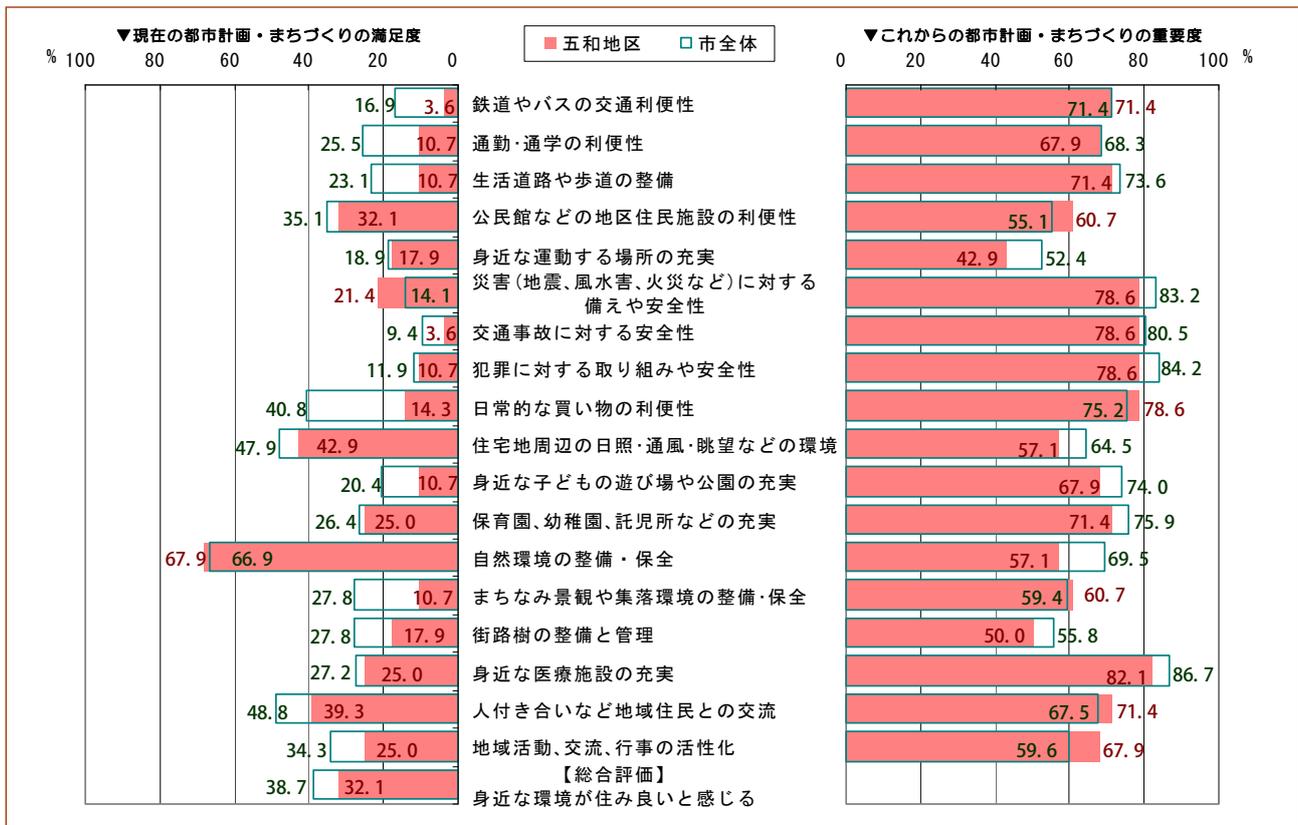
- 一部の地域で上水道や簡易水道及び給水施設が整備されているが、その他は給水区域外
- 一部の地域で下水道が整備されているが、その他は合併処理浄化槽等による生活排水処理
- 内河野川、串川等の増水により、道路や堤防、水路の損壊や家屋の浸水被害等が懸念

【防災】

- 豪雨等に伴う水害や土砂災害等による集落地の孤立が懸念
- 木造住宅が密集する地区では、狭隘な道路や火災地震等の災害に伴う被害が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認

● 市民の意向

- 整備された幹線道路が少なく、市街地へのアクセス性の低さが交通の利便性や生活道路の整備、日常的な買い物等、日常生活を送る上で必要な機能に対する満足度の低さにつながっていることが伺えます。
- 公園や医療施設等の機能が国道の周辺の一部の地域に集約していることから、身近な施設が求められているようです。
- 地区人口が減少傾向にあることから、地域住民の交流や人付き合いが希薄にならないよう、地域の活性化や交流に対する重要度が高くなっています。
- 公民館等の地区住民施設は、災害時には避難場所等にも活用できるため、利便性の観点から重要度が高くなっています。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 工業地や住宅地の適正な土地利用誘導による機能的な区分と山林緑地や農用地の維持・保全を推進することで **“よりよい居住環境を守るまちづくり”** を目指します。
- 豊かな自然環境や地域資源等の適切な管理・保全と計画的な生活基盤整備等により **“安全・安心で快適なまちづくり”** を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地利用

- 適正な土地利用誘導により、良好な居住環境の維持・向上に努めます。
- 用途無指定地域における無秩序な土地開発の抑制による用途の混在防止に努めます。
- 地区の大部分を占める山林緑地の無計画な森林伐採等の抑制に努めます。



石井地区の景観

● 交通体系

- 都市計画道路の整備は、未整備区間や長期未着手路線も含めて地元住民や関係機関等と調整を図りながら地域の実情や必要性も考慮し、計画等の見直しを検討します。
- 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。



都市計画道路 丸山五和線

● 公園緑地

- 未整備区域がある都市計画公園等については、地元住民や関係機関等と協議しながら、計画的な整備に努めます。
- 耶馬日田英彦山国定公園内や津江山系県立公園の適正な保全と継続的な維持・管理に努めます。

● 都市施設

- 上水道等の水道供給施設の維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境保護や水質の汚染防止等の観点から、下水道の未整備区域では、早期整備に努めるとともに、処理区域外の地域については合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。

● 景観

- 国道210号沿道の日田バイパス周辺地区の自然景観を保全していくため、景観計画に基づく景観形成基準に基づく景観形成を誘導します。
- 無計画な森林伐採や無秩序な土地開発を抑制し、集落地や棚田、山林、河川が一体となった良好な里山景観の保全に努めます。

● 防災

- 内河野川や串川等の氾濫等に対する治水環境整備の推進や災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善や耐震改修や防火設備等の設置に努めます。
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

● その他

- ガラントや古墳等の文化資源は、地元住民や関係機関等との調整を図りながら、地域交流の場等への活用策を検討していきます。

五和地区の方針図

【土地利用】

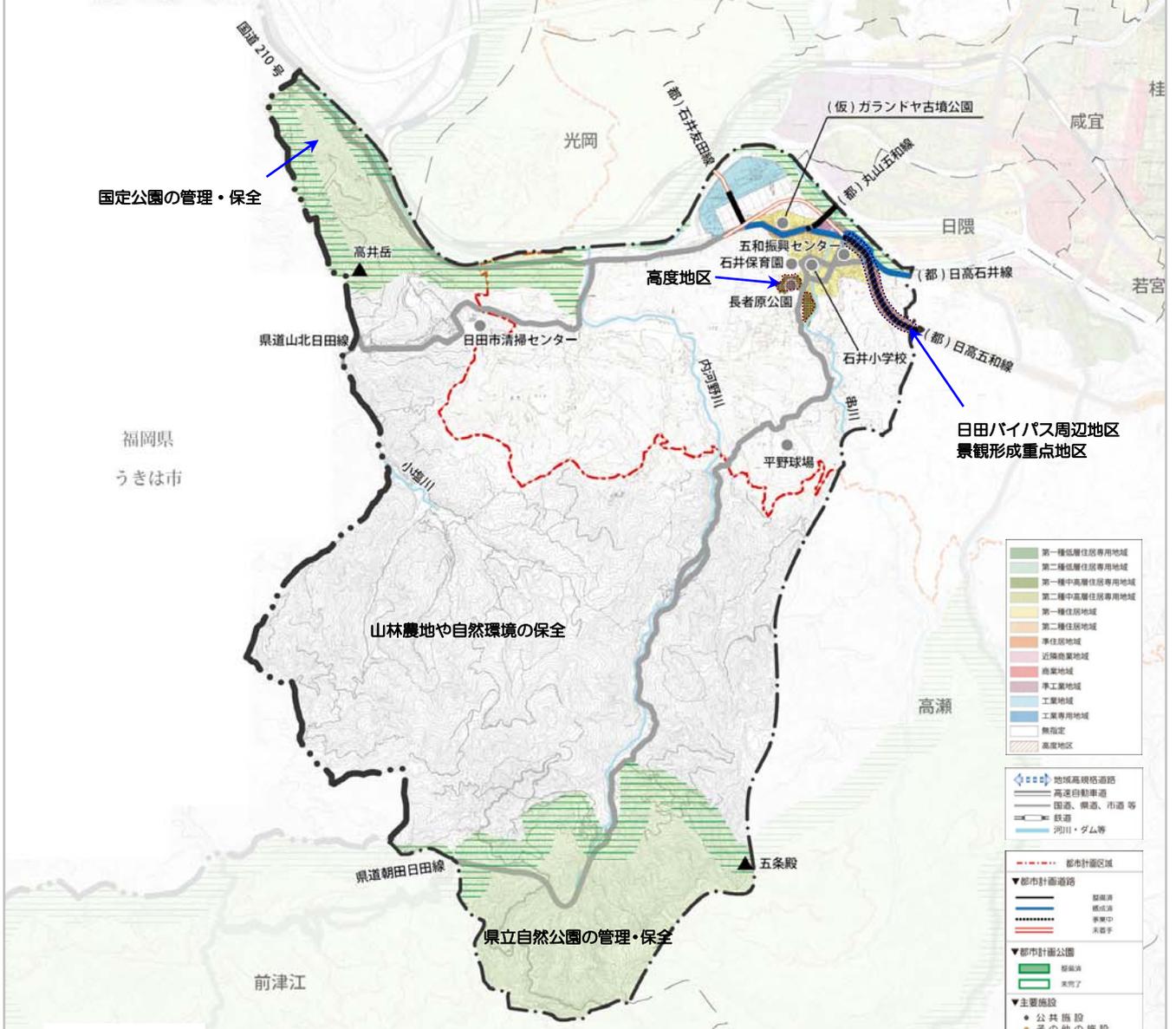
- 地区内の土地利用動向や機能的な区分に応じた土地利用誘導の促進
- 用途無指定地域内における用途の混在防止と無秩序な土地開発等の抑制
- 地区の多くを占める山林緑地や国定公園内等の無計画な森林伐採等の抑制

【交通体系】

- 都市計画道路は、地域の実情や必要性も考慮した計画等の見直し
- 幹線道路等の機能の維持・保全と整備による利便性・安全性の向上

【公園緑地】

- 都市計画公園の計画的な整備の推進
- 国定公園等の自然環境の保全と適正な誘導等による継続的な維持・管理



【景観】

- 日田バイパス周辺地区の自然環境に配慮した景観形成
- 国定公園等や盆地特有の山林緑地等の自然景観の保全

【都市施設】

- 上水道等の水道供給施設の適切な維持・管理と計画的な更新
- 公共下水道処理区域内にある未整備区域の整備と合併処理浄化槽の設置の促進
- 氾濫する恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進

【防災】

- 内河野川や串川等の氾濫等に対する治水環境整備の促進や災害危険区域、災害発生時の対応について周知
- 木造住宅が密集する地区における狭隘な道路の改善や耐震改修や防火設備等の設置に努める
- 災害発生時の避難経路の確保や集落の孤立、二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

⑧ 光岡地区

(1) 地区の概況

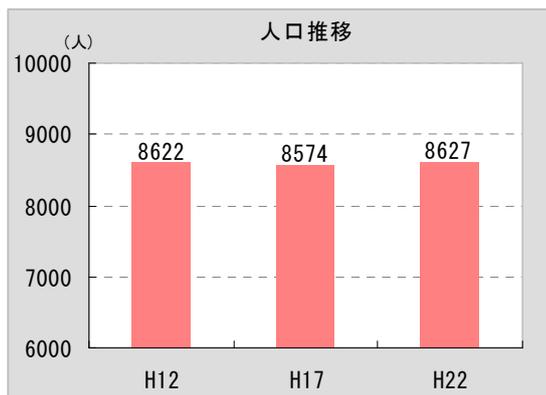
● 位置・地勢

- 地区東部は日田ICや国道212号沿道で、商業施設等が立地する日田市の玄関口となっており、宅地開発等により、人口が増加傾向にあります。
- 地区西部は、主に山林緑地や農用地が広く分布し地区を横断する三隈川及び花月川沿いが耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けています。

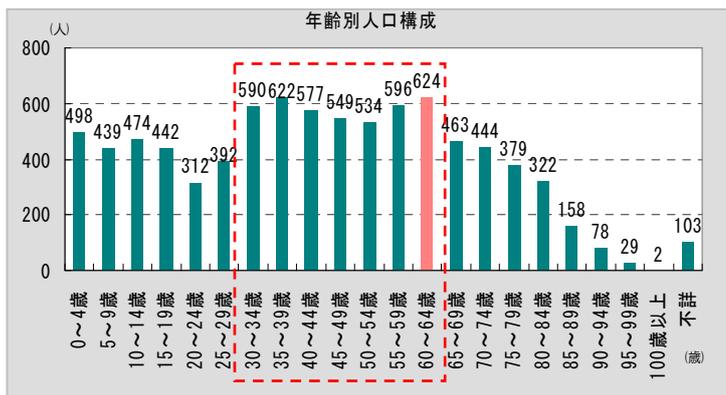


● 人口の動向

- 平成12年からの人口は、ほぼ横ばいから増加傾向を示しています。
- 30歳代から60歳代前半が多く、生産年齢人口が高い地域となっています。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 国道212号沿道には、大規模な小売店舗が集積し、国道386号沿道周辺の南友田地区は、工場や製材所・商業施設・住宅地等の混在が見られます。
- JR光岡駅周辺は、近隣商業地域に指定していますが、商業施設はあまり見られず、宅地開発等による専用住宅が増えており、吹上台地の山林緑地が望める、落ち着いた居住環境となっています。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として国道212号・国道386号が配置されており、大分自動車道の日田ICがあります。
- 地区内に都市計画道路が11路線ありますが、整備が完了していない路線や長期未着手の区間があります。
- 福岡県や中津市、大分方面からの流入車両が各方面へ通過していく際、主に国道386号や都市計画道路三郎丸西有田線、平和通り線等で交通渋滞が発生しています。

● 公園緑地

- 地区内に都市計画公園が2ヶ所ありますがいずれも未整備区域を有しています。また小規模な公園も点在しています。
- 地区西部の星隈公園から以西は、耶馬日田英彦山国定公園区域の指定を受けており、豊かな山林緑地が良好な自然景観を形成しています。



● 都市施設

- 一部区域において上水道や簡易水道が整備されていますが、その他の地域は給水区域外となっています。
- 地区東部で公共下水道が整備されていますが、その他は合併処理浄化槽による生活排水処理が中心となっています。
- 花月川等の増水により、堤防や護岸、道路等が損壊する被害を受けました。

● 景観

- 耶馬日田英彦山国定公園や日田三丘の一つである星隈公園等の豊かな自然景観が良好な景観を形成しています。
- 商業系用途地域に指定されている国道386号沿道では、多様な用途の商業施設が多立地しており、コーポレートカラーにちなんだ色彩の広告物等が見られます。



● 防災

- 河川や水路等の氾濫による家屋の浸水被害や土砂災害に伴う交通網の寸断が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動について周知・徹底や日頃からの連絡体制の確認や強化が求められています。

● その他

- 高速自動車道・国道・県道等の幹線道路が通過し、沿道周辺には商業施設が多く立地しています。



光岡地区の現況・課題図

【土地利用】

- 国道212号沿道には大規模な小売店舗等が集積し、国道386号沿道の南友田地区には製材所等の工場や商業施設が立地し、工業・商業・住宅の機能が混在
- JRR光岡駅周辺が近隣商業地域となっているが、宅地開発等により住宅地が増加
- 地区南西部が耶馬日田英彦山国定公園に指定されているが、一部地域で土地開発等による住宅地が形成

【交通体系】

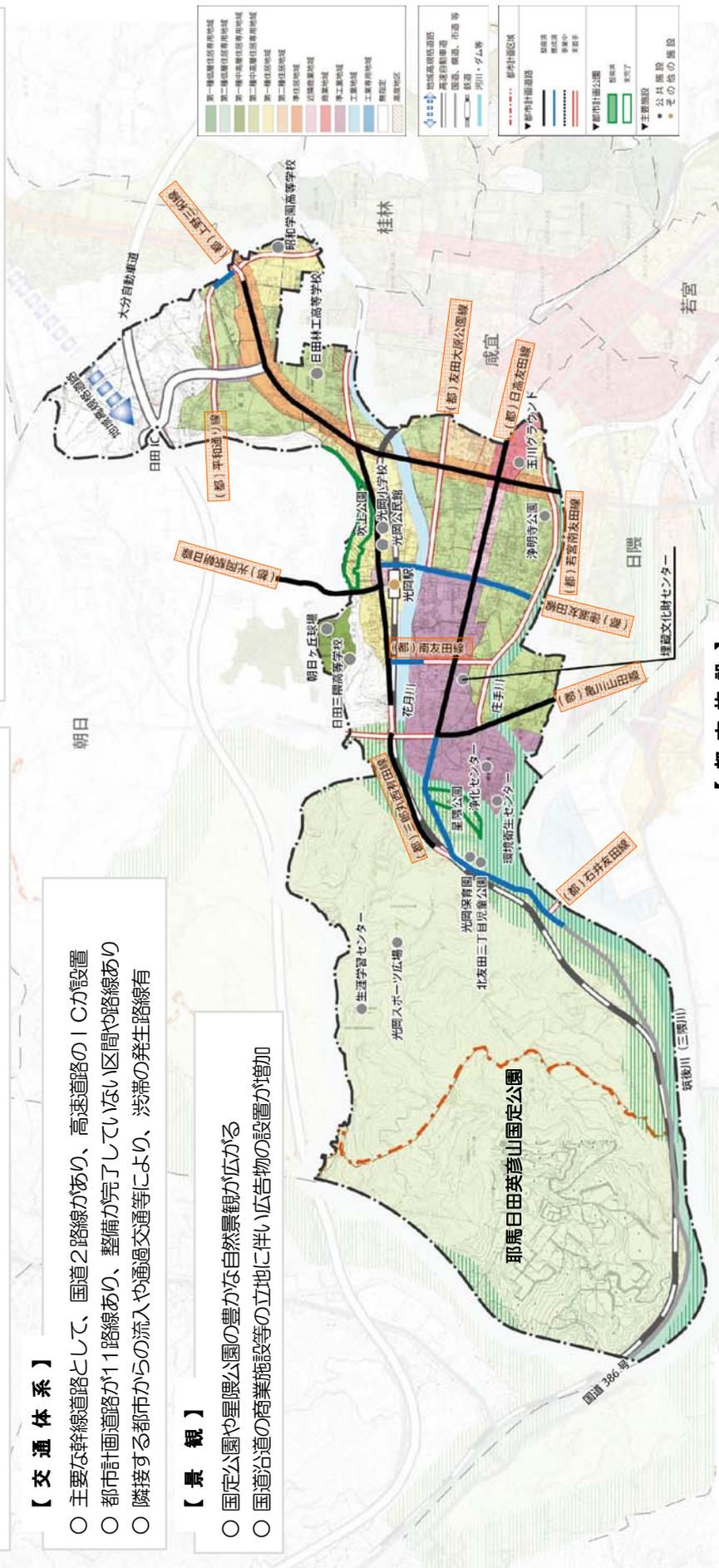
- 主要な幹線道路として、国道2路線があり、高速道路のICが設置
- 都市計画道路が1路線あり、整備が完了していない区間や路線あり
- 隣接する都市からの流入や通過交通等により、渋滞の発生路線有

【景観】

- 国定公園や星隈公園の豊かな自然景観が広がる
- 国道沿道の商業施設等の立地に伴い広告物の設置が増加

【公園緑地】

- 地区内に都市計画公園が2ヶ所あり、小規模な公園緑地も点在
- 星隈公園以西が耶馬日田英彦山国定公園内であり、豊かな自然環境を形成



【防災】

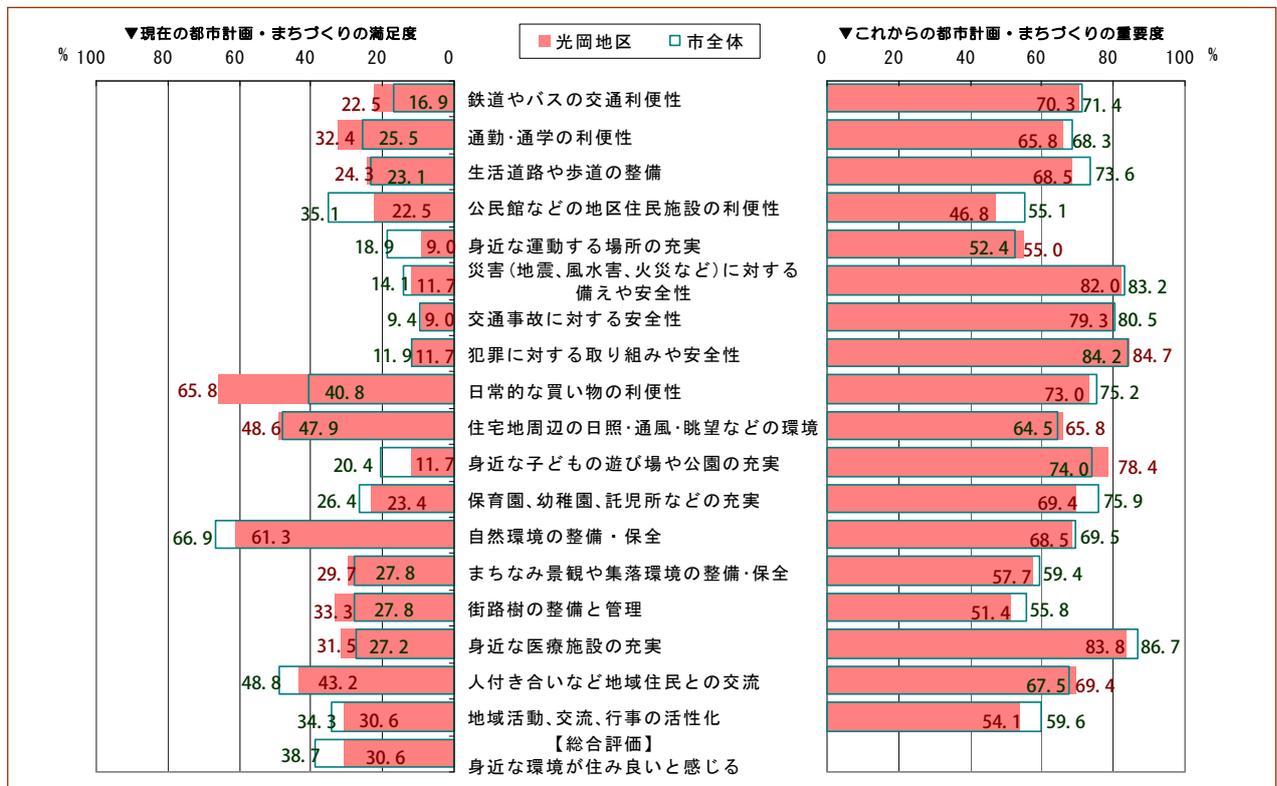
- 豪雨等に伴う水害による家屋への浸水被害や土砂災害に伴う交通網の寸断が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認

【都市施設】

- 一部の地域で上水道や簡易水道が整備されているが、その他は給水区域外
- 地区東部で下水道が整備されているが、その他は合併処理浄化槽等による生活排水処理
- これまでに経験したことのない大雨に伴う花月川の増水等により、堤防や道路等が損壊

● 市民の意向

- 整備された幹線道路や多様な商業施設立地等に伴い、公共交通、通勤・通学、日用品の買い物等の利便性が向上し、医療施設も充実していることから、中心市街地的な機能の集積が進んでいることが伺えます。
- 地区内にある都市計画公園は、風致としての機能を有しており、遊具や広場も設置されていないことから、活動の出来る身近な公園が求められています。
- 道路や各種施設等の機能が比較的充実していますが、身近な環境の住み良さに対する満足度が市全体の平均値よりも低くなっていることが特徴的です。
- 多様な機能が充足し、宅地造成による住宅地が増加していることから、地区人口も増加しているため、人付き合い等の地域住民の交流の希薄に対する懸念が、重要度の高さにつながっていると推測されます。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 地区内に大規模な小売店舗の立地や宅地造成に伴う住宅地の増加により、生活の利便性が向上していることから、無秩序な土地利用による用途混在を抑制することで、“**良好な居住環境を守るまちづくり**”を推進します。
- 地区西部に広がる山林緑地や農用地の管理・保全と適切な誘導により“**自然環境を守るまちづくり**”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地利用

- 国道386号周辺や準工業地域内における土地の利用動向を考慮し、用途混在により居住環境に悪影響を及ぼさないように、地域住民や関係機関等との調整を図りながら、適正な土地利用規制等について検討します。
- JR光岡駅前や用途地域内の農用地等において、小規模な土地開発による宅地化が進行していることから、地域の土地利用動向を注視しながら、適正な土地利用誘導について検討します。
- 耶馬日田英彦山国定公園区域や用途無指定地域における無秩序な土地開発の抑制に努めます。

● 交通体系

- 都市計画道路の整備は、未整備区間や長期未着手路線も含めて地元住民や関係機関等と調整を図りながら地域の実情や必要性も考慮し、計画等の見直しを検討します。
- 都市計画道路網全体のバランスを考慮し、特定路線の渋滞解消に向けて、整備を促進していく路線等について検討します。



● 公園緑地

- 未整備区域がある都市計画公園等については、地元住民や関係機関等と協議しながら、整備や計画の見直しを検討します。
- 耶馬日田英彦山国定公園の指定地域内では、無秩序な土地開発等を抑制します。

● 都市施設

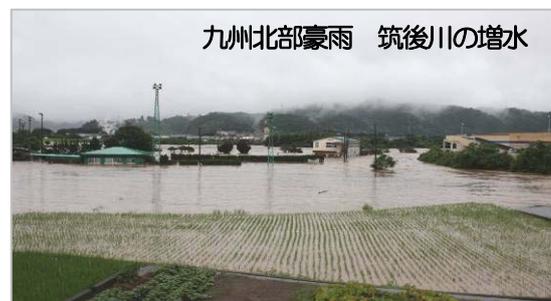
- 上水道等の水道供給施設の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境保護や水質の汚染防止等の観点から、下水道の未整備区域では、早期整備に努めるとともに、処理区域外の地域については合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫する恐れのある河川の計画的な改修を推進します。

● 景観

- 耶馬日田英彦山国定公園や星隈公園の山林景観の保全に努めます。
- 主要な幹線道路等の沿道における建築物や広告物等については、周辺景観や背景となる山なみ景観との調和に配慮し、市街地としての賑わいを感じる景観の形成・誘導に努めます。

● 防災

- 花月川や二串川等の増水や氾濫に対する治水環境整備の推進及び災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。



● その他

- 基盤整備の充実により多様な機能が集積し、市街地として発展してきた地区であることから、今後の土地利用動向に注視していきます。

光岡地区の方針図

【土地利用】

- 国道386号沿道及び周辺の準工業地域における適正な土地利用誘導による用途の混在防止
- J/R光岡駅周辺や地区北東部の住宅地増加に伴う居住環境の向上
- 耶馬日田英彦山国定公園や用途無指定地域における無秩序な土地開発等の抑制

【交通体系】

- 都市計画道路は、地域の実情や必要性も考慮した計画等の見直し
- 都市計画道路は、道路網全体のバランスや地域の実情、必要性を考慮し、計画等の見直しや整備を促進する路線を検討

【景観】

- 国定公園や星隈公園等の自然景観の維持・保全
- 国道沿道や河川沿いの建築物・広告物等に対する景観誘導の促進

【公園緑地】

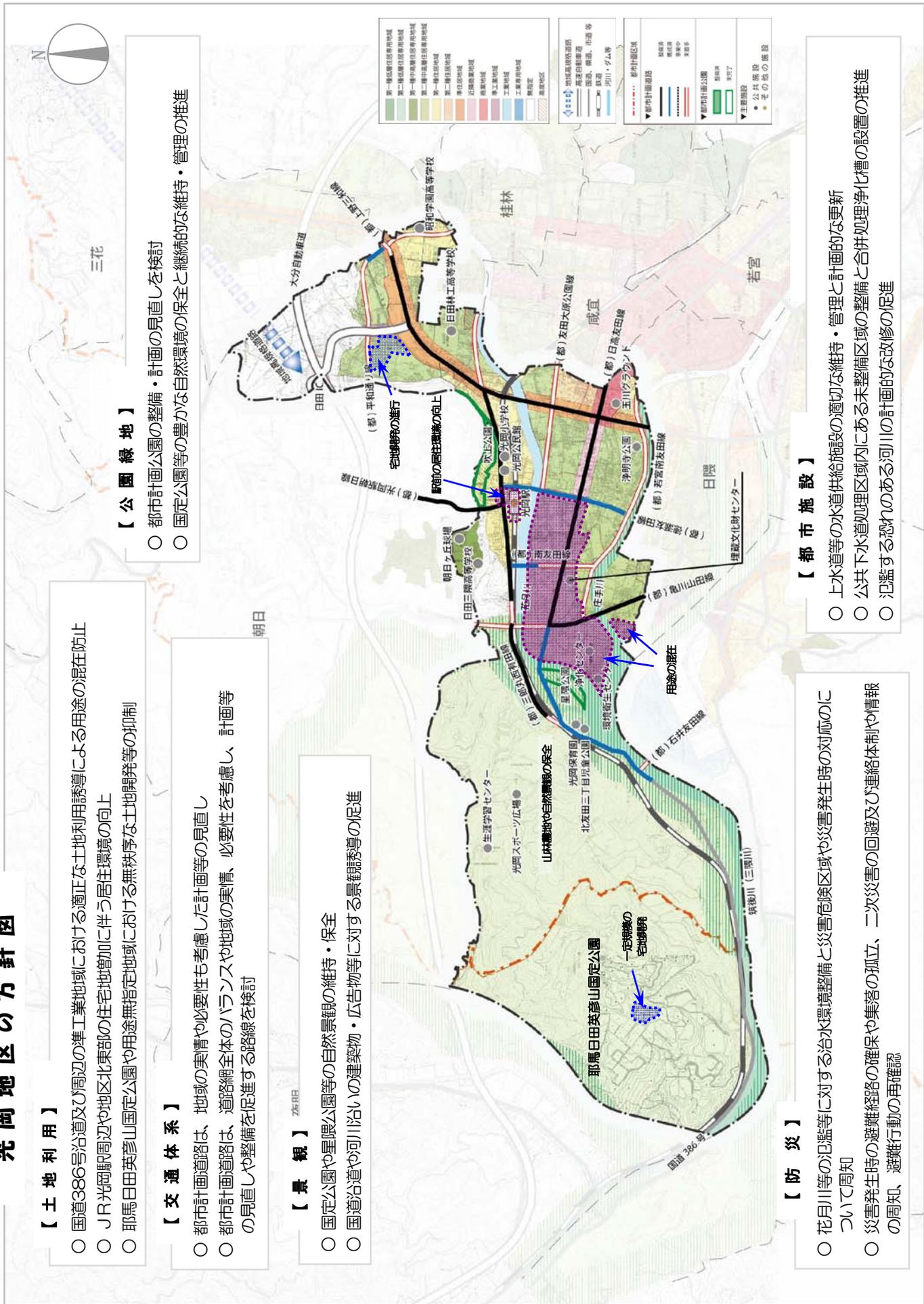
- 都市計画公園の整備・計画の見直しを検討
- 国定公園等の豊かな自然環境の保全と継続的な維持・管理の推進

【防災】

- 花月川等の氾濫等に対する治水環境整備と災害危険区域や災害発生時の対応の対応のついて周知
- 災害発生時の避難経路の確保や集落の孤立、二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

【都市施設】

- 上水道等の水道供給施設の適切な維持・管理と計画的な更新
- 公共下水道処理区域内にある未整備区域の整備と合併処理浄化槽の設置の推進
- 氾濫する恐れのある河川に計画的な改修の促進



⑨ 朝日地区

(1) 地区の概況

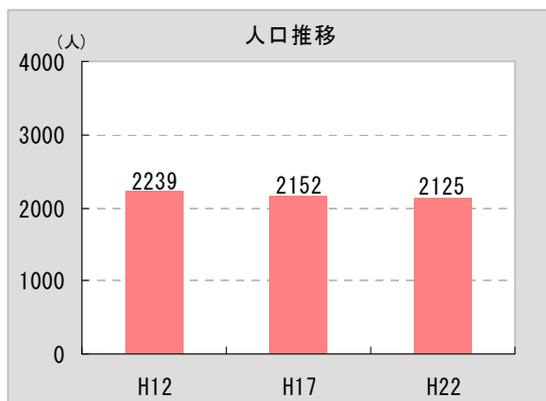
● 位置・地勢

- 山田原や吹上台地等の丘陵地や整備された広大な農用地を有し、地区南西部の北方岳周辺には耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けている山林緑地が広がっています。また、地区の中央を流れる二串川が南北を縦断しています。
- 地区の南部を横断している大分自動車道が東西に向かって伸びており、日田市の玄関口となる日田ICにつながっています。

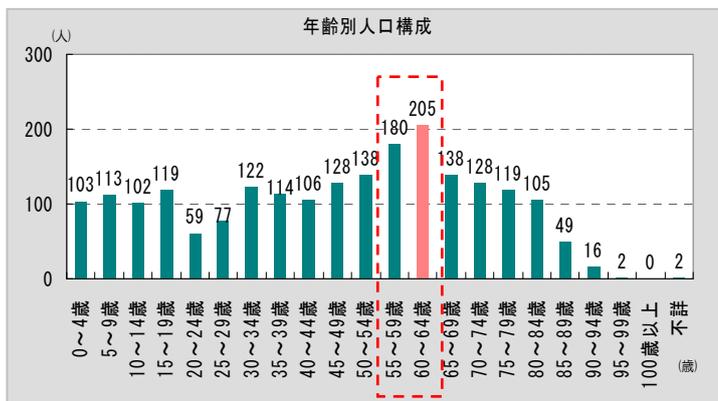


● 人口の動向

- 人口は緩やかな減少傾向を示し、平成12年と比較して約110人減少しています。
- 50歳代後半から60歳代前半が比較的多くなっています。



出典：国勢調査（H12・H17・H22）



出典：国勢調査（H22）

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 地区南部が都市計画区域に指定されており、静かな低層住宅地が広がる朝日ヶ丘地域に用途地域及び高度地区を指定しています。
- 用途無指定地域における無秩序な土地開発等が懸念されます。
- 地区の大部分が山林緑地や農用地であり、豊かな自然環境の中に集落地が点在しています。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として、県道大鶴熊取線が配置されています。
- 地区内に都市計画道路が2路線ありますが長期未着手の路線があります。
- 山間の集落地から市街地に通じる交通機能の低下や交通網の寸断が懸念されます。

● 公園緑地

- 地区内には都市計画公園が1ヶ所であり、萩尾公園や小規模な公園も点在しています。
- 南西部の山林緑地は、耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。

● 都市施設

- 一部地域で上水道や簡易水道が整備されていますが、その他の地域は供給区域外です。
- 一部地域で公共下水道が整備されていますが、その他は合併処理浄化槽の設置による生活排水処理が中心となっています。
- 二串川等の増水により、堤防や水路の損壊家屋の浸水被害が懸念されます。
- 朝日ヶ丘地域には市営団地があり、地域のコミュニティを形成しています。



● 景観

- 南西部の耶馬日田英彦山国定公園や地区の大部分を占める山林緑地、豊かな自然景観を形成しています。
- 基盤整備された農用地や集落地と、背景となる盆地特有の山なみが一体となって、良好な里山景観を形成しています。

● 防災

- 豪雨に伴う二串川等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知及び日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



● その他

- 用途無指定地域に広がる農用地は、農業振興地域の農用地区域に指定しています。



朝日地区の現況・課題図

【土地利用】

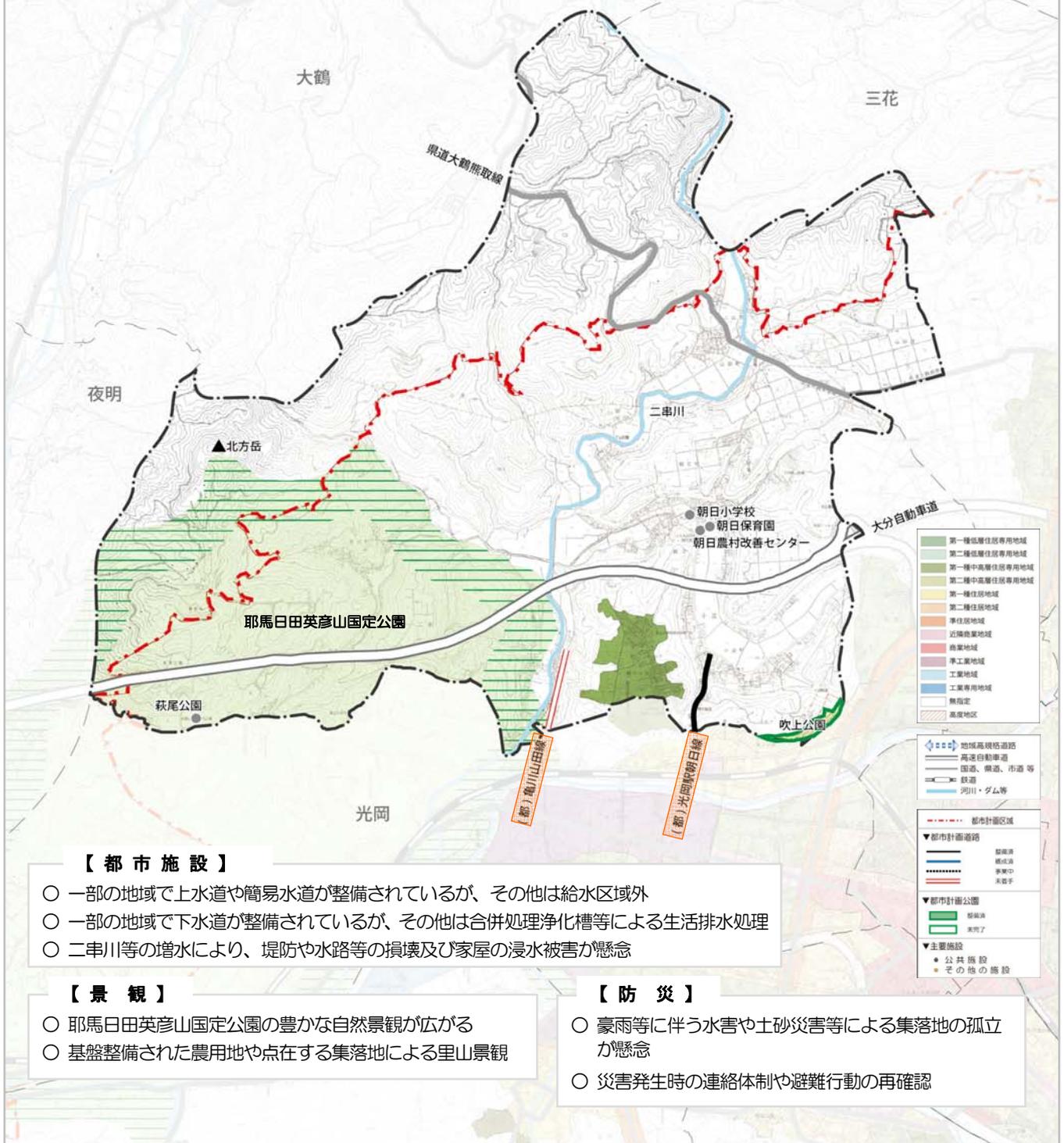
- 朝日ヶ丘地区に用途地域及び高度地区を指定している
- 用途地域の指定がない地域（無指定地域）における無秩序な土地開発等が懸念される
- 地区の大部分が山林緑地や農用地であり、豊かな自然環境の中に集落地が点在している

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、県道大鶴熊取線が配置
- 都市計画道路が2路線あり、整備が完了していない区間や路線あり
- 山間の集落地に通じる幹線道路等の交通網寸断が懸念

【公園緑地】

- 地区内に萩尾公園及び吹上公園の一部があり
- 地区南西部が耶馬日田英彦山国定公園に指定



【都市施設】

- 一部の地域で上水道や簡易水道が整備されているが、その他は給水区域外
- 一部の地域で下水道が整備されているが、その他は合併処理浄化槽等による生活排水処理
- 二串川等の増水により、堤防や水路等の損壊及び家屋の浸水被害が懸念

【景観】

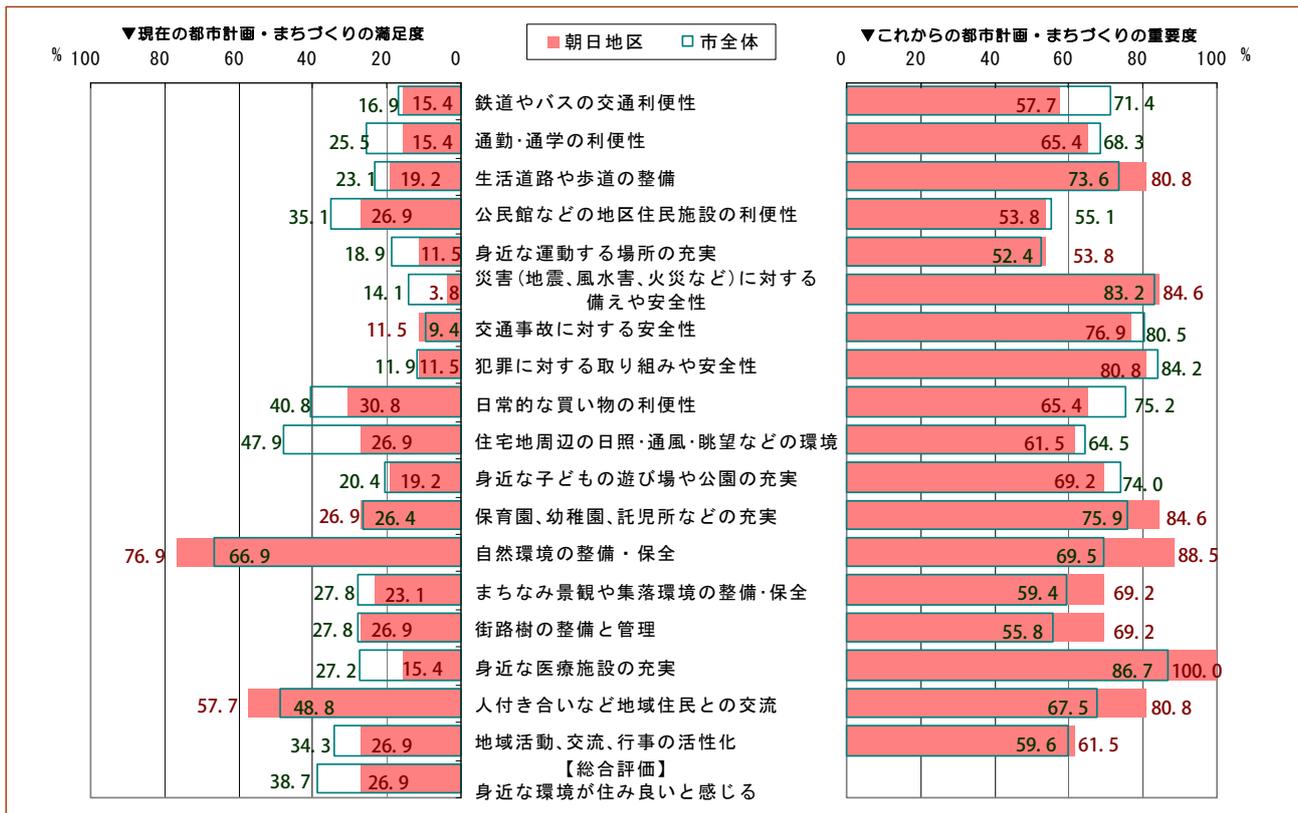
- 耶馬日田英彦山国定公園の豊かな自然景観が広がる
- 基盤整備された農用地や点在する集落地による里山景観

【防災】

- 豪雨等に伴う水害や土砂災害等による集落地の孤立が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認

● 市民の意向

- 通勤・通学や日用品の買い物、生活道路や歩道の整備等、日常生活に必要な機能に対する満足度が低くなっています。
- 幅広い世代が平均的に居住していることから、保育所等の児童福祉施設や身近な医療機関等の重要度が高くなっています。
- 住宅地周辺の環境やまちなみ・集落景観等身近な居住環境に対する充足感が、求められています。
- 地域住民の交流を重要視にしている地区であることから、満足度も高く地区住民の結びつきの強さが伺えます。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 地区にある山林緑地や整備された大規模な農用地の豊かな自然環境に囲まれ、点在している集落地が静かな居住環境を形成していることから“**自然環境と調和したまちづくり**”を推進します。
- 用途無指定地域が広がり、土地利用の自由度が高い反面、幹線道路が少ないため、適正な土地利用の誘導による“**良好な居住環境と調和した利便性の高いまちづくり**”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地利用

- 朝日ヶ丘地域では高度地区等の一定の規制や誘導等による居住環境の向上に努めます。
- 用途無指定地域における無秩序な土地開発の抑制による用途の混在防止に努めます。
- 地区の大部分を占める山林緑地等の無計画な森林伐採等の抑制に努めます。

● 交通体系

- 都市計画道路の整備は、地元住民や関係機関等との調整を図りながら、今後の整備・計画の方向性や必要性等について検討します。
- 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。



都市計画道路 光岡駅朝日線

● 公園緑地

- 既存の公園については、その機能に影響が出ないよう、適正な維持・管理に努めます。
- 耶馬日田英彦山国定公園やその他の地区に広がる山林緑地の自然景観の保全と適正な誘導による継続的な維持・管理に努めます。



萩尾公園

● 都市施設

- 上水道等の水道供給施設の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境保護や水質の汚染防止等の観点から、下水道の未整備区域では、早期整備に努めるとともに、処理区域外の地域については合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫する恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。
- 公共施設施設等の適切な機能維持を推進します。

● 景観

- 耶馬日田英彦山国定公園や盆地特有の山林緑地等の自然景観の保全を推進します。
- 基盤整備された農用地や点在する集落地と背景となる山なみ景観との調和を図るため、適切な誘導に努めます。



農用地の保全

● 防災

- 二串川等の増水や氾濫に対する治水環境整備の推進及び災害危険区域に関する情報収集による災害防止対策に努めます。
- 災害発生時の避難経路の確保や二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

● その他

- 地区内に広がる整備された農用地は、農業生産の重要な基盤となっていることから、維持・保全に努めます。

朝日地区の方針図

【土地利用】

- 朝日ヶ丘地区では高度地区の指定等の一定の規制・誘導等による居住環境の向上
- 用途無指定地域内における用途の混在防止と無秩序な土地開発等の抑制
- 地区の多くを占める山林緑地や国定公園内の無計画な森林伐採等の抑制

【交通体系】

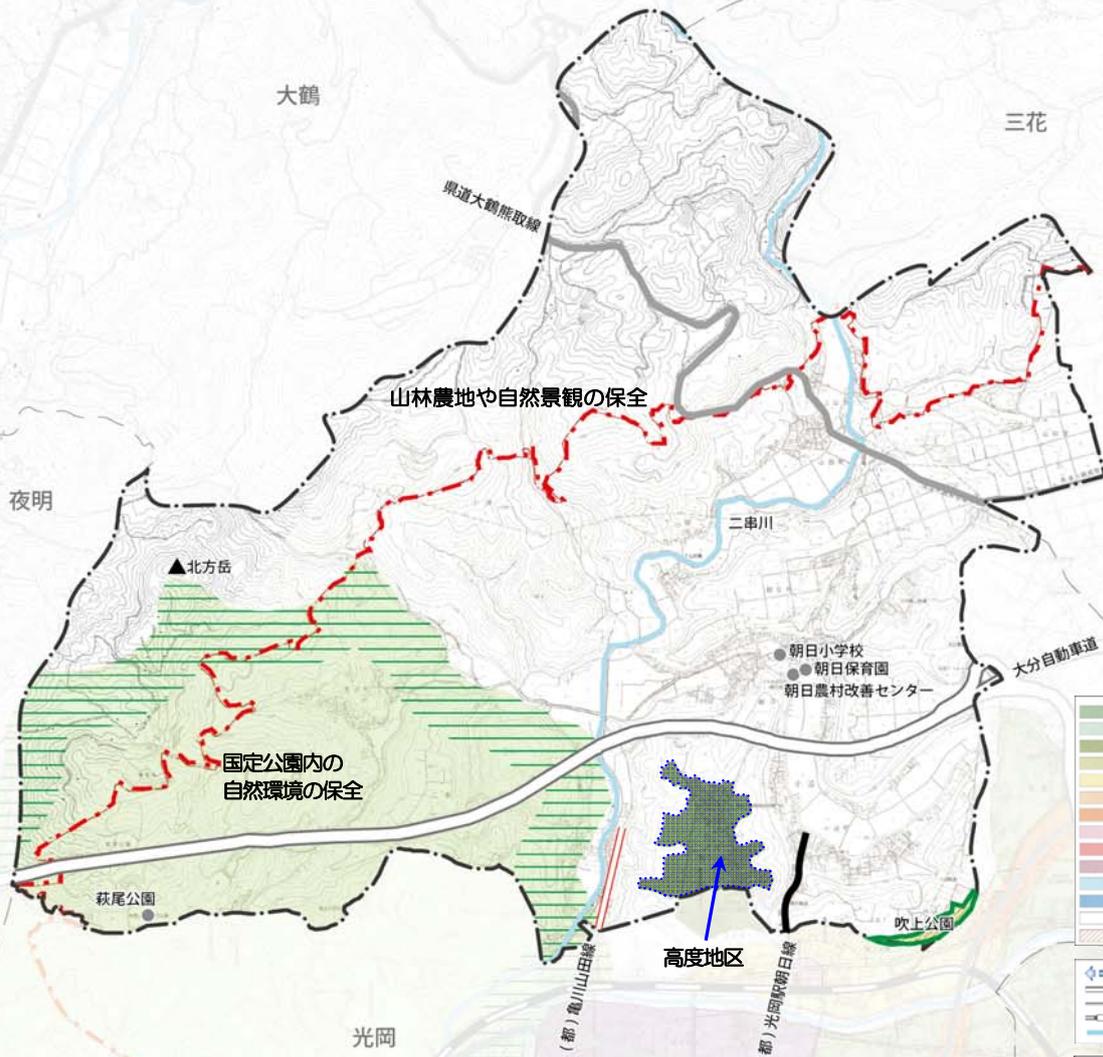
- 都市計画道路は、地域の実情や必要性も考慮した計画等の見直し
- 幹線道路等の機能の維持・保全と整備による利便性・安全性の向上

【公園緑地】

- 既存公園の適正な管理・保全と機能の維持
- 国定公園等の自然環境の保全と適正な誘導等による継続的な維持・管理



小野



【都市施設】

- 上水道等の水道供給施設の適切な維持・管理と計画的な更新
- 下水道の計画区域内にある未整備区域の整備と合併処理浄化槽の設置の促進
- 氾濫する恐れのある河川の計画的な改修を推進

【景観】

- 国定公園や盆地特有の山林緑地等の自然景観の保全
- 背景となる山なみ景観の調和を図るための適切な誘導

【防災】

- 二串川等の氾濫等に対する治水環境整備の促進や災害危険区域、災害発生時の対応について周知
- 災害発生時の避難経路の確保や集落の孤立、二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

⑩ 三花地区

(1) 地区の概況

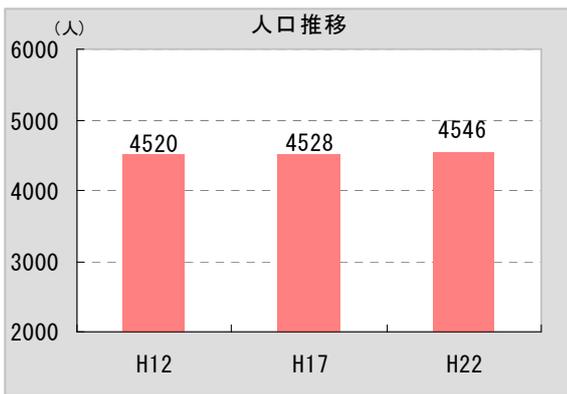
● 位置・地勢

- 市の北東部に位置し、中津市と隣接しています。
- 小野川と市ノ瀬川等が合流して、形成された花月川が中央部を横断しており、それに沿うように国道212号が通過しています。
- 耶馬日田英彦山国定公園の区域や豊かな自然資源を活用した公園があります。

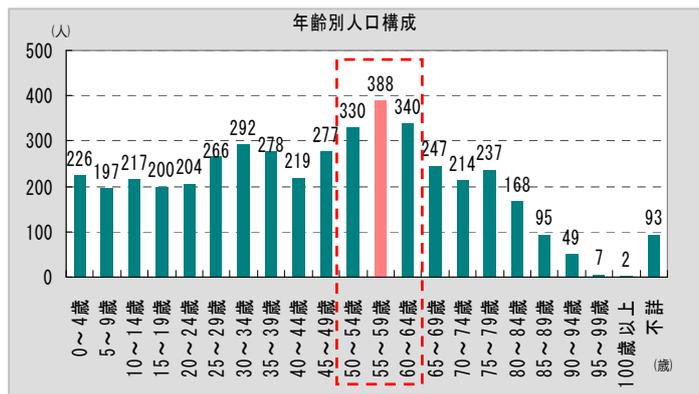


● 人口の動向

- 平成12年と比較して、ほぼ横ばいから微増となっています。
- 50歳代後半から60歳代前半の人口が多くなっています。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 国道212号周辺では、農用地からの土地利用の転換が進行しており、小規模な土地開発等によって、専用住宅や共同住宅等の建築が活発化しています。
- 国道212号沿道では、大規模な小売店舗やコンビニエンスストア等の商業施設等の進出が増加しています。
- 地区北東部では、山林緑地や農用地が広がり、豊かな自然環境の中に集落地が点在しています。



● 交通体系

- 地域高規格道路「中津日田道路」の実現に向けた取り組みを展開しています。
- 主要な幹線道路として国道212号・県道大鶴熊取線・県道宝珠山日田線・県道日田山国線が配置されており、国道212号は4車線化事業が行なわれています。
- 地区内に都市計画道路が3路線ありますが整備が完了していない区間や長期未着手の路線があります。
- 山間の集落地から市街地に通じる交通機能の低下や交通網の寸断が懸念されます。

● 公園緑地

- 地区内に公園緑地等が6ヶ所あり、スポーツ広場や豊かな自然環境等が広がる比較的規模の大きい公園もあります。
- 地区に広がる山林緑地は、市街地からも眺めることのできる盆地特有の山なみを形成しており、一部が耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けています。

● 都市施設

- 一部地域で上水道や簡易水道が整備されていますが、その他の地域は供給区域外となっています。
- 一部地域で公共下水道が整備されていますが、その他は供用区域外となっています。
- 花月川等の増水に伴う堤防や護岸、道路、架橋の損壊による家屋の浸水被害が懸念されます。



● 景観

- 耶馬日田英彦山国定公園や周辺の山林緑地が豊かな自然景観を形成しています。
- 国道212号沿道周辺に立地した商業施設により、多くの広告物等が設置されています。

● 防災

- 豪雨に伴う花月川等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動について周知・徹底や日頃からの連絡体制の確認や強化が求められています。

九州北部豪雨 花月川の氾濫



● その他

- 県指定史跡の石坂石畳道は、江戸時代の交通体系の一部を示し、当時の道路整備の姿を残す貴重な文化資源です。



三花地区の現況・課題図

【土地利用】

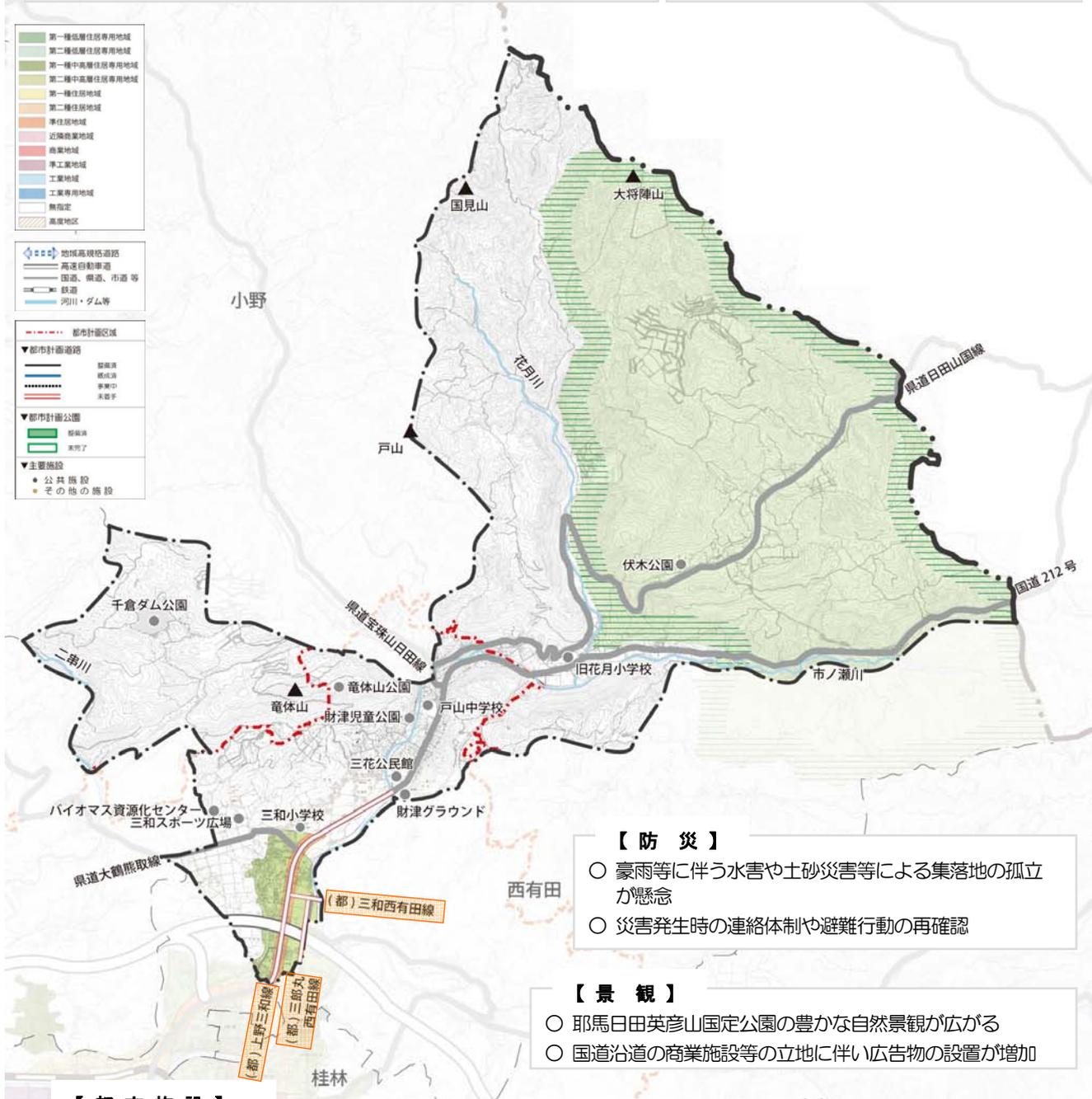
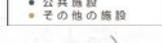
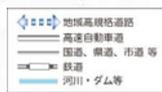
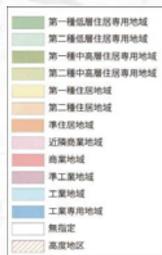
- 国道212号周辺では、農用地から住宅地へ土地利用が変化し、小規模な宅地開発が進行
- 国道212号沿道では、大規模な小売店舗等の商業施設が増加
- 地区北東部では山林緑地や農用地が広がり、豊かな自然環境の中に集落地が点在

【交通体系】

- 地域高規格道路「中津日田道路」の実現に向けた取り組みを実施
- 主要な幹線道路として、国道1路線と県道3路線が配置
- 都市計画道路が3路線あり、整備が完了していない区間や路線あり
- 山間の集落地に通じる幹線道路等の交通網寸断が懸念

【公園緑地】

- 地区内に6ヶ所の公園緑地等が点在
- 市街地から眺めることができる盆地特有の山なみと耶馬日田英彦山国定公園の指定



【防災】

- 豪雨等に伴う水害や土砂災害等による集落地の孤立が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認

【景観】

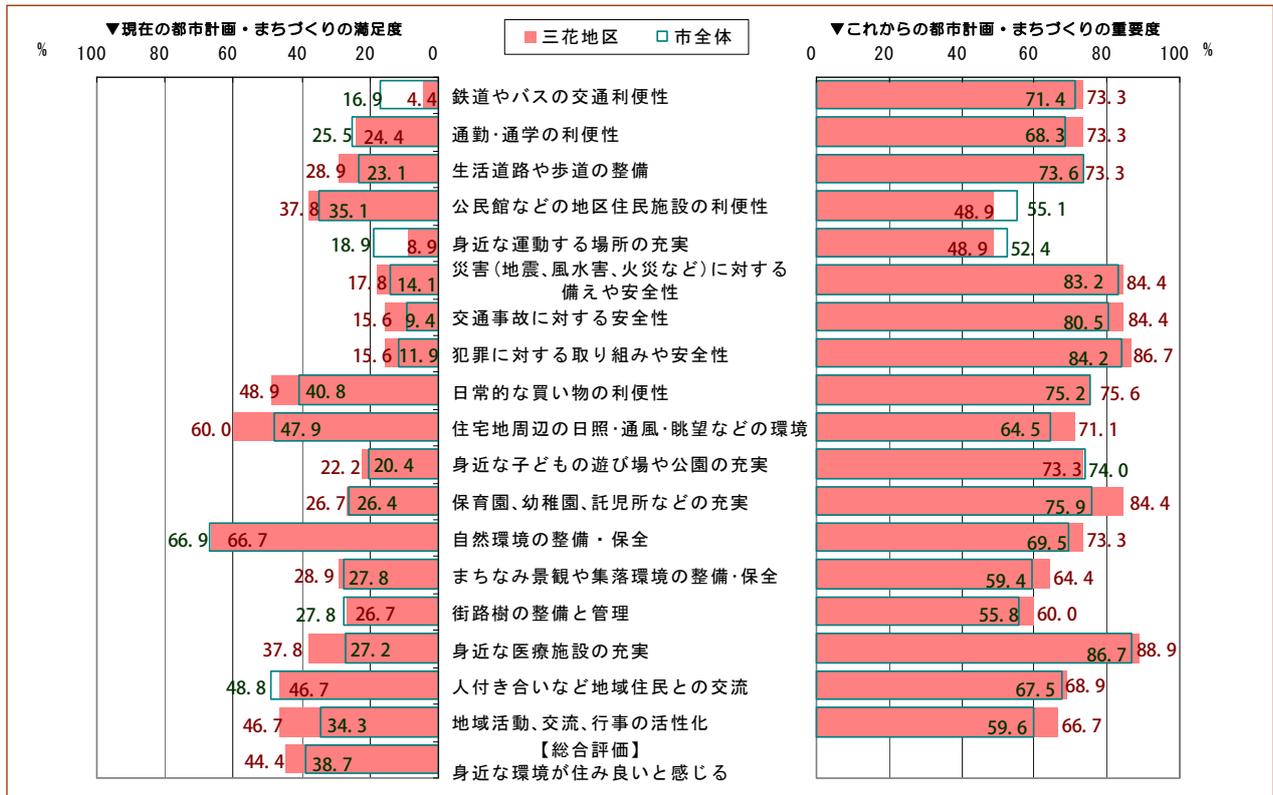
- 耶馬日田英彦山国定公園の豊かな自然景観が広がる
- 国道沿道の商業施設等の立地に伴い広告物の設置が増加

【都市施設】

- 一部の地域で上水道、簡易水道が整備されているが、その他は給水区域外
- 一部の地域で下水道が整備されているが、その他は合併処理浄化槽等による生活排水処理
- 花月川の増水等により、堤防や道路、架橋が損壊

● 市民の意向

- 国道212号沿道に商業施設等の立地が増加し、宅地造成等により土地利用が変化したことにより、利便性が向上していることが推測されます。
- 宅地化の進行により、地区の居住人口が増加しており、地域住民による交流に対する満足度も高くなっていることから、暮らしやすい環境となっていることが伺えます。
- 道路の整備や商業施設の増加等で利便性は向上していますが、今後見込まれる人口の増加に対応していくために、身近な公園や保育園等の児童福祉施設等の重要度が高くなっていることが特徴的です。
- 住宅の増加に伴い、採光・通風・プライバシーといった居住環境に対する意識が向上していることが伺えます。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 国道212号沿いに商業施設や宅地造成が増加し、地区人口も増加傾向にあることから、無秩序な土地利用による用途混在を抑制することで“**良好な居住環境と利便性の高いまちづくり**”を推進します。
- 豊かな自然環境の管理・保全と計画的な生活基盤の整備等により“**安全・安心なまちづくり**”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地利用

- 国道212号周辺の用途無指定地域については、土地利用の転換による宅地化等が進行していることから、用途の混在等が発生しないように、地域住民や関係機関等との調整を図りながら、土地利用規制について検討します。
- 地区内に広がる山林緑地や耶馬日田英彦山国定公園の区域内における無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制に努めます。

● 交通体系

- 地域高規格道路「中津日田道路」の建設実現に向けた取り組みを促進します。
- 国道212号は、市道葛原線との交差点付近までを拡幅する4車線化事業を促進します。
- 都市計画道路の整備は、未整備区間や長期未着手路線も含めて地元住民や関係機関等と調整を図りながら地域の実情や必要性も考慮し、計画等の見直しを検討します。
- 幹線道路等の管理・保全による機能の維持を推進し、利便性・安全性の向上に努めます。



● 公園緑地

- 既存の公園については、自然環境等を活かした公園として管理・保全していくとともに、利用に影響が出ないように、機能の維持等に努めます。
- 耶馬日田英彦山国定公園やその他の地区に広がる山林緑地の自然景観等の保全と適正な誘導による継続的な維持・管理に努めます。

● 都市施設

- 上水道等の水道供給施設の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境保護や水質の汚染防止等の観点から、下水道の未整備区域では、早期整備に努めるとともに、処理区域外の地域については合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 豪雨等による増水に伴い、氾濫する恐れのある河川の改修を推進し、宅地化の進行に伴う雨水幹線等の計画的な整備に努めます。

● 景観

- 耶馬日田英彦山国定公園や盆地特有の山林緑地等の自然景観の保全を推進します。
- 主要な幹線道路等の沿道における建築物や広告物等については、周辺景観や背景となる山なみ景観との調和に努めます。

● 防災

- 花月川等の増水や氾濫に対する治水環境整備の推進や災害危険箇所の情報収集等による災害防止対策を推進します。
- 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

● その他

- 文化資源となる史跡や良好な景観を有し、地域のシンボルとなるような建築物の適正な維持・保全に努め、交流拠点としての活用を図ります。

⑪ 西有田地区

(1) 地区の概況

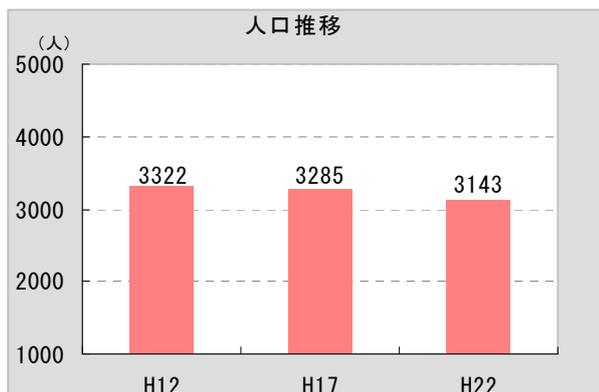
● 位置・地勢

- 市の北東部に位置し、中津市と隣接する地区です。
- 地区東部が耶馬日田英彦山国定公園に指定されており、山林緑地が地区の大部分を占めています。
- 花月川や有田川が合流しており、工業地や宅地開発、ゴルフ場等、複数の大規模な土地利用が図られているのが特徴的です。

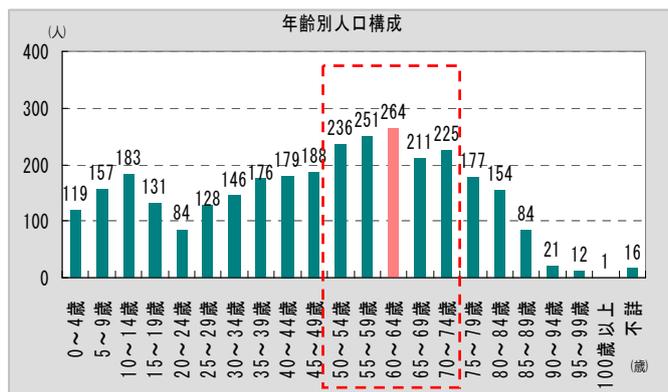


● 人口の動向

- 人口は緩やかな減少傾向を示し、平成12年と比較して約180人減少しています。
- 50歳代から70歳代の人口が比較的多く、高齢化が進みつつあります。



出典：国勢調査（H12・H17・H22）



出典：国勢調査（H22）

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 地区東部に耶馬日田英彦山国定公園や保安林等の自然景観が広がり、地区西部が都市計画区域に指定されています。
- 都市計画区域内は、主に住居系用途地域を指定しており、一部に大規模な宅地開発が見られます。
- 地区北西部には、工場や物流施設等が複数立地しており、ゴルフ場等の大規模な土地利用が図られている区域があります。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として、県道西有田豆田線 県道日田玖珠線が配置されています。
- 地区内に都市計画道路が3路線ありますが整備が完了していない区間や長期未着手の路線があります。



● 公園緑地

- 地区東部は耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。
- 既存公園として秋山町しぜん公園等、3公園や小規模な公園が点在しています。



● 都市施設

- 一部の地域において、上水道や簡易水道及び給水施設が整備されています。
- 下水道の供用区域以外は、農業集落排水や合併処理浄化槽の設置による生活排水処理が中心となっています。
- 花月川や有田川等の増水により、堤防や道路・架橋の損傷等による家屋の浸水被害が懸念されます。

● 景観

- 耶馬日田英彦山国定公園の区域内では、山林緑地が東部に広がっており、豊かな自然景観を形成しています。

● 防災

- 豪雨に伴う花月川等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



● その他

- 地区北西部には、電気機器メーカーや酒類メーカー等の進出企業が集積しており、産業拠点を形成しています。



西有田地区の現況・課題図

【土地利用】

- 地区東部には国定公園等の自然環境が広がり、地区西部の一部が都市計画区域内
- 都市計画区域内は主に居住地が多く、一部に大規模な土地開発による住宅地が形成
- 地区北西部は多様な工場や物流施設が立地し、ゴルフ場等の大規模な土地利用もあり

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、県道2路線が配置
- 地区内に都市計画道路が3路線あるが、整備が完了していない区間や路線あり

【公園緑地】

- 地区北東部が耶馬日田英彦山国定公園に指定
- 地区内に秋山町しぜん公園等の小規模公園が点在

【都市施設】

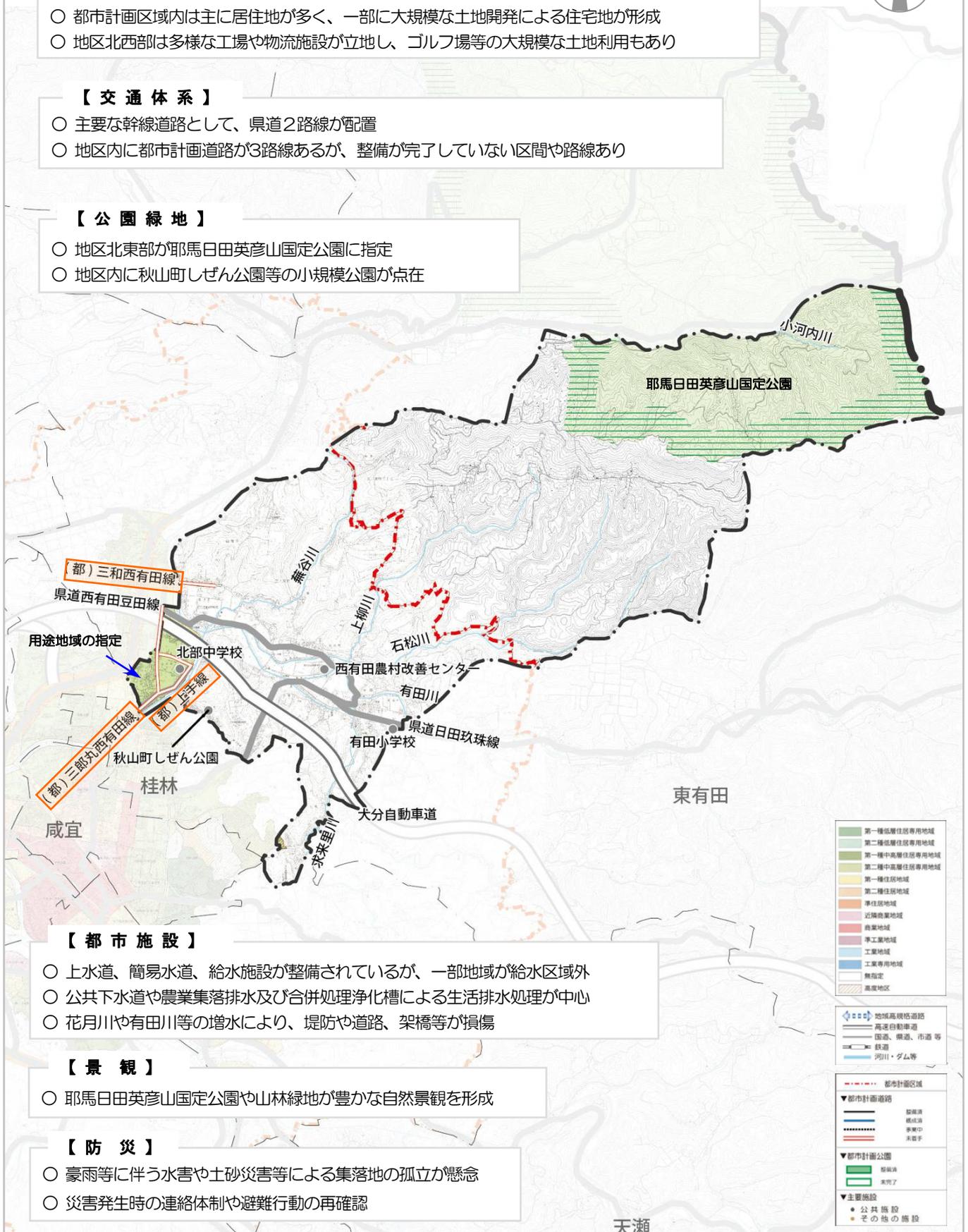
- 上水道、簡易水道、給水施設が整備されているが、一部地域が給水区域外
- 公共下水道や農業集落排水及び合併処理浄化槽による生活排水処理が中心
- 花月川や有田川等の増水により、堤防や道路、架橋等が損傷

【景観】

- 耶馬日田英彦山国定公園や山林緑地が豊かな自然景観を形成

【防災】

- 豪雨等に伴う水害や土砂災害等による集落地の孤立が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認



	第一種低層住居専用地域
	第二種低層住居専用地域
	第一種中高層住居専用地域
	第二種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	第二種住居地域
	準住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	工業地域
	工業専用地域
	無指定
	高度地区

	地域高規格道路
	高速自動車道
	国道、県道、市道等
	都道府県道
	河川・ダム等

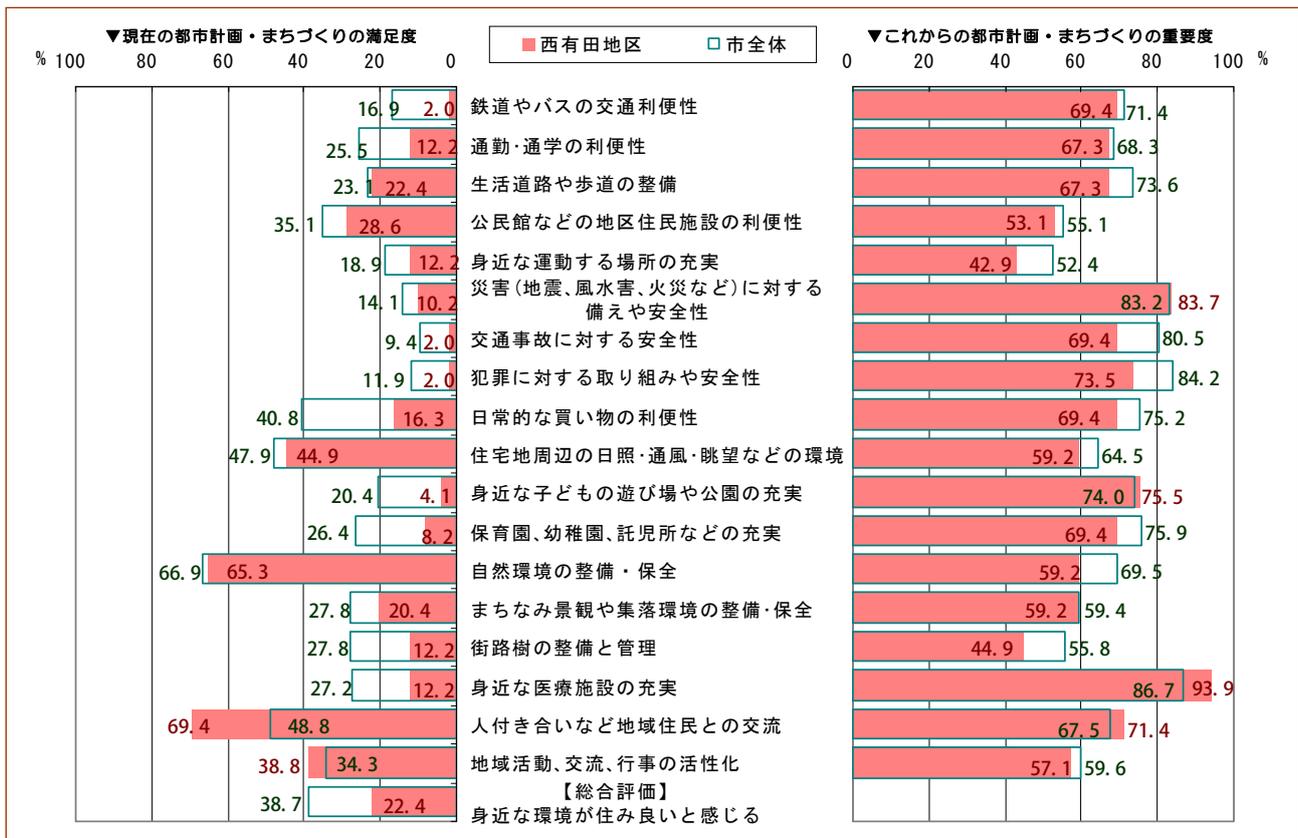
	都市計画区域
	都市計画道路
	既設済
	建設済
	事業中
	未着手

	都市計画公園
	既設済
	未完了

	主要施設
	公共施設
	その他の施設

● 市民の意向

- 通勤・通学や日用品の買い物の利便性、身近な医療施設等、日常生活に必要な基本的な項目の満足度が低くなっています。
- 比較的通行車両の多い市街地へと向かう道路頭に、狭隘な区間等が見られることから交通事故や犯罪、災害に対する懸念が伺えます。
- 重要度については、全般的に市全体の平均値以下となっていますが、身近な環境の住みやすさを評価している全体的な評価が低なっている点が特徴的です。
- 規模の大きな病院が地区に隣接していますが、身近な医療機関が求められています。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 地区北西部に工場等が集積する地区を有していることから、適正な土地利用の誘導を図ることで、“**地域特性を活かしたまちづくり**”を推進します。
- 耶馬日田英彦山国定公園を中心として、山林緑地や農用地が広がっていることから、“**自然環境を守るまちづくり**”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土 地 利 用

- 豊かな自然環境保全のため、適正な土地利用誘導による、無秩序な土地開発の抑制に努めます。
- 地区内に住居系や工業系の各用途の建築物等が立地していることから、機能的な区分を行うことで用途の混在防止に努めます。
- 工場等が集積する地区やゴルフ場、宅地開発等の大規模な土地利用については、無計画な森林伐採の抑制を推進します。



● 交 通 体 系

- 都市計画道路の整備は、未整備区間や長期未着手路線も含めて地元住民や関係機関等と調整を図りながら地域の実情や必要性も考慮し、計画等の見直しを検討します。
- 地区内の道路機能の維持や管理・保全、効率的な整備により、地区内外の連携を促進します。



● 公 園 緑 地

- 耶馬日田英彦山国定公園の指定地域では山林緑地等の自然環境の保全に努めます。
- 既存公園は、憩いや活動の場としての活用促進を図るとともに、適正な維持・管理に努めます。

● 都 市 施 設

- 上水道等の水道供給施設の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 公共下水道の未整備区域内の整備と農業集落排水の計画的な更新、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫する恐れのある河川や水路等の計画的な改修を促進します。



● 景 観

- 耶馬日田英彦山国定公園や盆地特有の山林緑地等の自然景観の保全を推進します。

● 防 災

- 花月川や有田川等の増水や氾濫に対する治水環境整備の推進や災害危険箇所等の情報収集等による災害防止対策を推進します。
- 災害発生時の避難経路の確保や集落の孤立、二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認を推進します。

● そ の 他

- 地区北西部の工場等の集積地では、周辺環境との調和を図り、機能の区分等による土地利用の誘導に努めます。

西有田地区の方針図

【土地利用】

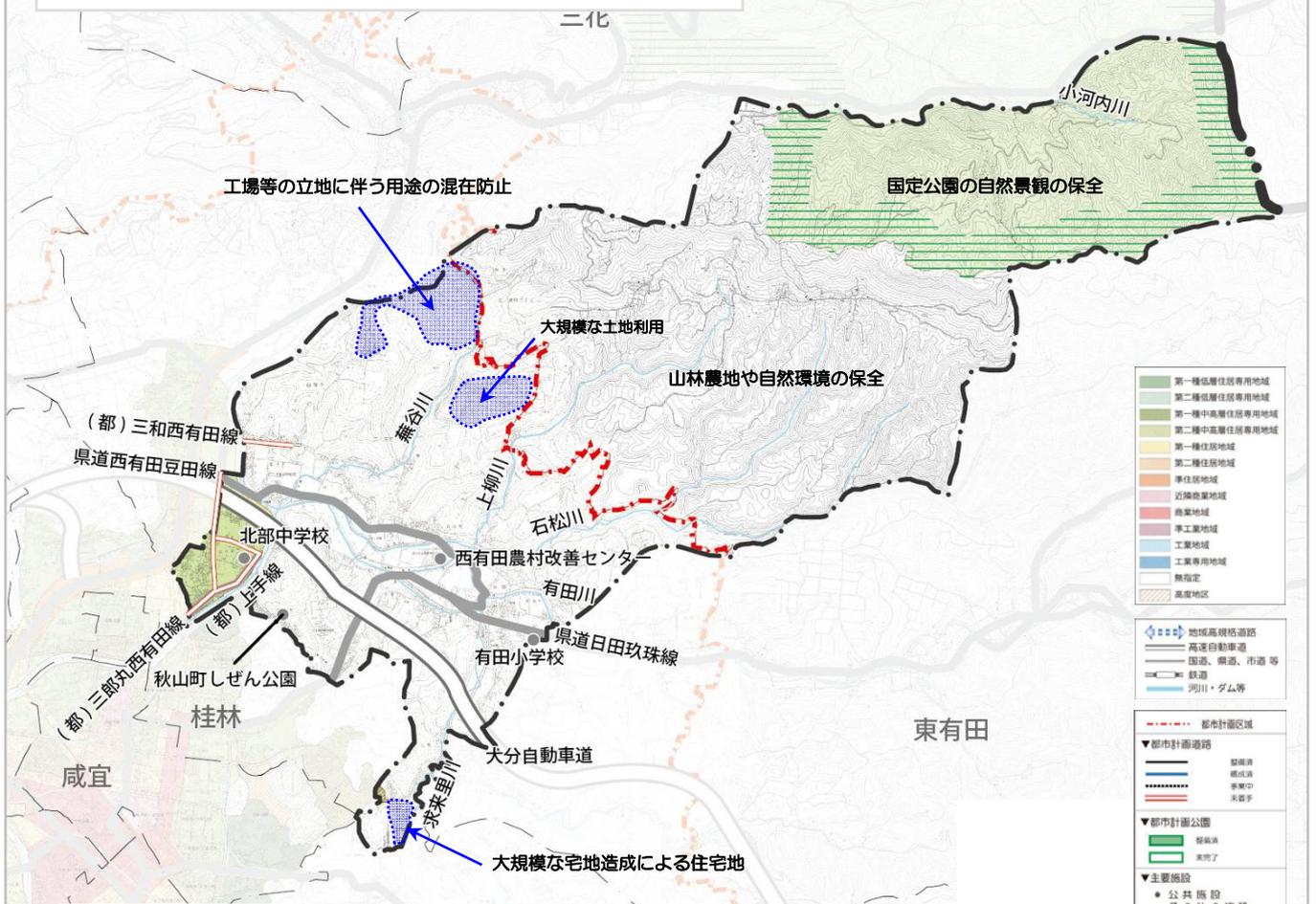
- 豊かな自然環境の保全のため、無秩序な土地開発の防止
- 住居系・工業系の建築物が立地していることから、機能的な区分による用途混在の防止
- 宅地造成等の大規模な土地利用をする場合は、無計画な森林伐採等を抑制

【交通体系】

- 都市計画道路は地域の実情や必要性も考慮した計画等の見直しを検討
- 地区内の道路機能の維持・管理等による地区内外の連携を促進

【公園緑地】

- 国定公園や山林緑地における自然環境の維持・保全
- 既存公園の機能の維持と適正な管理による保全



第一種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第一種住居地域	準住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	無指定	高度地区
第二種低層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第二種住居地域	準工業地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	無指定	高度地区
第一種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第一種住居地域	準住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	無指定	高度地区
第二種低層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第二種住居地域	準工業地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	無指定	高度地区

地域高規格道路	都市計画道路	主要施設
高速自動車道	路線別	公共施設
国道、県道、市道等	完成済	その他の施設
鉄道	事業中	
河川・ダム等	未着手	
	都市計画公園	
	整備済	
	事業中	
	未着手	
	主要施設	
	公共施設	
	その他の施設	

【都市施設】

- 上水道等の水道供給施設の適切な維持・管理及び計画的な更新
- 下水道の未整備区域内の整備と農業集落排水の計画的な更新及び合併処理浄化槽の設置を推進
- 氾濫する恐れのある河川の計画的な改修を推進

【景観】

- 国定公園や盆地特有の自然景観の保全を推進

【防災】

- 花月川等の水害に対する治水環境整備の促進や災害危険箇所の情報収集等による災害防止対策の推進
- 災害発生時の避難経路の確保や集落の孤立、二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

大瀬

⑫ 東 有 田 地 区

(1) 地区の概況

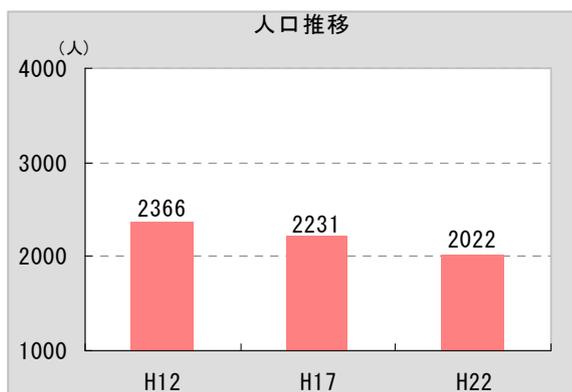
● 位置・地勢

- 市の北東部に位置し、玖珠郡と隣接する地区です。
- 地区東部にある700m級の一尺八寸山や月出山岳周辺が耶馬日田英彦山国定公園に指定されており、谷あいからは有田川等が地区を横断するように流れています。
- 地区西部の都市計画区域内に、大規模な工場団地として整備したウッドコンビナートがあります。

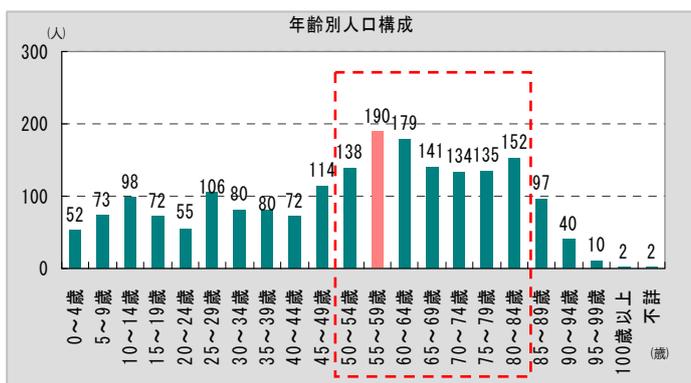


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示し、平成12年と比較して約340人減少しています。
- 50歳代から80歳代が多く、高齢化が進みつつあります。



出典：国勢調査（H12・H17・H22）



出典：国勢調査（H22）

(2) 地区の現況と課題

● 土地 利 用

- 地区西部の一部を都市計画区域に指定していますが、地区の大部分は山林緑地や農用地等が広がっています。
- 都市計画区域内は用途地域を指定していない用途無指定地域となっています。
- 木材産業の拠点として整備されたウッドコンビナートは、一般企業も立地可能となっており、大規模な工業団地を形成しています。
- 農用地保全のため、農業振興地域が指定されている地域があります。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として県道日田玖珠線、県道白地日田線・県道戸畑日田線の3路線が配置されています。
- 山間の集落地から市街地に通じる交通機能の低下や交通網の寸断が懸念されます。



● 公園緑地

- 地区の大部分が山林緑地や農地で構成されており、地区東部は耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。
- 既存公園として、ウッド平島公園、平島神田公園を整備しています。

● 都市施設

- 一部地域において、上水道や簡易水道及び給水施設が整備されていますが、その他の地域は給水区域外となっています。
- 地区西部の一部が下水道計画区域になっていますが、その他の地域は合併処理浄化槽の設置による生活排水処理が中心となっています。
- 有田川等の増水により、護岸や道路、架橋等の損壊が懸念されます。

● 景観

- 有田川等に沿って整備された農用地や集落地と背景となる山なみが一体となって、良好な里山景観を形成しています。
- 耶馬日田英彦山国定公園の区域内では、山林緑地が東部に広がっており、豊かな自然景観を形成しています。

● 防災

- 豪雨に伴う有田川等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



● その他

- ウッドコンビナートは、工業関係施設等の集積を目的とした、産業拠点を形成しています。



東有田地区の現況・課題図

【土地利用】

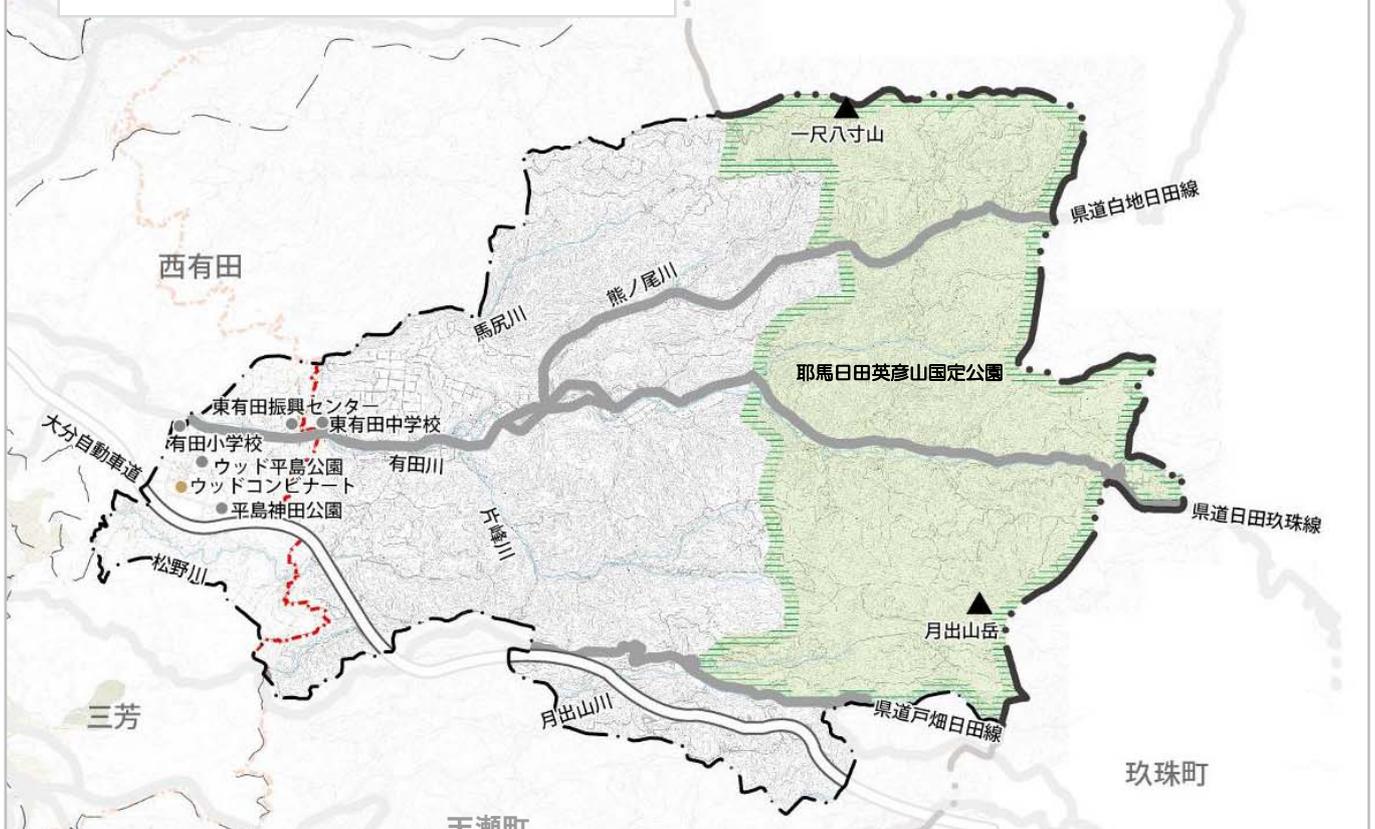
- 地区西部の一部が都市計画区域内であり、地区の大部分が山林緑地や農用地となっている
- 都市計画区域内に用途地域の指定なし
- 農用地の保全を目的とした農業振興地域の指定あり
- 工場等の立地を目的としたウッドコンビナートによる大規模な土地利用あり

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、県道3路線が配置
- 山間の集落地や市街地に通じる交通機能の低下、交通網の寸断が懸念

【公園緑地】

- 地区南西部が耶馬日田英彦山国定公園に指定
- 既存公園として、ウッド平島公園など2公園あり



【都市施設】

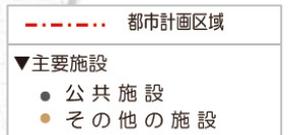
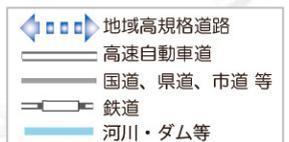
- 一部地域で上水道や簡易水道及び給水施設が整備されているが、その他は給水区域外
- 合併処理浄化槽による生活排水処理が中心
- 有田川等の増水により、堤防や道路、架橋が損壊

【景観】

- 有田川等に沿って整備された農用地や集落地と背景となる山なみが里山景観を形成
- 耶馬日田英彦山国定公園や山林緑地が豊かな自然景観を形成

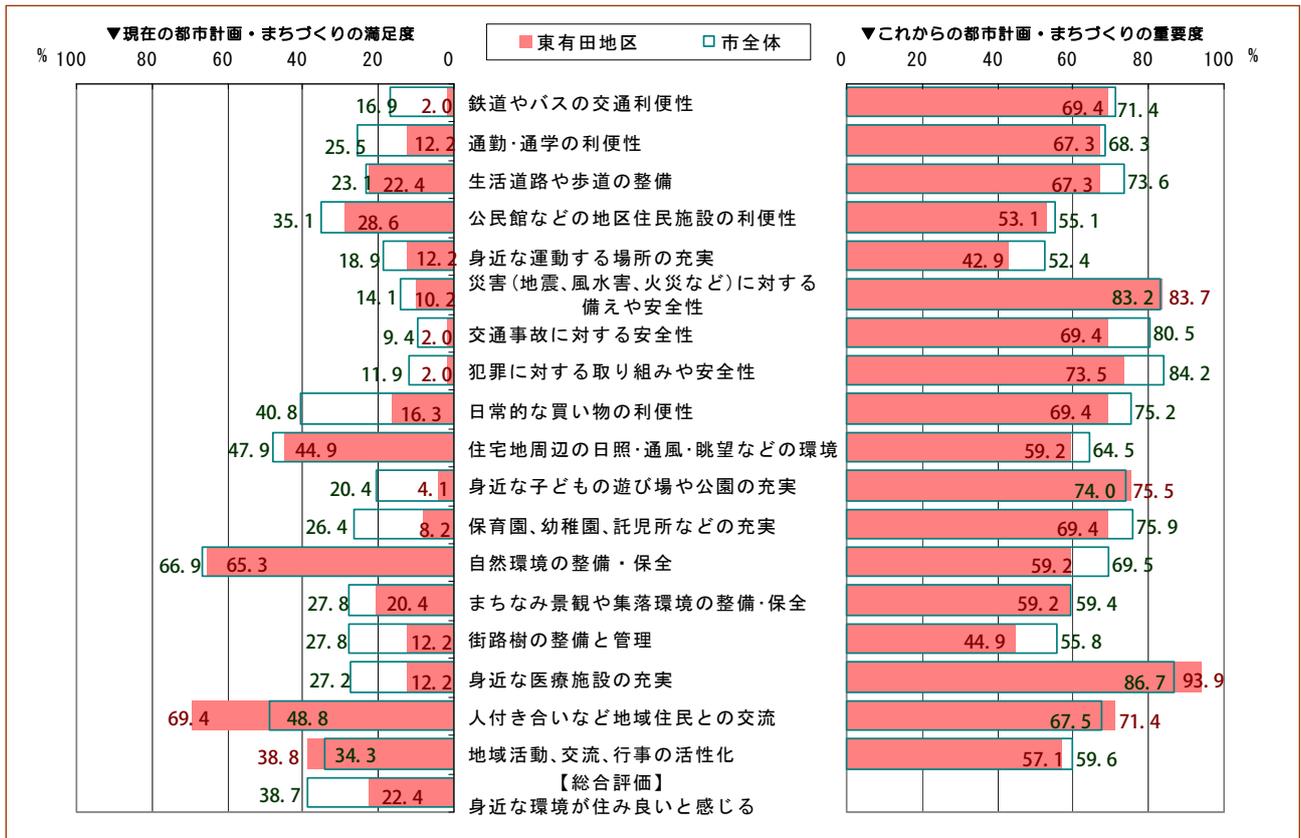
【防災】

- 豪雨等に伴う水害や土砂災害等による集落地の孤立が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認



● 市民の意向

- 通勤・通学や日用品の買い物の利便性、身近な医療施設等、日常生活に必要な基本的な項目の満足度が低くなっています。
- 比較的通行車両の多い市街地へと向かう道路等に、狭隘な区間等が見られることから交通事故や犯罪、災害に対する懸念が伺えます。
- 重要度については、全般的に市全体の平均値以下となっていますが、身近な環境の住みやすさを評価している全体的な評価が低くなっているところが特徴的です。
- 規模の大きな病院が地区に隣接していますが、身近な医療機関が求められています。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 地区東部の耶馬日田英彦山国定公園を中心とした豊かな山林緑地や整備された農用地が広がっていることから“自然環境を活かしたまちづくり”を推進します。
- 豊かな自然環境の適切な管理・保全と災害に対応した計画的な生活基盤整備等により“安全・安心なまちづくり”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地 利 用

- 地区の約8割が都市計画区域外であり、都市計画区域内も用途無指定地域であることから、適正な土地利用誘導による用途の混在防止に努めます。
- 地区の大部分を占める山林緑地や農用地の無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制に努めます。

農用地の広がり



● 交 通 体 系

- 広域的な交流の促進や医療・防災等において、重要な役割を果たす幹線道路の整備や維持・管理により、地区内外の連携を促進します。
- 地区内における道路機能の維持や向上により、幹線道路との効果的な連携に努めます。
- 福祉バス等の公共交通機関の機能の維持に努めます。

● 公 園 緑 地

- 耶馬日田英彦山国定公園の指定地域では、山林緑地等の自然環境の保全に努めます。
- 既存公園は、憩いや活動の場としての活用促進を図るとともに、適正な維持・管理に努めます。

ウッド平島公園



● 都 市 施 設

- 上水道等の水道供給施設の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫する恐れのある河川や水路等の計画的な改修を促進します。

● 景 観

- 有田川周辺の農用地や集落地等と背景となる山なみが一体となった里山景観の保全に努めます。

里山景観の保全



● 防 災

- 花月川や有田川等の増水や氾濫に対する治水環境整備の推進や災害危険箇所等の情報収集等による災害防止対策を推進します。
- 災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

● そ の 他

- ウッドコンビナートでは、工業地としての有効な土地利用を図り、物流や連絡道路の機能も含めた産業拠点としての振興に努めます。

東有田地区の方針図



【土地利用】

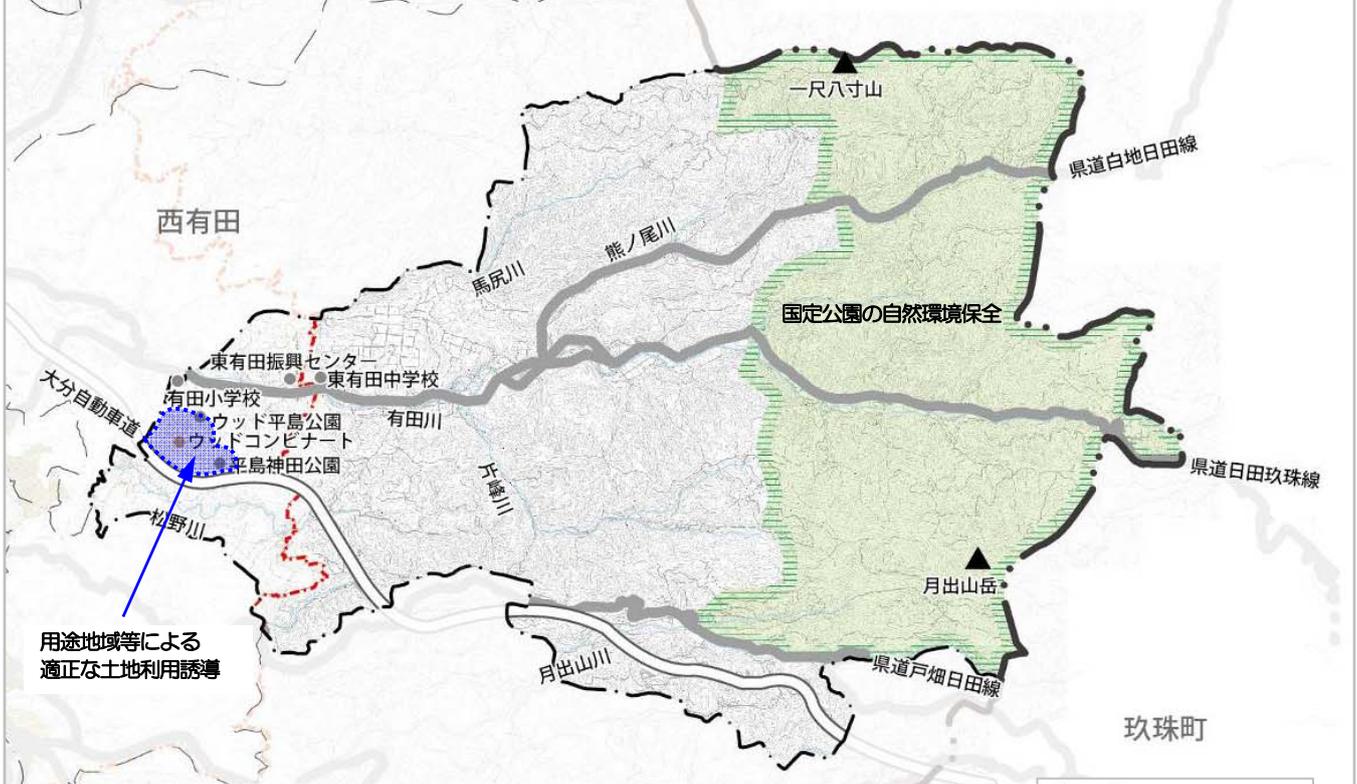
- 都市計画区域内の適正な土地利用の誘導
- 地区の大部分を占める山林農地の無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制

【交通体系】

- 重要な役割を果たす幹線道路の整備と維持・管理と地区内外の連携の促進
- 地区内道路の機能の維持・向上による幹線道路との効果的な連携
- 福祉バス等の公共交通の機能の維持

【公園緑地】

- 国定公園や山林緑地における自然環境の保全
- 既存公園の機能の維持及び適正な管理



【都市施設】

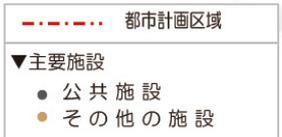
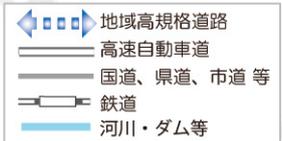
- 上水道等の水道供給施設の適切な維持・管理及び計画的な更新
- 合併処理浄化槽の設置を推進
- 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修の推進

【景観】

- 有田川等周辺の農用地や集落地の背景となる自然景観の保全

【防災】

- 有田川等の水害に対する治水環境整備の促進や災害危険箇所の情報収集等による災害防止対策の推進
- 災害発生時の避難経路の確保や集落地の孤立、二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認



⑬ 小野地区

(1) 地区の概況

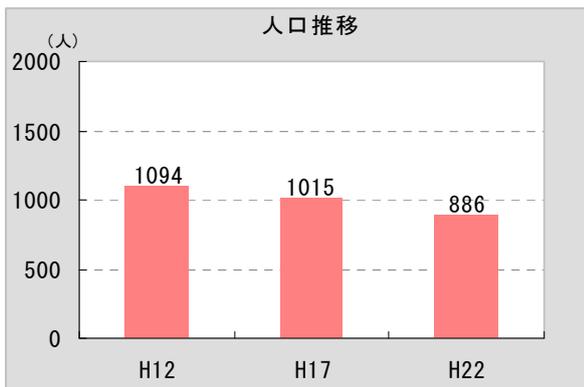
● 位置・地勢

- 市の最北端に位置し、北側を福岡県、東側が中津市に隣接しています。
- 北部の山間には、作陶の伝統を300年以上に渡って受け継いできた「小鹿田焼の里」があり、窯業や農業といった生業に基づく集落地を形成しています。
- 地区北部の一部が耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けており、小野川と幹線道路が並行している周辺には田園地帯が形成されています。

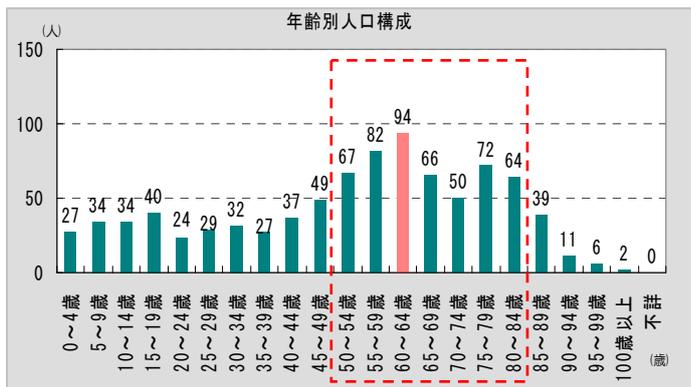


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示し、平成12年と比較して約210人減少しています。
- 50歳代から80歳代が比較的多く、若年層が少ない人口構成となっています。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 地区南部の一部が都市計画区域に指定されていますが、用途地域は指定されていない用途無指定地域となっています。
- 県道宝珠山日田線や小野川等に沿って連続した農用地、集落地、林業関係施設等が立地しています。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として、地区を縦断する県道宝珠山日田線が配置されています。
- 山間の集落地から市街地に通じる交通機能の低下や交通網の寸断が懸念されます。



県道宝珠山日田線

● 公園緑地

- 地区北部の岳滅鬼山周辺が耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。
- 清らかな河川を利用したプールや休憩所等の機能がある施設があります。



ことといの里 河川プール

● 都市施設

- 一部地域において、簡易水道や給水施設が整備されていますが、その他の地域は給水区域外となっています。
- 地区南部の一部が公共下水道処理区域になっていますが、その他の地域は合併処理浄化槽の設置による生活排水処理が中心となっています。
- 小野川等の増水により、護岸や道路、架橋等の損壊が懸念されます。

● 景観

- 「小鹿田焼の里」は、景観法に基づく景観形成重点地区に指定しており、文化庁より“重要文化的景観”の選定を受けています。
- 小野川沿いの農用地や集落地等の背景となる山々が一体となって、良好な里山景観を形成しています。
- 小鹿田焼の里に響き渡る唐臼の音や登り窯及び低層住宅が立ち並ぶ集落が特徴的です。



小鹿田焼の里 唐臼

● 防災

- 豪雨に伴う小野川等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



九州北部豪雨 県道の洗掘

● その他

- 公民館を活用した地域活動が、地区住民の交流につながっています。

小野地区の現況・課題図

【土地利用】

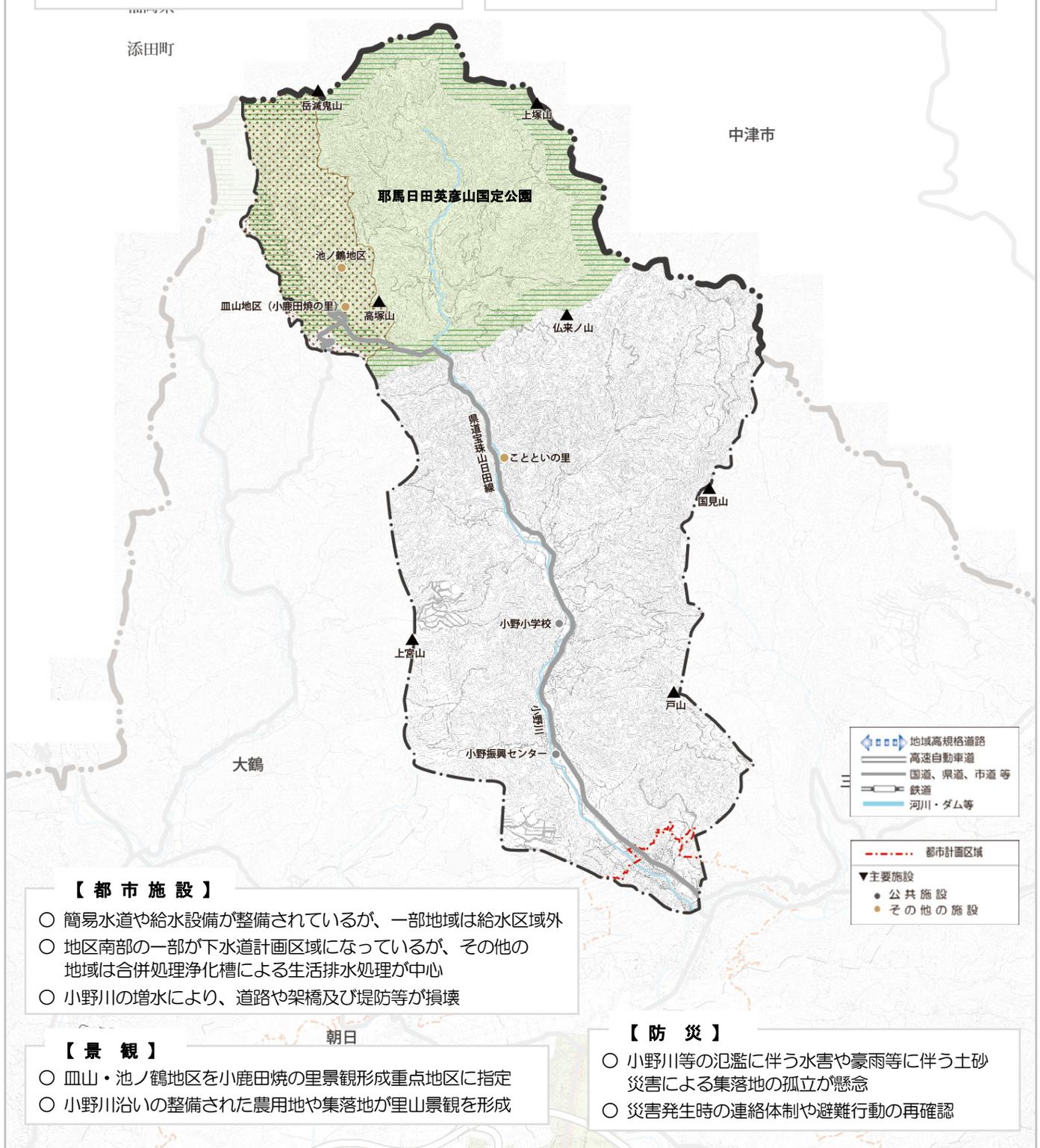
- 地区南部の一部が都市計画区域に指定されているが、用途地域は無指定
- 小野川に沿って連続した農用地、集落地、工場等が立地

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、県道宝珠山日田線が縦断
- 日常生活や通勤・通学に関わる交通機能の低下が懸念

【公園緑地】

- 地区北部の岳減鬼山周辺が耶馬日田英彦山国定公園に指定
- 身近な地区公園は少ないが、河川を利用したプール等の自然環境を活用した施設が立地



【都市施設】

- 簡易水道や給水設備が整備されているが、一部地域は給水区域外
- 地区南部の一部が下水道計画区域になっているが、その他の地域は合併処理浄化槽による生活排水処理が中心
- 小野川の増水により、道路や架橋及び堤防等が損壊

【景観】

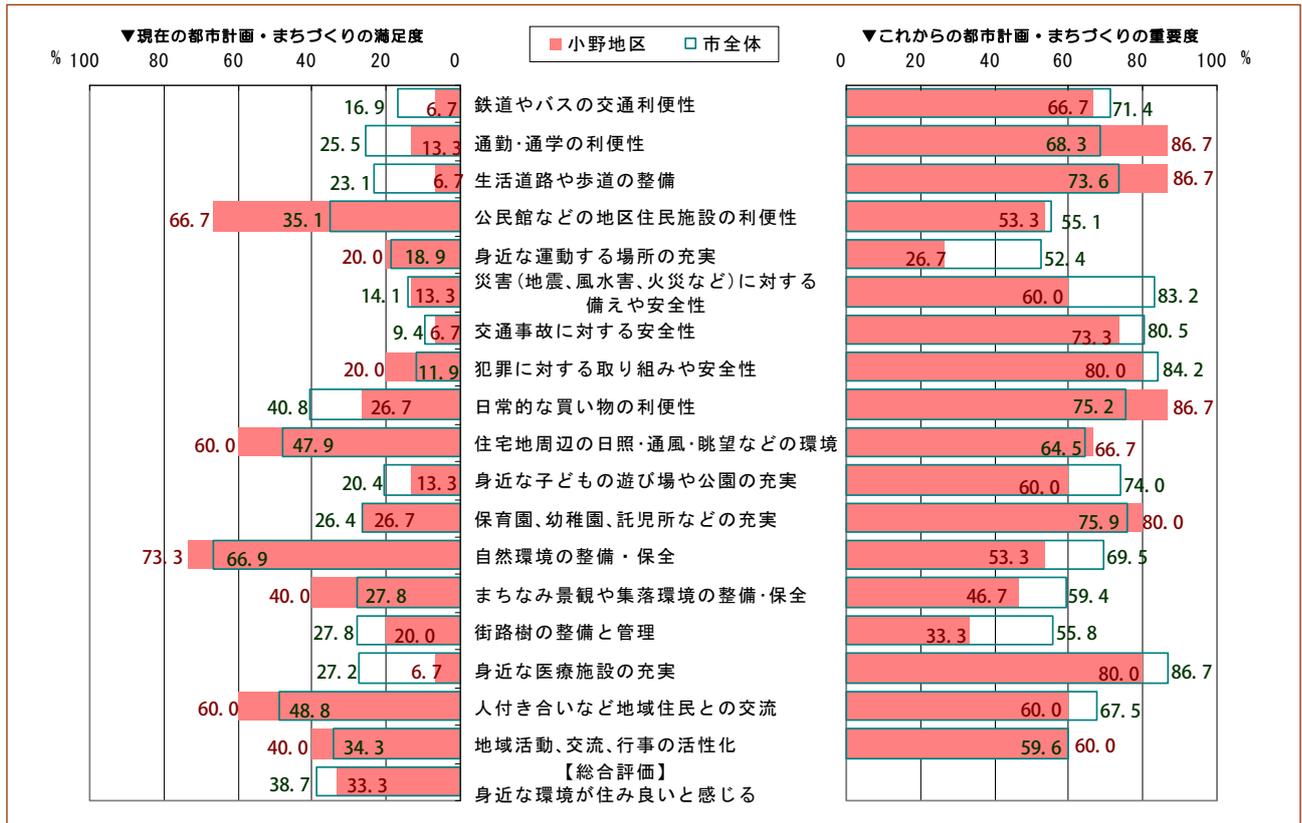
- 血山・池ノ鶴地区を小鹿田焼の里景観形成重点地区に指定
- 小野川沿いの整備された農用地や集落地が里山景観を形成

【防災】

- 小野川等の氾濫に伴う水害や豪雨等に伴う土砂災害による集落地の孤立が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認

● 市民の意向

- 幹線道路が県道宝珠山日田線のみであるため、通勤・通学や公共交通の利便性、生活道路の整備等、日常生活の移動手段に欠かすことのできない道路に関する整備や利便性について、満足度が低くなっています。
- 身近な日常生活用品や公園、医療機関等の施設が十分でないことが伺えます。
- 中心市街地までのアクセス性に課題があり災害時の緊急搬送や日常生活用品の不足等の事態への対応が懸念されることから、重要度が高くなっています。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 豊かな自然環境の適切な管理・保全と災害に対応した計画的な生活基盤整備等により“**自然環境を生かした安全・安心なまちづくり**”を推進します。
- 「小鹿田焼の里」で受け継がれてきた伝統生業によって守り続けられる里山景観や静かな居住環境を維持・保全していくため、人々が交流する拠点として“**歴史・文化を守り育てるまちづくり**”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地利用

- 地区内に広がる山林緑地や農用地等の豊かな自然環境の保全と機能の維持に努めます。
- 山林緑地や農用地を適正に保全することで、無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制に努めます。

● 交通体系

- 広域的な交流の促進や医療・防災等において、重要な役割を果たす幹線道路の整備や維持・管理により、地区内外の連携を促進します。
- 地区内における道路機能の維持や向上により、幹線道路との効果的な連携に努めます。



● 公園緑地

- 耶馬日田英彦山国定公園の指定地域では山林緑地等の自然環境の保全に努めます。
- 既存公園は、憩いや活動の場としての活用促進を図るとともに、適正な維持・管理に努めます。



● 都市施設

- 簡易水道等の水道供給施設の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。

● 景観

- 「小鹿田焼の里」は、文化的景観などによる維持・保全活動を継続します。
- 小野川沿いに広がる農用地や集落地と背景の山なみが一体となった里山景観の保全に努めます。

● 防災

- 小野川等の増水や氾濫に対する治水環境整備の推進や災害危険箇所等の情報収集等による災害防止対策を推進します。
- 災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。



● その他

- 「小鹿田焼の里」は、観光・交流拠点として、の利便性やアクセス性の向上に努めます。

小野地区の方針図

【土地利用】

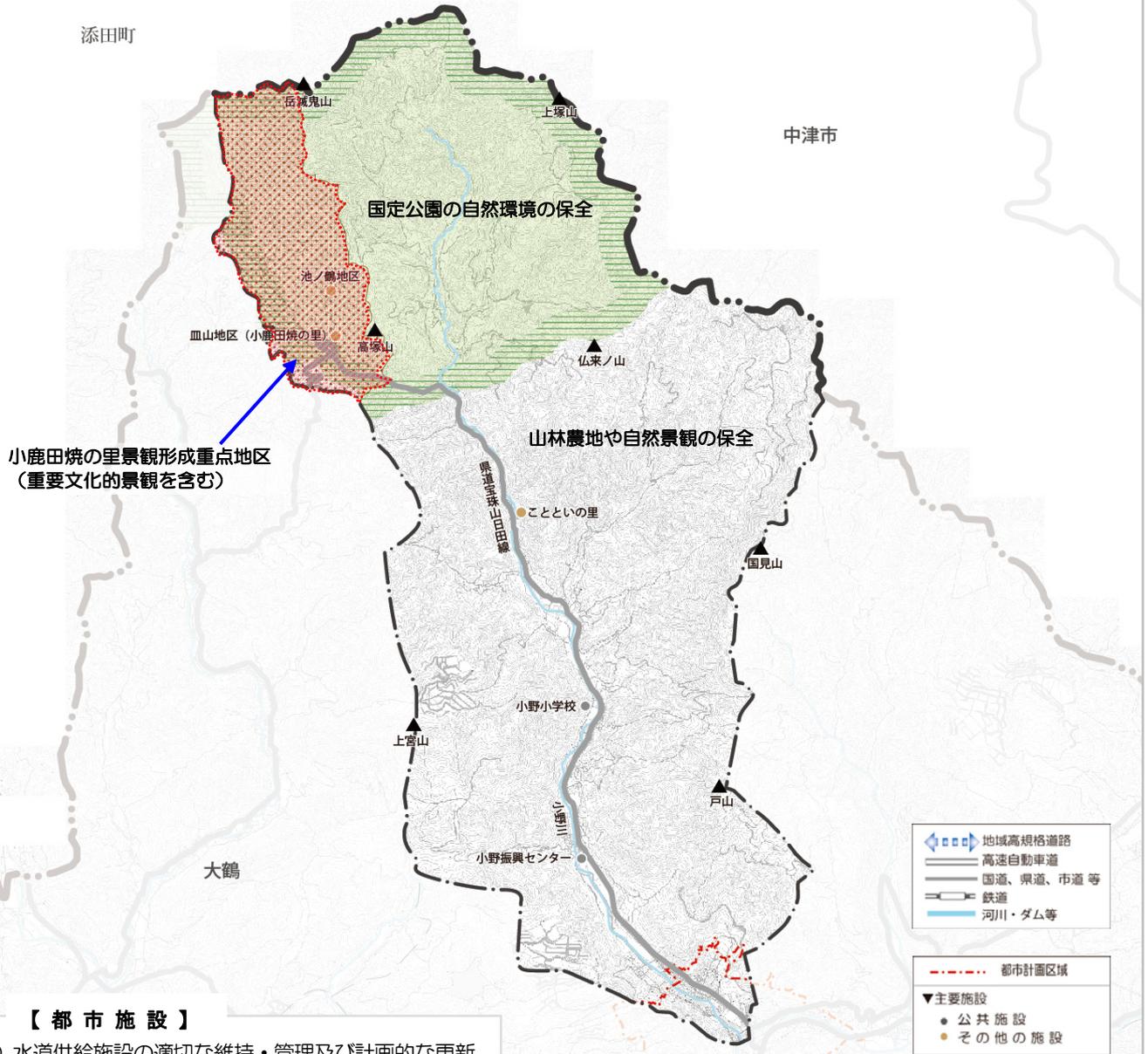
- 山林緑地や整備された農用地等の、恵まれた自然環境の保全
- 無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制による居住環境の向上

【交通体系】

- 重要な役割を果たす幹線道路の整備と維持・管理と地区内外の連携の促進
- 地区内道路の機能の維持・向上による幹線道路との効果的な連携

【公園緑地】

- 地区北部の国定公園や山林緑地における自然環境の保全
- 豊かな自然環境を活かした既存公園の適切な維持・管理



【都市施設】

- 水道供給施設の適切な維持・管理及び計画的な更新
- 合併処理浄化槽の設置の促進
- 氾濫する恐れのある河川の計画的な改修を推進

【景観】

- 小鹿田焼の里景観形成重点地区及び重要文化的景観の維持・保全活動の継続
- 小野川沿いの農用地や集落地等の里山景観の保全

【防災】

- 小野川等の水害に対する治水環境整備の促進や災害危険箇所の情報収集等による災害防止対策の推進
- 災害発生時の避難経路の確保や集落の孤立、二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

⑭ 大鶴地区

(1) 地区の概況

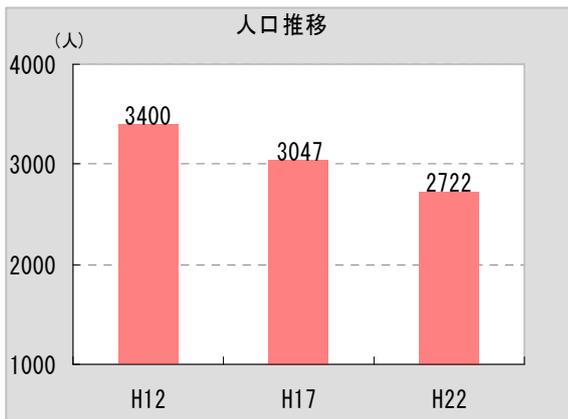
● 位置・地勢

- 市北部に位置し、福岡県と隣接する地区です。
- 耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けている区域や山林緑地、農用地等の自然環境に囲まれており、大肥川が縦断しています。
- 河川に沿って鉄道や国道211号が通過し、集落地が形成されている周辺に、整備された田園地帯が広がっています。

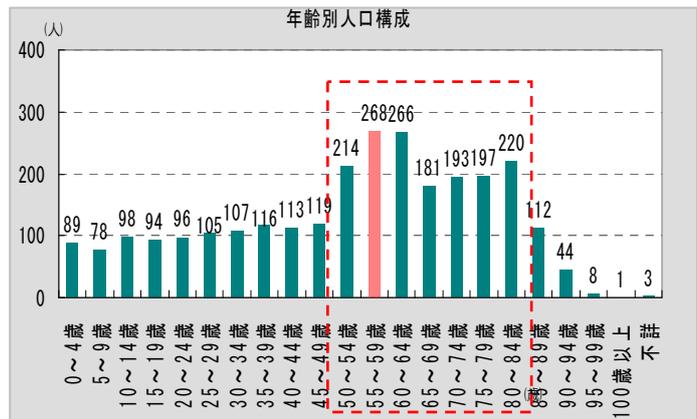


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示し、平成12年と比較して約680人減少しています。
- 50歳代から80歳代が多く、高齢化が進行した人口構成となっています。



出典：国勢調査（H12・H17・H22）



出典：国勢調査（H22）

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 幹線道路等に沿って基盤整備による農用地や棚田等が形成されており、幹線道路周辺には、公共施設等が立地しています。
- 耶馬日田英彦山国定公園や保安林等の自然環境を保全する地域があり、農業振興地域にも指定されています。
- 地域資源である豊かな水や山林緑地等を活用した工場、製材所が立地しています。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として国道211号・県道和田大鶴停車場線・県道大鶴熊取線・県道宝珠山日田線が配置されています。
- 地形的な条件から、山間の集落地から市街地に通じる交通機能の低下や交通網の寸断が懸念されます。

● 公園緑地

- 地区北部の岳滅鬼山周辺が耶馬日田英彦山 国定公園に指定されています。
- 既存公園として田ノ原公園が整備されています。



● 都市施設

- 公共の水道供給施設は整備されていません。
- 農業集落排水や合併処理浄化槽の設置による生活排水処理が中心となっています。
- 大肥川等の増水により、堤防や道路、架橋等が損傷する被害がありました。
- 大鶴振興センターや小中学校等の公共施設が立地していますが、小学校統廃合に伴う跡地利用が課題となっています。



● 景観

- 大肥川等の河川に沿って整備された農用地や棚田及び集落地が、背景となる山なみと一体なって里山景観を形成しています。

● 防災

- 豪雨に伴う河川・水路等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



● その他

- 小学校の統合や小中一貫校の設立等、社会経済状況に合わせた施策やそれに伴う整備が進められています。



大鶴地区の現況・課題図

【土地利用】

- 幹線道路の沿道に整備された農用地等が形成されており、幹線道路周辺に公共施設等が立地
- 国立公園や保安林等が広がり、農用地の保全を目的とした農業振興地域の指定あり
- 地域資源を活用した工場や製材所等が点在

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、国道1路線と県道3路線が配置
- 山間の集落地や市街地に通じる交通機能の低下や交通網の寸断が懸念

【公園緑地】

- 地区北部が耶馬日田英彦山国立公園に指定
- 既存公園として、田ノ原公園があり



福岡県
東峰村

小野

朝日

西有田

【都市施設】

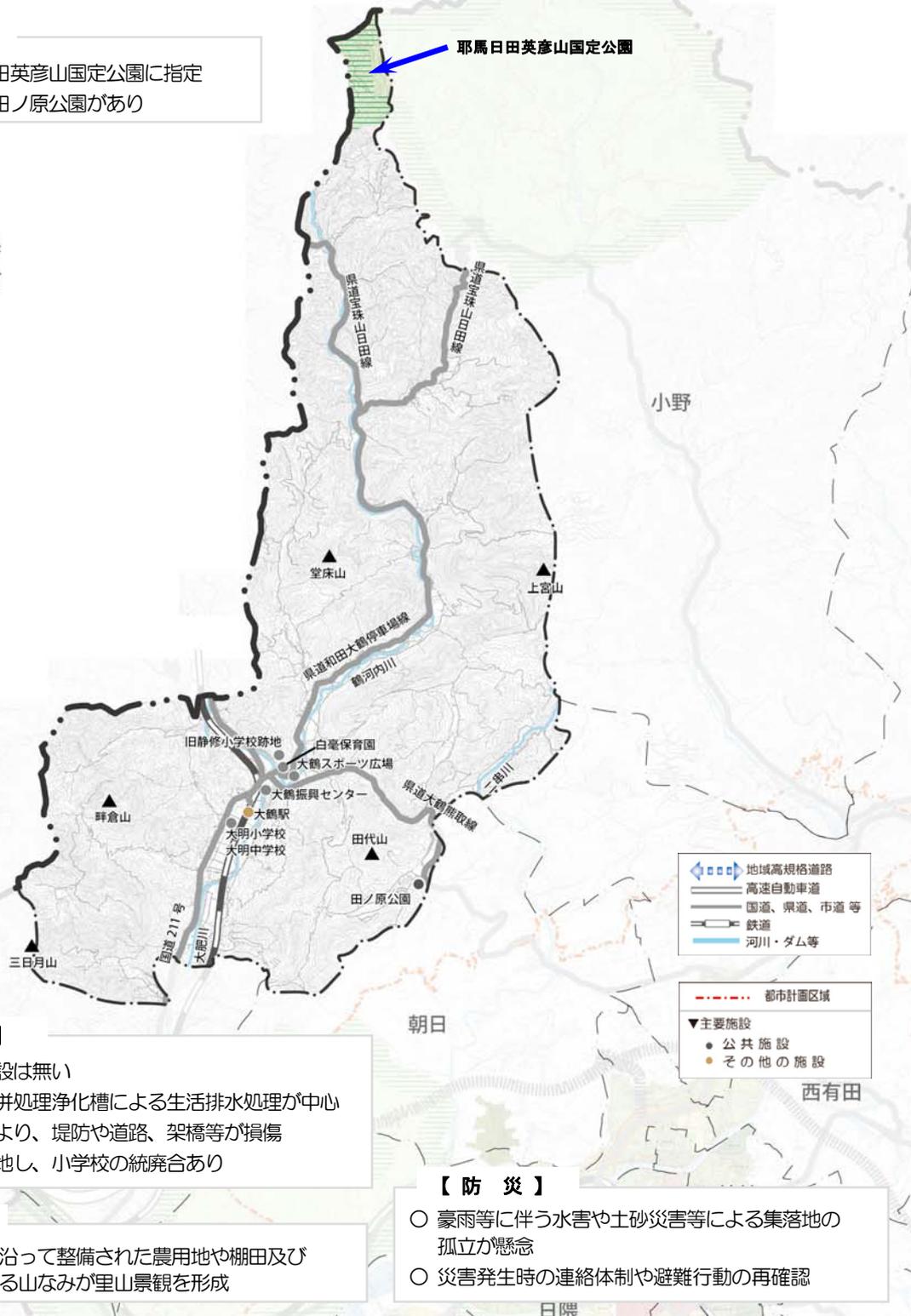
- 公共の水道供給施設は無い
- 農業集落排水や合併処理浄化槽による生活排水処理が中心
- 大肥川等の増水により、堤防や道路、架橋等が損傷
- 振興センターが立地し、小学校の統廃合あり

【景観】

- 大肥川等の河川に沿って整備された農用地や棚田及び集落地の背景となる山なみが里山景観を形成

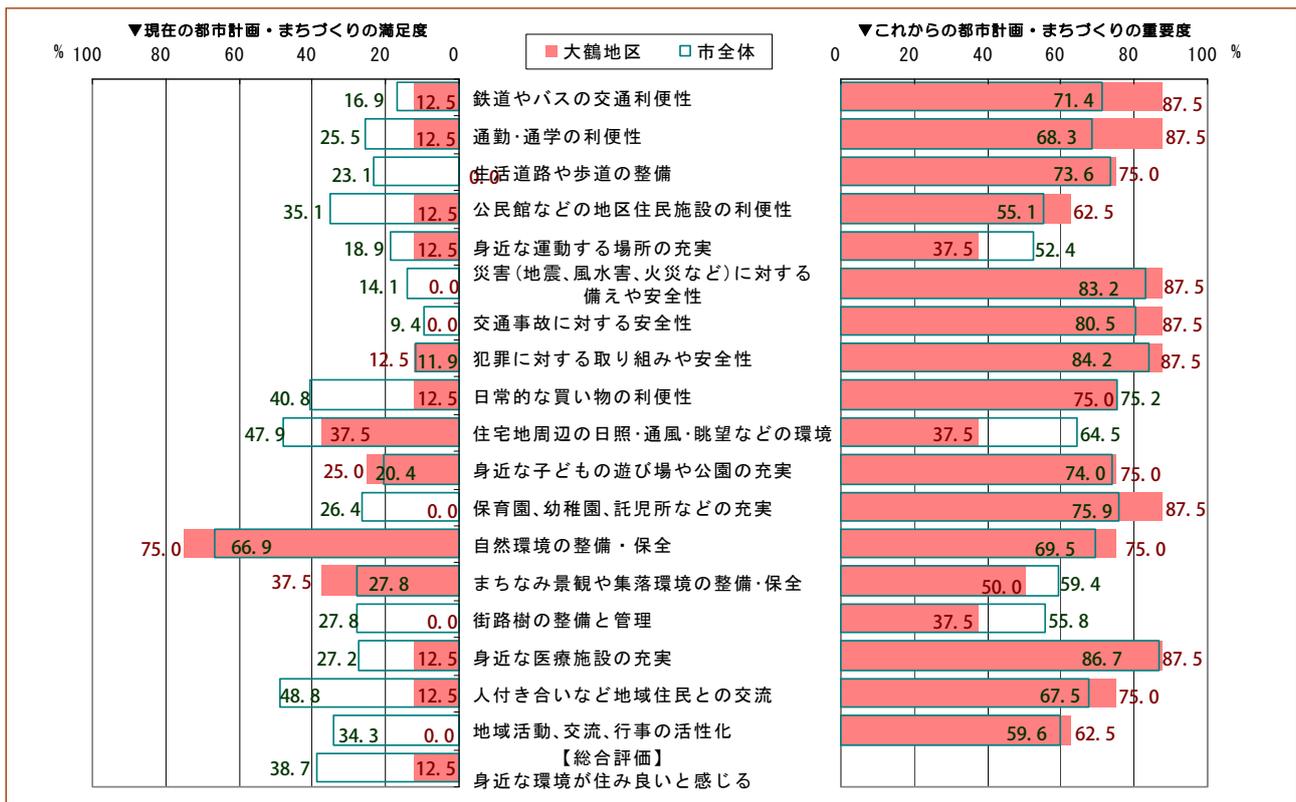
【防災】

- 豪雨等に伴う水害や土砂災害等による集落地の孤立が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認



● 市民の意向

- 通勤・通学や日用品の買い物の利便性、身近な医療施設等、日常生活の中で欠かすことのできない基本的な項目の低さが総合評価に現れています。
- 通勤・通学するために必要な道路や公共交通の選択肢の少なさや不便さから利便性に対する重要度が高くなっています。
- 教育・医療施設、行政機関等の一定の機能を有していますが、道路や災害防止等の基盤整備の評価の低さが、全般的な評価に繋がっていることが推測できます。
- 地区内に公民館が2ヶ所ありますが、南北に広がっていることから、利便性が低く感じられていることが伺えます。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 国道211号と並行する大肥川周辺に棚田や集落地が点在し、緑豊かな地区で、隣接県からの玄関口となることから“自然環境を生かしたまちづくり”を推進します。
- 地域の利便性・安全性の向上を図るため、生活基盤等の整備や維持・管理による“安全・安心なまちづくり”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地利用

- 多様な機能を有する1,000m級の岳滅鬼山や周辺の山々の豊かな自然環境の保全と適正な管理による機能維持に努めます。
- 山林緑地や農用地を適正に保全することで、無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制に努めます。
- 工場や製材所等が点在していることから、用途の混在防止のための適正な土地利用誘導による居住環境の向上に努めます。

● 交通体系

- 広域的な交流の促進や医療・防災等において、重要な役割を果たす幹線道路の整備や維持・管理により、地区内外の連携を促進します。
- 地区内における道路機能の維持や向上により、幹線道路との効果的な連携に努めます。
- 福祉バス等の公共交通機関の機能の維持に努めます。



● 公園緑地

- 耶馬日田英彦山国定公園の指定地域では、山林緑地等の自然環境の保全に努めます。
- 既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。

● 都市施設

- 水道供給施設の整備に努めます。
- 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。
- 地区内にある既存公共施設の機能維持と統廃合している小学校の跡地利用を推進します。

● 景観

- 河川周辺の整備された農用地や棚田及び集落地等の背景となる山なみが一体となった里山景観の保全に努めます。

● 防災

- 水害や土砂災害等の危険箇所に関する情報収集により、災害防止対策の促進に努めます。
- 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。



● その他

- 児童福祉施設や公民館等、地域住民が利用する施設は、関係機関や地元住民等との調整を図りながら、既存施設の活用方法や整備の必要性について検討します。

大鶴地区の方針図



【土地利用】

- 多様な機能を有する豊かな自然景観の保全と適正な管理による機能の維持
- 山林緑地や農用地の保全による無秩序な土地利用や森林伐採等の抑制を促進
- 工場等の混在防止等の適正な土地利用による居住環境の向上

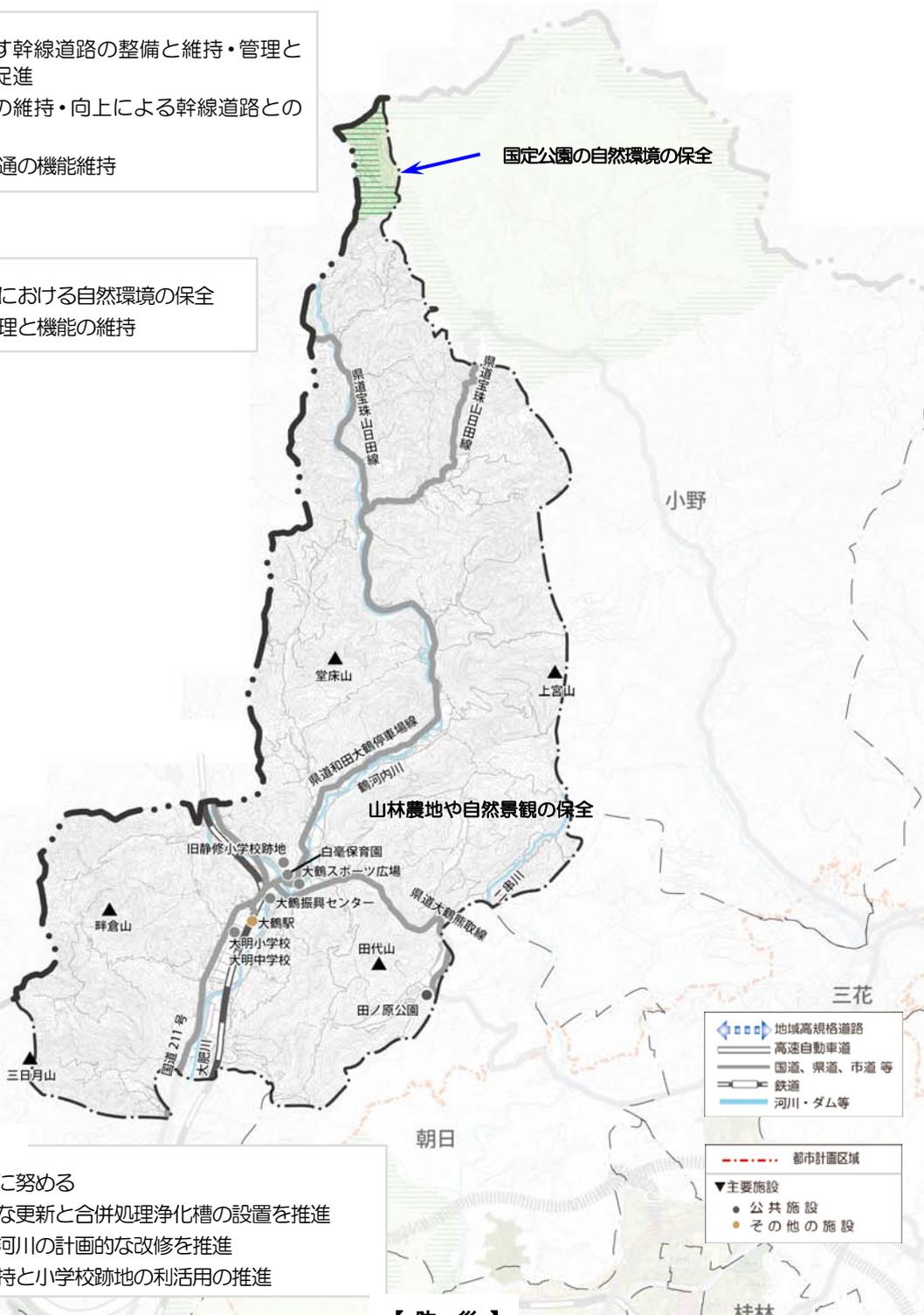
【交通体系】

- 重要な役割を果たす幹線道路の整備と維持・管理と地区内外の連携の促進
- 地区内道路の機能の維持・向上による幹線道路との効果的な連携
- 福祉バス等の公共交通の機能維持

【公園緑地】

- 国定公園や山林緑地における自然環境の保全
- 既存公園の適正な管理と機能の維持

東峰村



【都市施設】

- 水道供給施設の整備に努める
- 下水道施設の計画的な更新と合併処理浄化槽の設置を推進
- 氾濫する恐れのある河川の計画的な改修を推進
- 公共施設の機能の維持と小学校跡地の利活用の推進

【景観】

- 河川周辺の整備された農用地や棚田及び集落地等の背景となる山なみが一体となった景観の保全

【防災】

- 災害危険箇所の情報収集等による災害防止対策の促進
- 災害発生時の避難経路の確保や集落の孤立、二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

⑮ 夜明地区

(1) 地区の概況

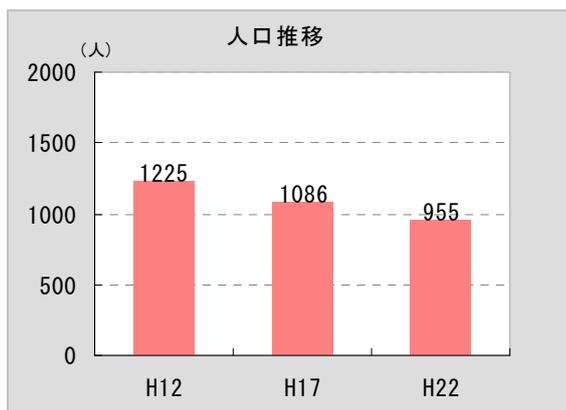
● 位置・地勢

- 市北部に位置し、福岡県と隣接する地区です。
- 山林緑地や農用地等の自然環境に恵まれ、筑後川と大肥川が合流し、日田市の特産品である梨等の果樹園が広がっています。
- 筑後川や大肥川沿いの一部が耶馬日田英彦山国定公園の指定を受けています。

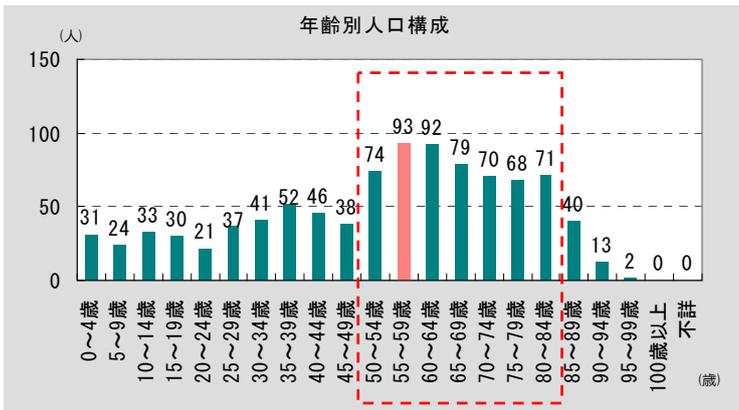


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示し、平成12年と比較して約270人減少しています。
- 50歳代から80歳代前半の人口多く、高齢化の進行が見受けられます。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 国道211号やJR日田彦山線沿線に集落地や大規模な農用地が形成されており、地区南部の山の斜面に果樹園等が広がっています。
- 地域資源である豊かな水を活用した工場等や古くから操業している製材所等の工業施設等が点在しています。
- 農用地の保全のため、農業振興地域の指定があります。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として、国道211号・国道386号が配置されており、JR久大本線とJR日田彦山線の分岐点となっています。
- 地形的な条件から、山間の集落地から市街地に通じる交通機能の低下や交通網の寸断が懸念されます。



● 公園緑地

- 地区南部の筑後川沿いやJR日田彦山線沿いの山林緑地が耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。

● 都市施設

- 一部地域において、簡易水道が整備されていますが、その他の地域は給水区域外となっています。
- 農業集落排水や合併処理浄化槽の設置による生活排水処理が中心となっています。
- 大肥川等の増水により、護岸や道路の損壊、家屋の浸水被害が懸念されます。
- 夜明振興センター等の公共施設が立地していますが、小学校の統廃合に伴う跡地利用が課題となっています。



● 景観

- 国道211号沿道では、並行する大肥川に沿って形成された集落地や農用地等の背景となる山なみ景観が一体となって里山景観を形成しています。



● 防災

- 豪雨に伴う河川・水路等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- 夜明ダムの上流では、筑後川が穏やかな水流を保っており、河川水面の有効な活用によるスポーツ振興が図られています。



夜明地区の現況・課題図

【土地利用】

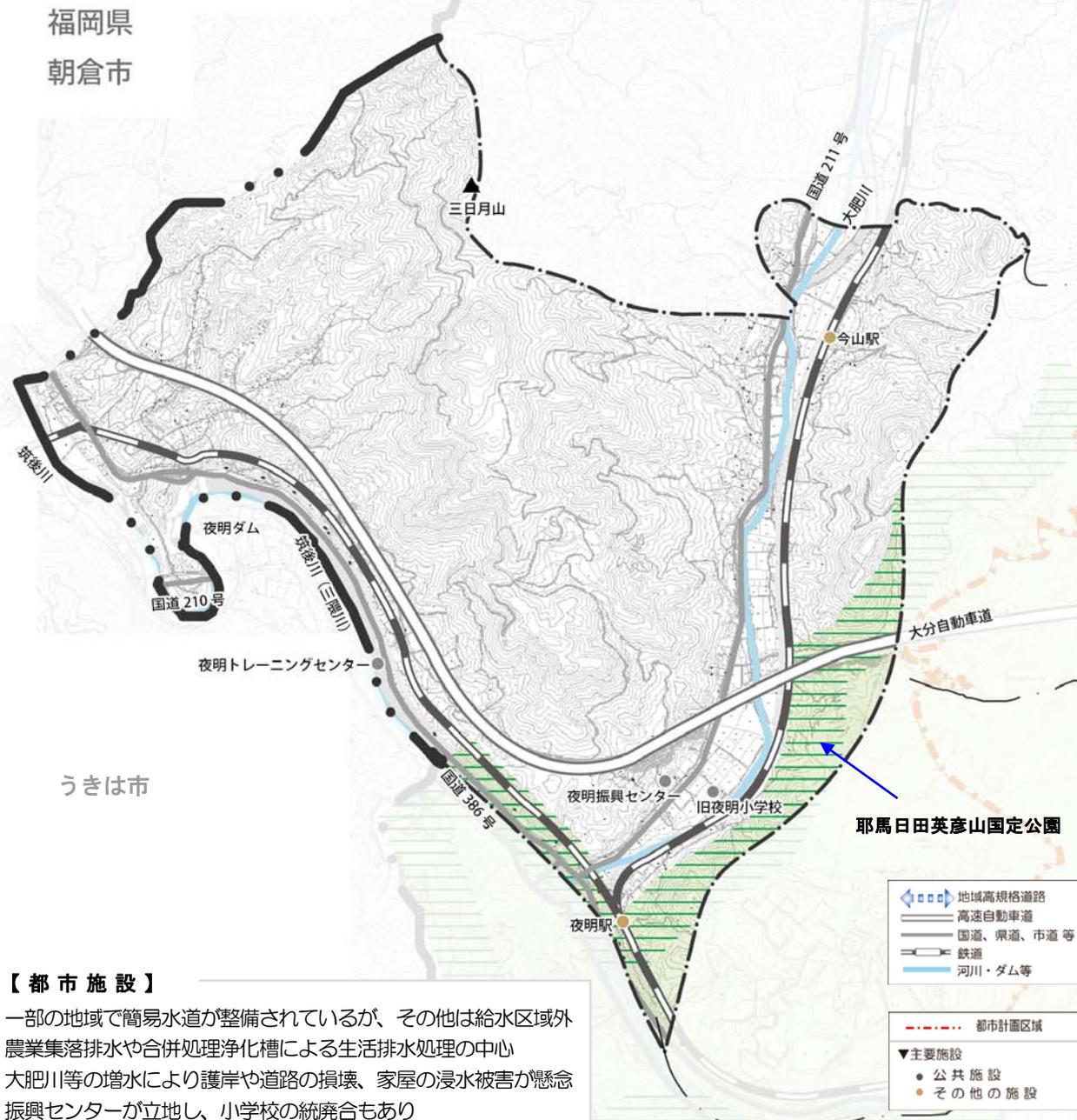
- 幹線道路の沿道に整備された農用地や集落地が点在し、地区南西部には果樹園が広がる
- 豊かな自然環境を活かした農産物や製材所等の工場等が点在
- 農用地の保全を目的とした農業振興地域の指定あり

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、国道2路線と鉄道2路線と2ヶ所の駅を配置
- 山間の集落地や市街地に通じる交通機能の低下や交通網の寸断が懸念

【公園緑地】

- 地区南西部が耶馬日田英彦山国定公園に指定



【都市施設】

- 一部の地域で簡易水道が整備されているが、その他は給水区域外
- 農業集落排水や合併処理浄化槽による生活排水処理の中心
- 大肥川等の増水により護岸や道路の損壊、家屋の浸水被害が懸念
- 振興センターが立地し、小学校の統廃合もあり

【景観】

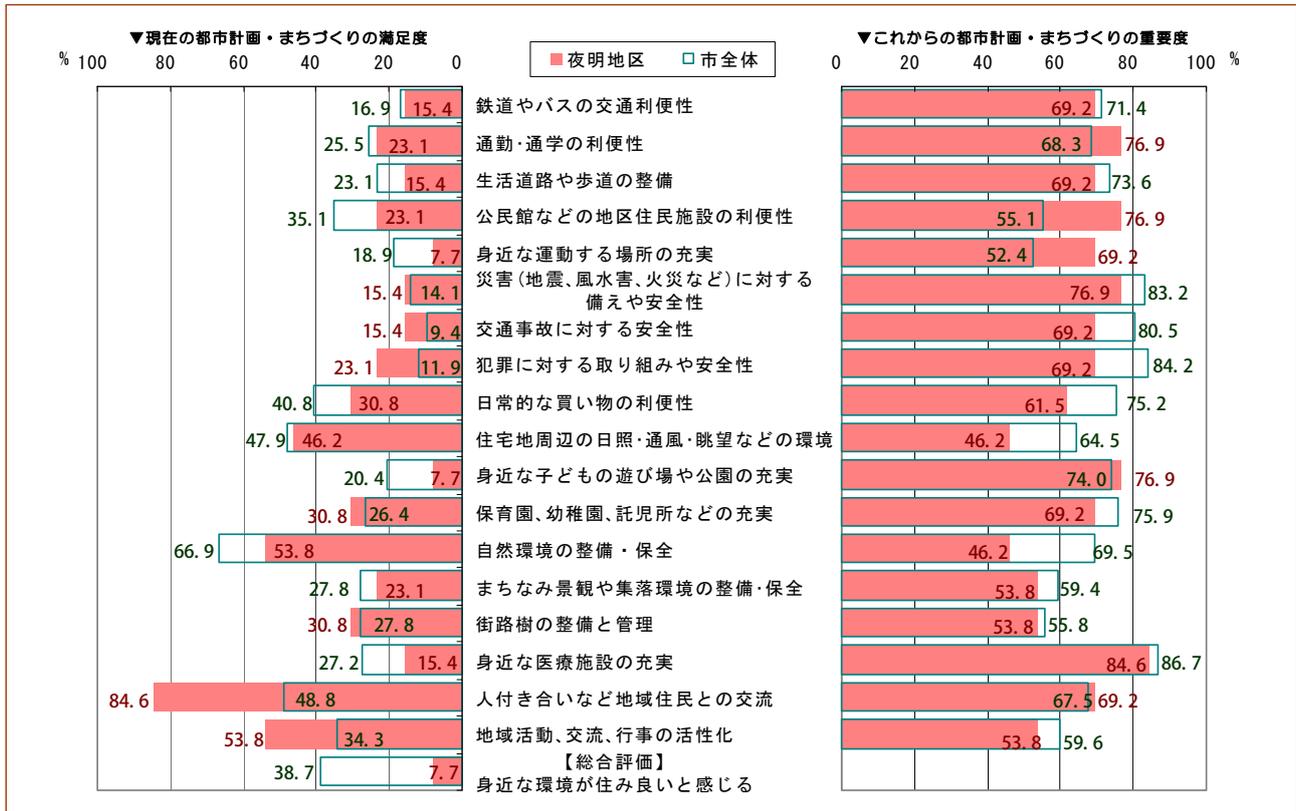
- 筑後川周辺や大肥川に沿って整備された農用地や棚田及び集落地などの背景となる山なみが自然景観を形成

【防災】

- 豪雨等に伴う水害や土砂災害等による集落地の孤立が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認

● 市民の意向

- 人口減少傾向にある中、地域住民との交流や地域活動等の活性化については、満足度が高くなっていますが、公民館等の施設の利便性に対する評価が低くなっています。
- 身近な日常生活用品の買い物や公園施設、医療施設に対する満足度が低いことから、施設整備が不足していることが伺えます。
- 2方面から鉄道が進入し、分岐点を有していますが、通勤・通学の利便性に対する重要度が高くなっています。
- 地域住民が活用する公民館等の施設や身近な運動公園等の施設等の公共施設の充実が求められていることが、重要度の高さに現れています。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 国道211号や国道386号等の幹線道路や河川周辺に田園や集落地が点在した自然豊かな地区で、隣接県からの玄関口となる地区であることから“**自然環境を活かした特色あるまちづくり**”を推進します。
- 国道や鉄道の分岐点となることから、市街地へのアクセス性を活かした、“**居住環境の良いまちづくり**”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土 地 利 用

- 地区に広がる豊かな自然環境の保全と適正な管理による機能維持に努めます。
- 地区の大部分を占める山林緑地や農用地等の適切な維持・管理による機能の維持及び無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制に努めます。
- 集落地周辺の基盤整備等の充実による居住環境の向上に努めます。

● 交 通 体 系

- 広域的な交流の促進や医療・防災等において重要な役割を果たす幹線道路の整備や維持・管理により、地区内外の連携を促進します。
- 地区内における道路機能の維持や向上により、幹線道路との効果的な連携に努めます。
- 福祉バス等の公共交通機関の機能の維持に努めま努めます。



● 公 園 緑 地

- 耶馬日田英彦山国定公園の指定地域では、山林緑地等の自然環境の保全に努めます。



● 都 市 施 設

- 簡易水道の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。
- 地区内にある既存公共施設の機能の維持と統廃合している小学校の跡地利用を推進します。



● 景 観

- 山間の筑後川や大肥川周辺の農用地や集落地等の背景となる里山景観の保全に努めます。

● 防 災

- 水害や土砂災害等の危険箇所に関する情報収集により、災害防止対策の促進に努めます。
- 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

● そ の 他

- 河川の水量調整や発電等の多機能なダム[※]の維持・管理を推進し、河川水面の有効な活用を推進しながら、河川周辺の環境整備にも努めます。

夜明地区の方針図

【土地利用】

- 豊かな自然景観の保全と適正な管理による機能維持
- 地区の大部分を占める山林緑地や農用地の無秩序な土地利用や森林伐採等の抑制
- 適正な土地利用による居住環境の向上

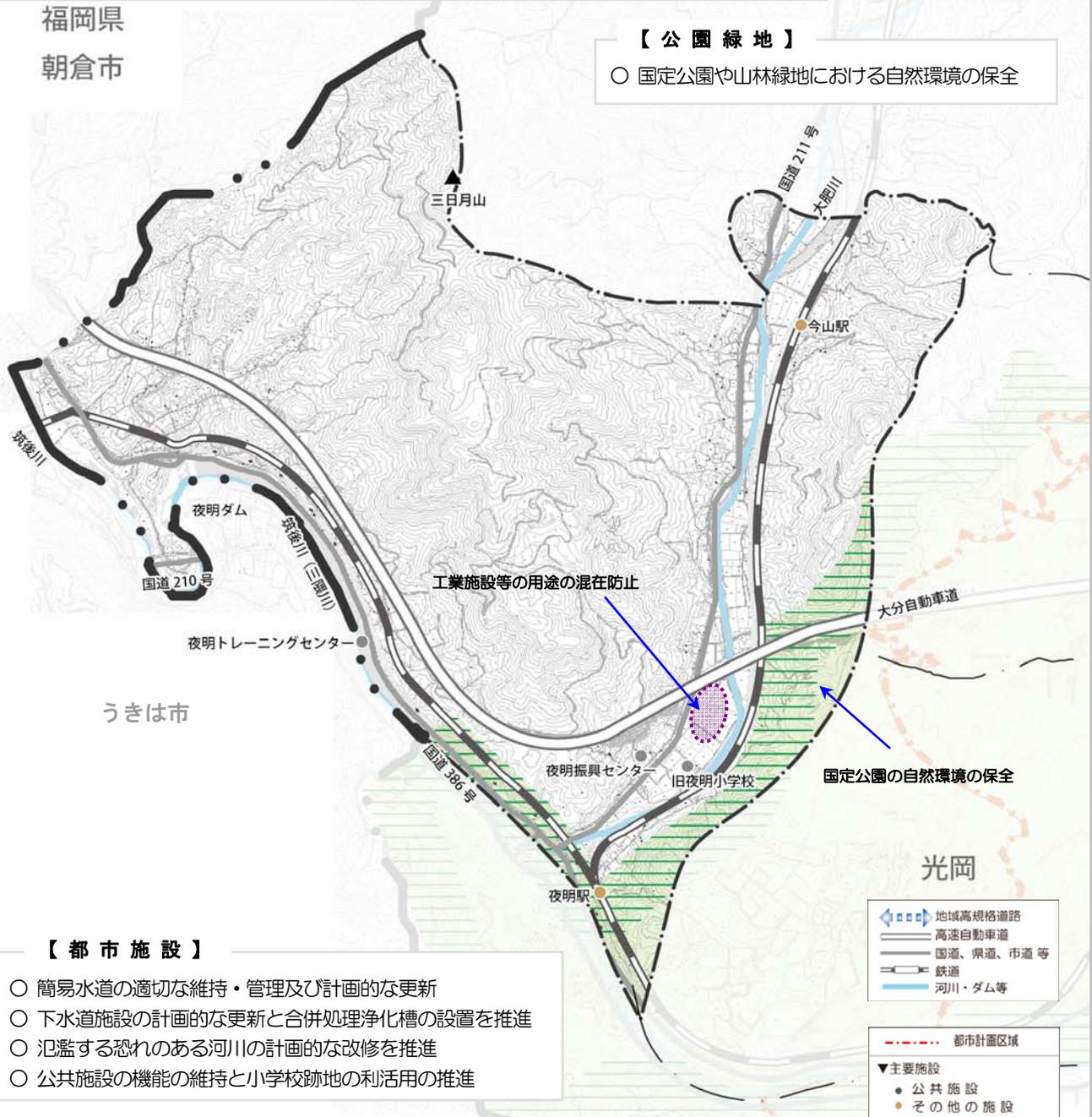
【交通体系】

- 重要な役割を果たす幹線道路の整備と維持・管理と地区内外の連携の促進
- 地区内道路の機能の維持・向上による幹線道路との効果的な連携
- 福祉バス等の公共交通の機能維持

福岡県
朝倉市

【公園緑地】

- 国立公園や山林緑地における自然環境の保全



【都市施設】

- 簡易水道の適切な維持・管理及び計画的な更新
- 下水道施設の計画的な更新と合併処理浄化槽の設置を推進
- 氾濫する恐れのある河川の計画的な改修を推進
- 公共施設の機能の維持と小学校跡地の利活用の推進

【防災】

- 災害危険箇所の情報収集等による災害防止対策の促進
- 災害発生時の避難経路の確保や集落の孤立、二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

【景観】

- 山間の筑後川や大肥川周辺の農用地、集落地の背景となる自然景観の保全

⑩ 前津江地区

(1) 地区の概況

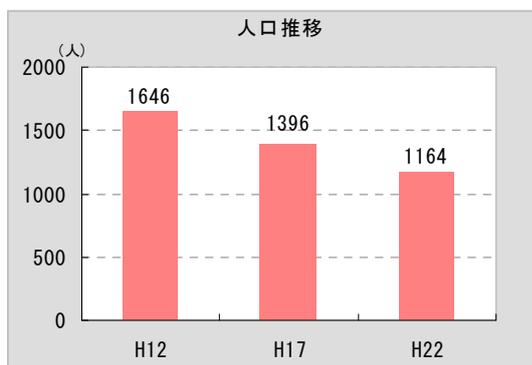
● 位置・地勢

- 市の西部に位置し、福岡県に隣接する地区です。
- 地区の約9割が標高500m以上に位置しており、津江山系の山々やシオジ原生林等、特有の自然環境を有しています。
- 豊かな自然環境が豊かな水を育み、筑後川流域や福岡都市圏の水源の一部となっています。
- 年間を通じて降水量が多く、椿ヶ鼻地区では、地域における一日の最大降雨量を記録することもあります。

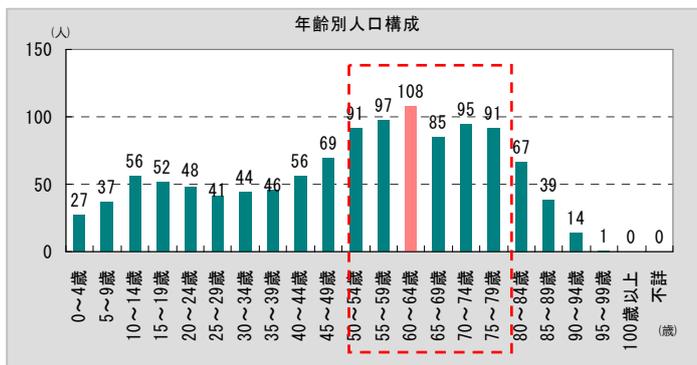


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示しており、平成12年と比較して約480人減少し、1,164人となっています。
- 60歳～64歳代を中心に50歳代から70歳代までの人口の割合が多くなっていることから、高齢化が進行しています。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 地区の約9割以上が山林緑地で占められおり、農用地も点在しています。
- 県道日田鹿本線や市道坂合線等の道路沿いに集落地や農用地等が点在しており、一定の地域コミュニティが形成されています。
- 自然公園や保安林等、自然環境を保護するための規制等により、無秩序な土地利用や宅地化は見られません。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として県道日田鹿本線・県道小畑日田線・県道前津江星野線・県道西大山大野日田線・県道朝田日田線が配置されています。
- 地形的に急峻な山林地帯であるため、土砂災害等による交通網寸断が懸念されます。

● 公園緑地

- 市民が活用する身近な公園が少ない状況にあります。
- 地区の約6割が、津江山系県立自然公園の指定を受けています。



● 都市施設

- 一部地域において、簡易水道が整備されていますが、その他の地域は給水区域外となっています。
- 地形的な条件から合併処理浄化槽の設置による生活排水処理が中心となっています。
- 赤石川や高瀬川等の増水により、護岸や道路の損壊、家屋の浸水被害が懸念されます。
- 前津江振興局や社会福祉施設等の公共施設が立地していますが、小学校の統廃合に伴う跡地利用が課題となっています。

● 景観

- 豊かな山林の自然景観が広がり、筑後川の源流である河川と地域間とをつなぐ道路が並行していることから、特徴的な沿道景観を形成しています。
- シオジ原生林等の貴重な自然景観が残されています。

● 防災

- 豪雨に伴う河川・水路等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



● その他

- 「椿ヶ鼻ハイランドパーク」は、キャンプ場や遊具を備え、レクリエーションやスポーツ振興に加え、地区内外の交流施設として活用されています。



前津江地区の現況・課題図

【土地利用】

- 地区の約9割以上が山林で占められており、農用地が約1割程度
- 幹線道路となる県道等の沿道に集落地が点在し、地域コミュニティを形成
- 地区内に無秩序な土地利用や土地開発等の進行は見られない

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、県道5路線が配置
- 急峻な地形により、土砂災害等による交通網の寸断が懸念

【公園緑地】

- 地元住民が活用する身近な公園が少ない
- 津江山系県立自然公園の指定区域あり

うきは市



【都市施設】

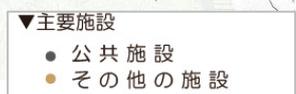
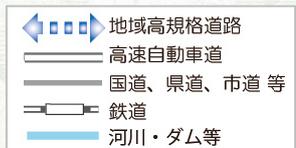
- 簡易水道が整備されているが、給水区域外がある
- 合併処理浄化槽が生活排水処理の中心
- 赤石川や高瀬川等の増水により、護岸や道路等の崩壊が懸念
- 福祉保健施設等が立地し、小学校の統廃合もあり

【景観】

- 筑後川の源流となる河川と並行する幹線道路の特徴的な沿道景観
- シオジ原生林等の貴重な自然景観

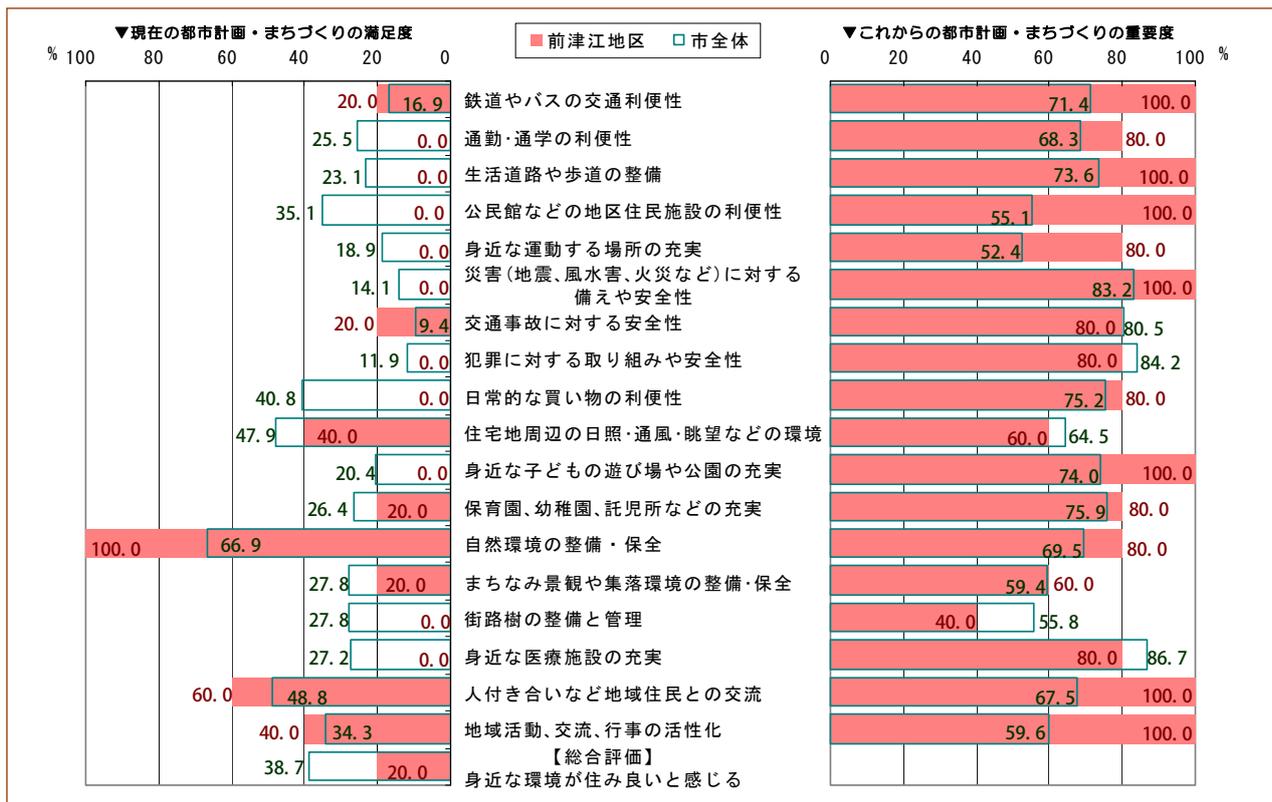
【防災】

- 豪雨等に伴う水害や土砂災害等による集落地の孤立が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認



● 市民の意向

- 通勤・通学や日用品の買い物、生活道路や歩道の整備等、日常生活に必要な機能や医療体制、犯罪に対する取り組み等、安全・安心について満足度が低くなっています。
- 人口減少に伴い、地域住民のコミュニティ形成や地域活動・地域交流の活性化等に対する重要度が高くなっています。
- 標高が500m以上にある等の地形的な特性により、移動手段として自家用車や公共交通が中心となることから、道路の整備やバス等の公共交通の利便性向上に対する重要度が高いことが特徴的です。
- 運動や子供の遊び場として、身近に活用できる公園の充実も求められています。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 急峻な山林緑地やシオジ原生林等の豊かな自然環境を守り・育て、筑後川の水源地域として“**自然特性を活かしたまちづくり**”を推進します。
- 計画的な生活基盤整備等により“**地域の主要な産業の振興**”及び“**日常生活の利便性・安全性の向上を目指したまちづくり**”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地利用

- 多様な機能を有する釈迦岳やシオジ原生林等の豊かな自然環境の保全と適正な管理等による機能の維持に努めます。
- 集落地や各種集客施設等が立地している地域周辺の基盤整備及び機能維持により、居住環境の向上に努めます。
- 地区の大部分を占める山林緑地や農用地等の適切な維持・管理による機能の維持及び無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制に努めます。

● 交通体系

- 広域的な交流の促進や医療・防災等において重要な役割を果たす幹線道路の整備や維持・管理により、地区内外の連携を促進します。
- 地区内における道路機能の維持や向上により、幹線道路との効果的な連携に努めます。



● 公園緑地

- 既存公園は、憩いや活動の場としての活用促進を図るとともに、機能の維持・管理に努めます。
- 津江山系県立自然公園の指定地域では、山林緑地等の自然環境の保全に努めます。

● 都市施設

- 簡易水道の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。
- 地区内にある既存公共施設の機能の維持と統廃合している小学校の跡地利用を推進します。

● 景観

- 山なみや河川等の自然景観との調和に配慮した沿道景観の形成及び誘導に努めます。
- 無計画な森林伐採や無秩序な開発行為等を抑制し里山景観の保全に努めます。

● 防災

- 水害や土砂災害等の危険箇所に関する情報収集により、災害防止対策の促進に努めます。
- 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

● その他

- 「椿ヶ鼻ハイランドパーク」は、交流人口の促進等を目的とした体験型施設であるため、地域の活性化を主体として、今後も利用者のニーズにも配慮した適正な維持・管理及び更新に努めます。

前津江地区の方針図

【土地利用】

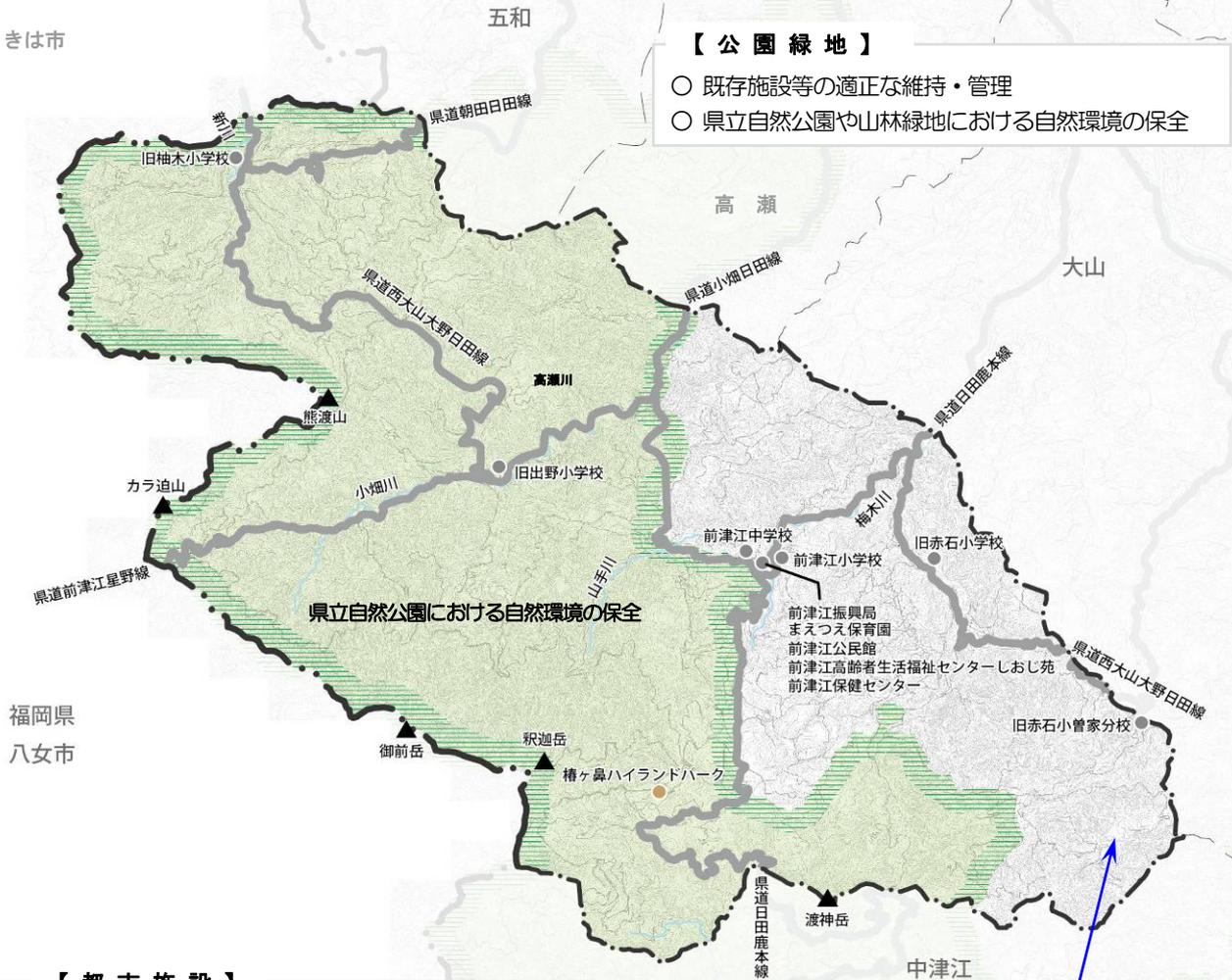
- 多様な機能を有する豊かな自然景観の保全と適正な管理による機能維持
- 集落地と各種集客施設の周辺基盤整備による居住環境や利便性の向上
- 集落地や農用地周辺における無秩序な土地利用や森林伐採等の抑制を促進

【交通体系】

- 重要な役割を果たす幹線道路の整備と維持・管理と地区内外の連携の促進
- 地区内道路の機能の維持・向上による幹線道路との効果的な連携

【公園緑地】

- 既存施設等の適正な維持・管理
- 県立自然公園や山林緑地における自然環境の保全



【都市施設】

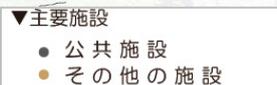
- 簡易水道の適切な維持・管理及び計画的な更新
- 合併処理浄化槽の設置を推進
- 氾濫の恐れのある河川の計画的な改修を推進
- 学校施設の跡地利用や福祉保健施設等の機能の維持

【景観】

- 山なみや河川等の自然景観との調和に配慮した沿道景観形成の推進
- 無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制による里山景観の保全

【防災】

- 災害危険箇所の情報収集等による災害防止対策の促進
- 災害発生時の避難経路の確保や集落地の孤立、二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認



⑰ 中津江地区

(1) 地区の概況

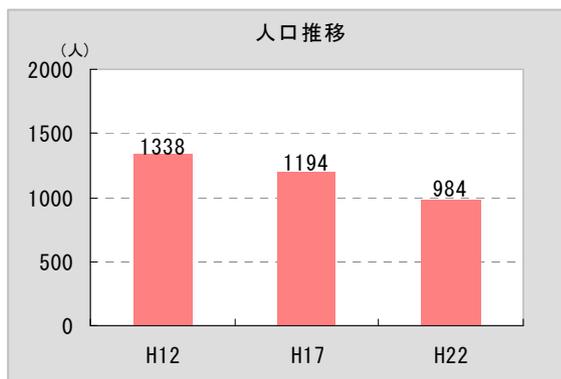
● 位置・地勢

- 市の南部に位置し、福岡県、熊本県と隣接する地区です。
- 地区の約9割が山林緑地で占められており、酒呑童子山や渡神岳等の山々に囲まれ、筑後川水系の津江川、鯛生川等の多くの清流が下笠ダムに流れ込み「蜂の巣湖」を形成しています。
- 年間を通じて降雨量が多く、急峻な山林地形となっていることから、林業が主要な産業となっています。

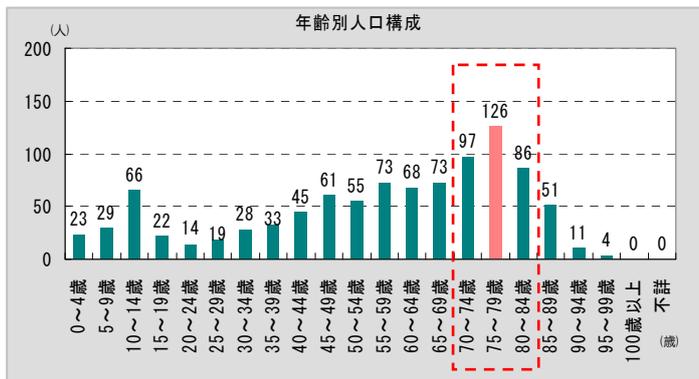


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示し、平成12年と比較して約350人が減少し、984人となっています。
- 若年層が少なく、70歳～85歳までの人口構成が多くなっていることから、高齢化の進行が顕著となっています。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 津江山系の山々に囲まれる中、地区の約9割が山林緑地で構成されており、その内の約5割は保安林となっています。
- 国道・県道の周辺部に集落地や小売店舗が立地し、地域拠点を形成しています。
- 農用地としての土地利用は少ないですが、農業振興地域の指定があります。



宮園神社

● 交通体系

- 主要な幹線道路として国道387号・国道442号・県道日田鹿本線・県道天瀬阿蘇線・県道栃野西大山線・県道鯛生菊池線が配置されていますが、国道・県道ともに未改良区間があります。
- 地形的に急峻な山林地帯であるため、土砂災害等による交通網寸断が懸念されます。



● 公園緑地

- 地区の約8割を占める山林緑地が、津江山系県立自然公園に指定されています。
- 既存の公園として、市ノ瀬公園、下釜公園、栃原公園の3公園を整備しています。

● 都市施設

- 一部地域で、簡易水道や給水施設及び飲用井戸が整備されていますが、その他の地域は給水区域外となっています。
- 地形的な条件から合併処理浄化槽の設置による生活排水処理が中心となっています。
- 津江川等の増水により、護岸や道路の損壊、家屋の浸水被害が懸念されます。
- 中津江振興局や社会福祉施設等の公共施設が立地していますが、小学校の統廃合に伴う跡地活用が課題となっています。

● 景観

- 下釜ダムの「蜂の巣湖」周辺は、背後の山々と一体となった美しい水辺の景観を形成しています。
- 宮園神社の自然林（杉林）や伝来寺庭園等の自然特性等を活かした特徴ある景観資源が点在しています。



● 防災

- 豪雨に伴う河川・水路等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- 道の駅や宿泊施設等を有する「鯛生金山」やスポーツ・レクリエーション施設である「鯛生スポーツセンター」等の観光・交流施設を有しています。



中津江地区の現況・課題図

【土地利用】

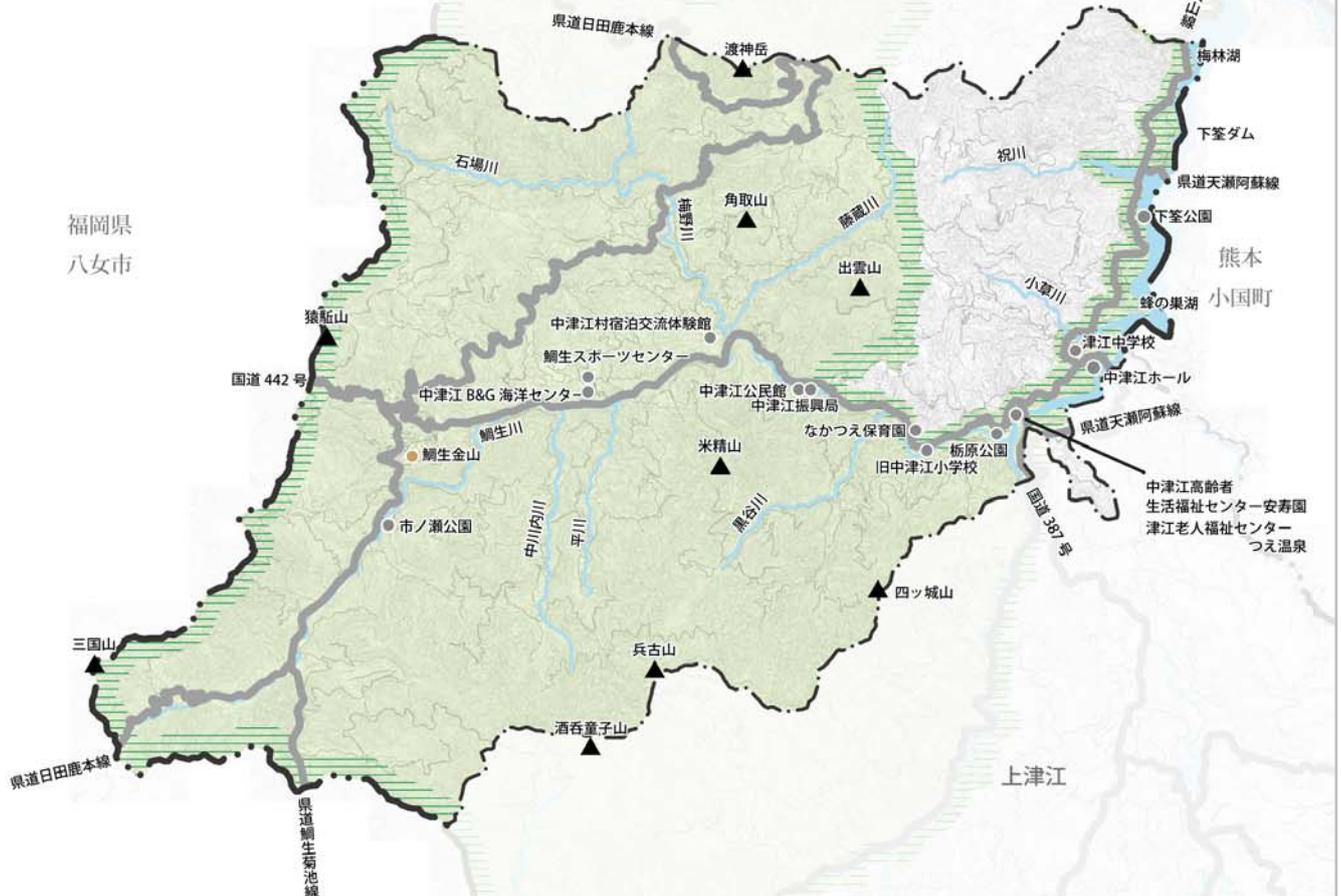
- 津江山系の急峻な山々に囲まれ、地区の約9割が山林緑地
- 国道・県道の沿道に集落地や小売店舗や医療施設が立地
- 農用地は少ないが、一部に農業振興地域あり

【公園緑地】

- 地区の約8割が津江山系県立自然公園に指定
- 既存公園として、市ノ瀬公園等の3公園を設置

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、国道2路線と県道4路線を配置
- 急峻な地形等により、土砂災害等による交通網の寸断が懸念



【都市施設】

- 一部の地域で簡易水道や給水施設及び飲用井戸があるが、その他は給水区域外
- 合併処理浄化槽による生活排水処理が中心
- 津江川等の増水により、護岸や道路等の崩壊が懸念
- 振興局や福祉施設が立地し、小学校の統廃合もあり

【景観】

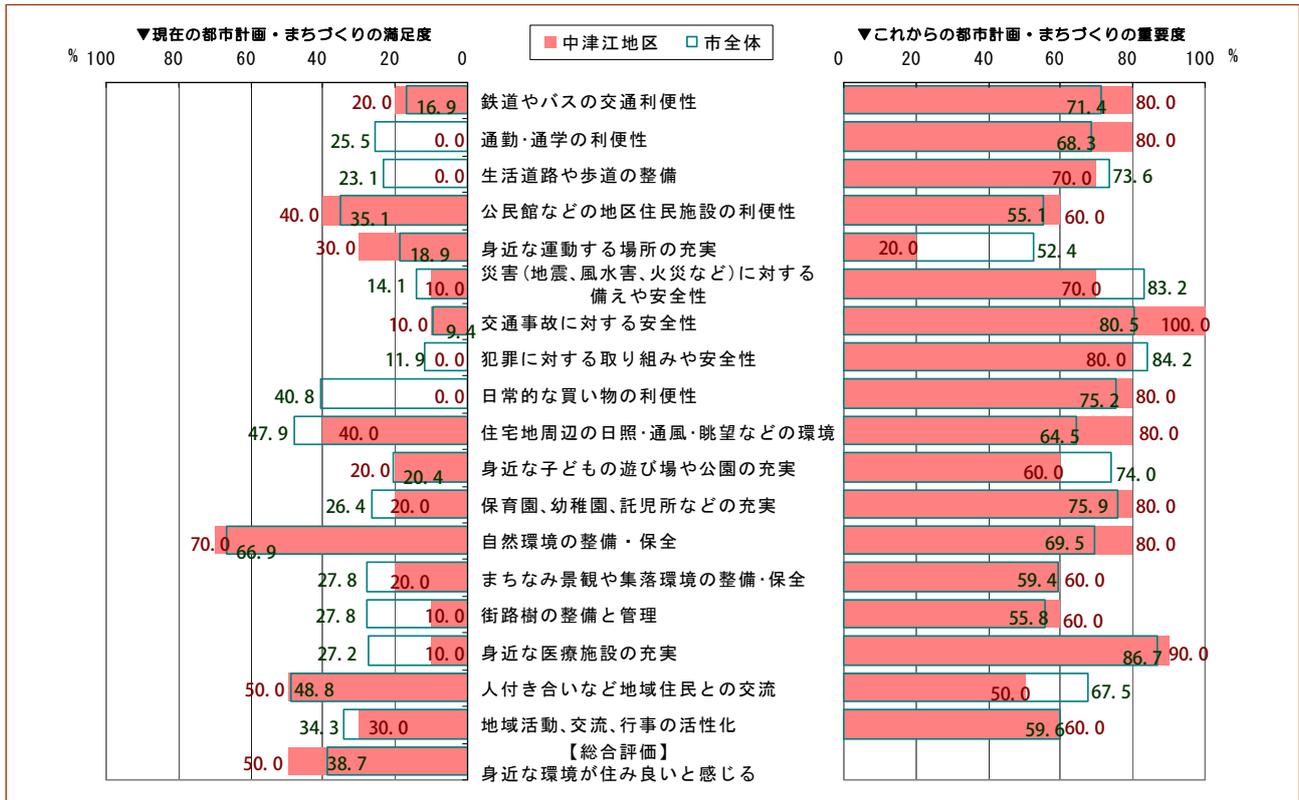
- 下釜ダム周辺は、背後の山々と一体となった美しい水辺景観を形成
- 宮園神社の自然林や伝来寺庭園等の自然特性を生かした特徴ある景観資源あり

【防災】

- 豪雨等に伴う水害や土砂災害等による集落地の孤立が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認

● 市民の意向

- 通勤・通学や日用品の買い物、生活道路や歩道の整備等、日常生活に必要な機能や医療体制、犯罪に対する取り組み、安全・安心について満足度が低くなっています。
- 自然公園の指定指定等の規制により自然環境が保全されていることから、満足度が高くなっています。
- 地理的な条件として、狭隘な道路区間があることから、交通事故に対する安全性や通行の利便性等に関する重要度が高いことが特徴的です。
- 人口が減少傾向にあるものの、地域活動や地域交流等に関する重要度が低いことから、地域のつながりの強さが伺えます。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 広大で急峻な森林やいくつもの支流からなる河川は多くの機能を有し、豊かな水が生まれ育つ水源地域であることから“自然環境を活かしたまちづくり”を推進します。
- 幹線道路等の生活基盤等の整備により“安全・安心なまちづくり”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地 利用

- 多様な機能を有している津江山系の豊かな山林緑地の保全と適正な維持・管理による機能の維持に努めます。
- 集落地や各種集客施設等が立地している地域周辺の基盤整備及び機能維持により、居住環境の向上に努めます。
- 地区の大部分を占める山林緑地や農用地等の適切な維持・管理による機能維持及び無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制に努めます。

● 交通 体系

- 広域的な交流の促進や医療・防災等において重要な役割を果たす幹線道路の整備や維持・管理により、地区内外の連携を促進します。
- 地区内における道路機能の維持や向上により、幹線道路との効果的な連携に努めます。
- デマンドバス等の公共交通機関の機能の維持に努めます。



県道日田鹿本線

● 公園 緑地

- 津江山系県立自然公園の指定地域では、山林緑地等の自然環境の保全に努めます。
- 既存の3公園については、憩いや活動の場としての活用促進を図るとともに、機能の維持・管理に努めます。

● 都市 施設

- 簡易水道等の水道供給施設の維持管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。
- 地区内にある既存公共施設の機能維持と統廃合している小学校の跡地利用を推進します。

● 景 観

- 自然環境を活かした景観資源を有していることから、積極的な保全と適切な誘導に努めます。

● 防 災

- 水害や土砂災害等の危険箇所に関する情報収集により、災害防止対策の促進に努めます。
- 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

● その 他

- 既存施設を活かした観光・交流の活性化を推進します。



鯛生金山

中津江地区の方針図

【土地利用】

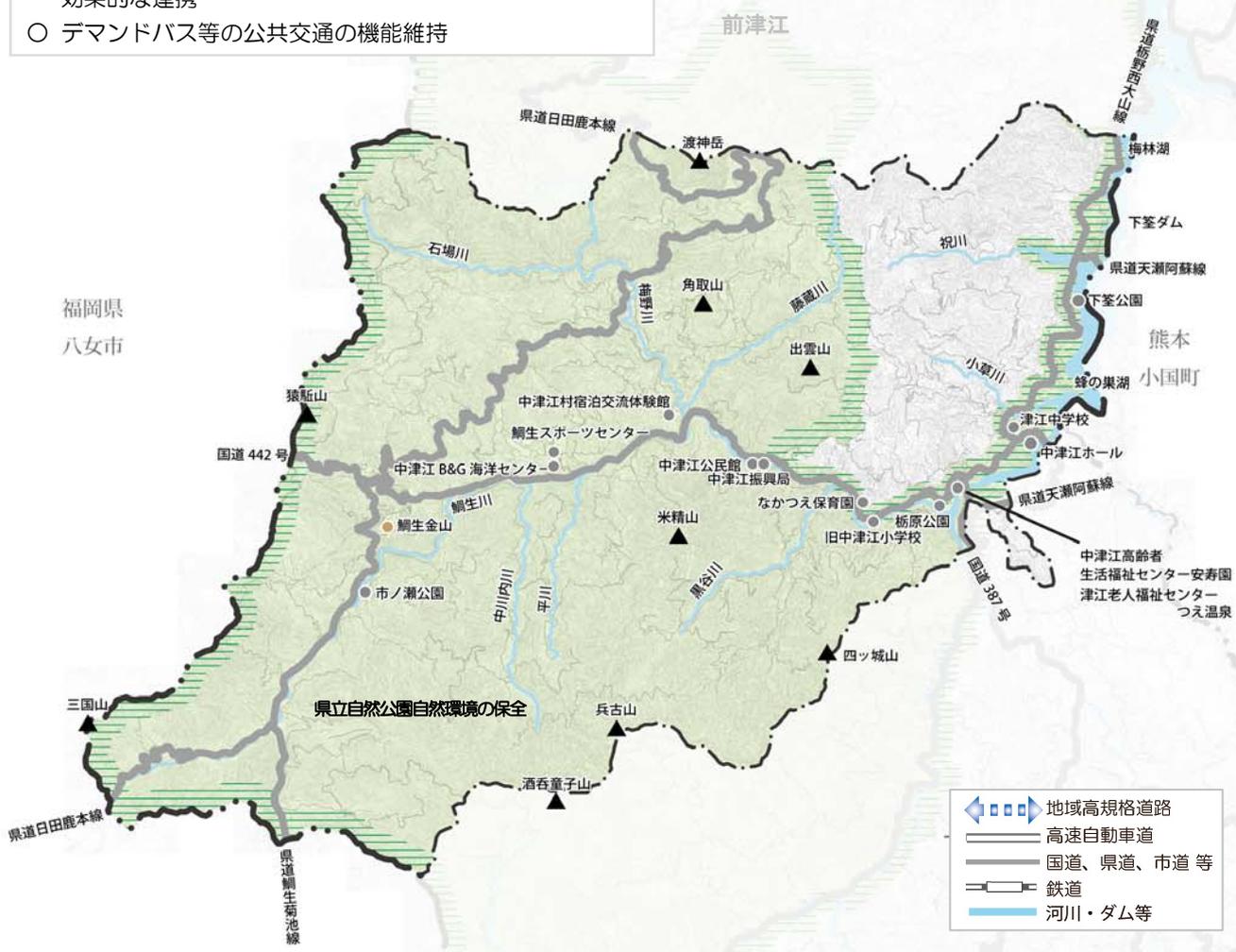
- 多様な機能を有する豊かな自然景観の保全と適正な管理による機能維持
- 集落地と周辺の基盤整備等による居住環境や利便性の向上
- 地区の大部分を占める山林緑地や農用地の保全と無秩序な土地利用や森林伐採等の抑制

【交通体系】

- 重要な役割を果たす幹線道路の整備と維持・管理と地区内外の連携の促進
- 地区内道路の機能の維持・向上による幹線道路との効果的な連携
- デマンドバス等の公共交通の機能維持

【公園緑地】

- 県立自然公園や山林緑地における自然環境の保全
- 既存公園の適正な維持・管理



【都市施設】

- 簡易水道等の水道供給施設の適切な維持・管理及び計画的な更新
- 合併処理浄化槽の設置を推進
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改修の推進
- 公共施設の機能の維持と小学校跡地の利活用の推進

【景観】

- 周辺の自然特性を活かした景観資源の保全及び適切な誘導

【防災】

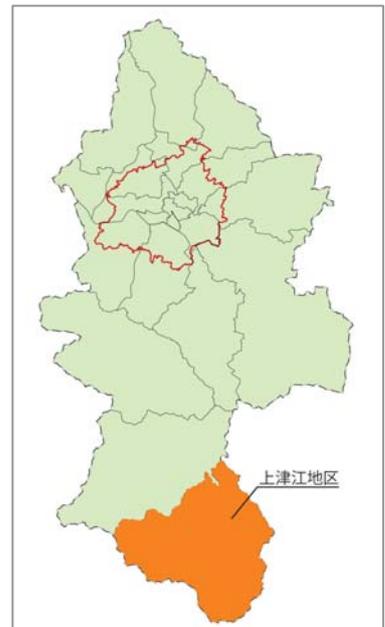
- 災害危険箇所の情報収集等による災害防止対策の促進
- 災害発生時の避難経路の確保や集落地の孤立、二次災害の回避及び連絡体制や情報の周知、避難行動の再確認

⑱ 上津江地区

(1) 地区の概況

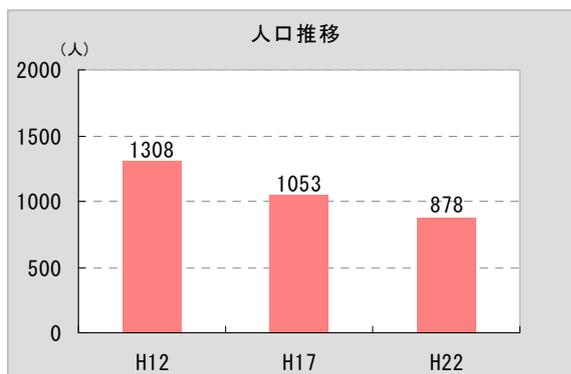
● 位置・地勢

- 市の最南端に位置しており、東部から南西部にかけて熊本県と隣接しています。また、南東部は阿蘇外輪山の一角をなし地区の約3割が津江山系県立自然公園に指定されています。
- 筑後川の最上流域であることから、筑後川流域や福岡都市圏水源の一部となっています。
- 地区の多くが山林緑地や農用地で占められており、農林業が主要な産業となっています。

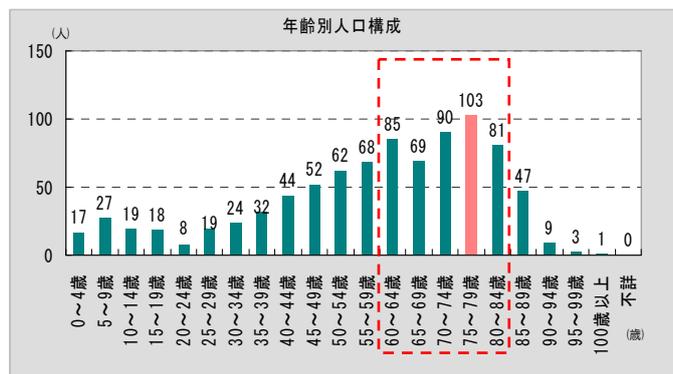


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示しており、平成12年と比較して約430人減少し、878人となっています。
- 60歳代から80歳代前半の人口が多く、若年層が少ないことから、高齢化が進行しています。



出典：国勢調査(H12・H17・H22)



出典：国勢調査(H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 熊本県との県境にまたがる津江山系の山々に囲まれ、地区の約8割以上が山林で占められており、そのうち管理が必要とされる人工林が約7割以上となっています。
- 「奥日田フィッシングパーク」や「オートポリス」等の大型集客施設が分散して立地しており、観光資源として地域特性を踏まえた土地利用が図られています。
- 国道387や県道天瀬阿蘇線等の沿道に集落地や農用地等があり、地域コミュニティが形成されています。



● 交通体系

- 主要な道路として国道387号、国道442号・県道天瀬阿蘇線・県道南小国上津江線・県道川原上野田線、県道上野田黒淵線が配置されていますが、国道・県道ともに一部未改良区間があります。
- 地形的に急峻な山林地帯であるため、土砂災害等による交通網寸断が懸念されます。

● 公園緑地

- 市民が活用する身近な公園等が少ない状況にあります。
- 地区北西部にある津江山系県立自然公園は、地区面積の約3割を占めています。

● 都市施設

- 簡易水道や給水施設及び飲用井戸が設置されていますが、一部未整備の地区もあります。
- 地理的な条件から、合併処理浄化槽の設置による生活排水処理が中心となっています。
- 川原川等の増水により、護岸や道路の損壊や家屋の浸水被害が懸念されます。
- 上津江振興局や保育園等の公共施設があり、ますが、小学校の統廃合による跡地の利活用が課題となっています。



● 景観

- 豊かな山林の自然景観が広がり、筑後川の源流である河川と地域間をつなぐ道路が並行していることから、特徴的な沿道景観を形成しています。



● 防災

- 豪雨に伴う河川・水路等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- 「奥日田フィッシングパーク」や「オートポリス」等の集客施設が点在し、スポーツ・レジャーの拠点となっています。



上津江地区の現況・課題図

【土地利用】

- 地区の約8割以上が山林緑地で占められており、うち約7割以上が人工林
- 大型の集客施設が分散して立地しており、観光資源としての土地利用
- 幹線道路周辺に集落地が点在し、地域コミュニティを形成

【交通体系】

- 主要な幹線道路として、国道2路線と県道4路線が配置
- 急峻な地形により、土砂災害等による交通網の寸断が懸念

【公園緑地】

- 地元住民が活用する身近な公園が少ない
- 津江山系県立自然公園の指定区域あり

【景観】

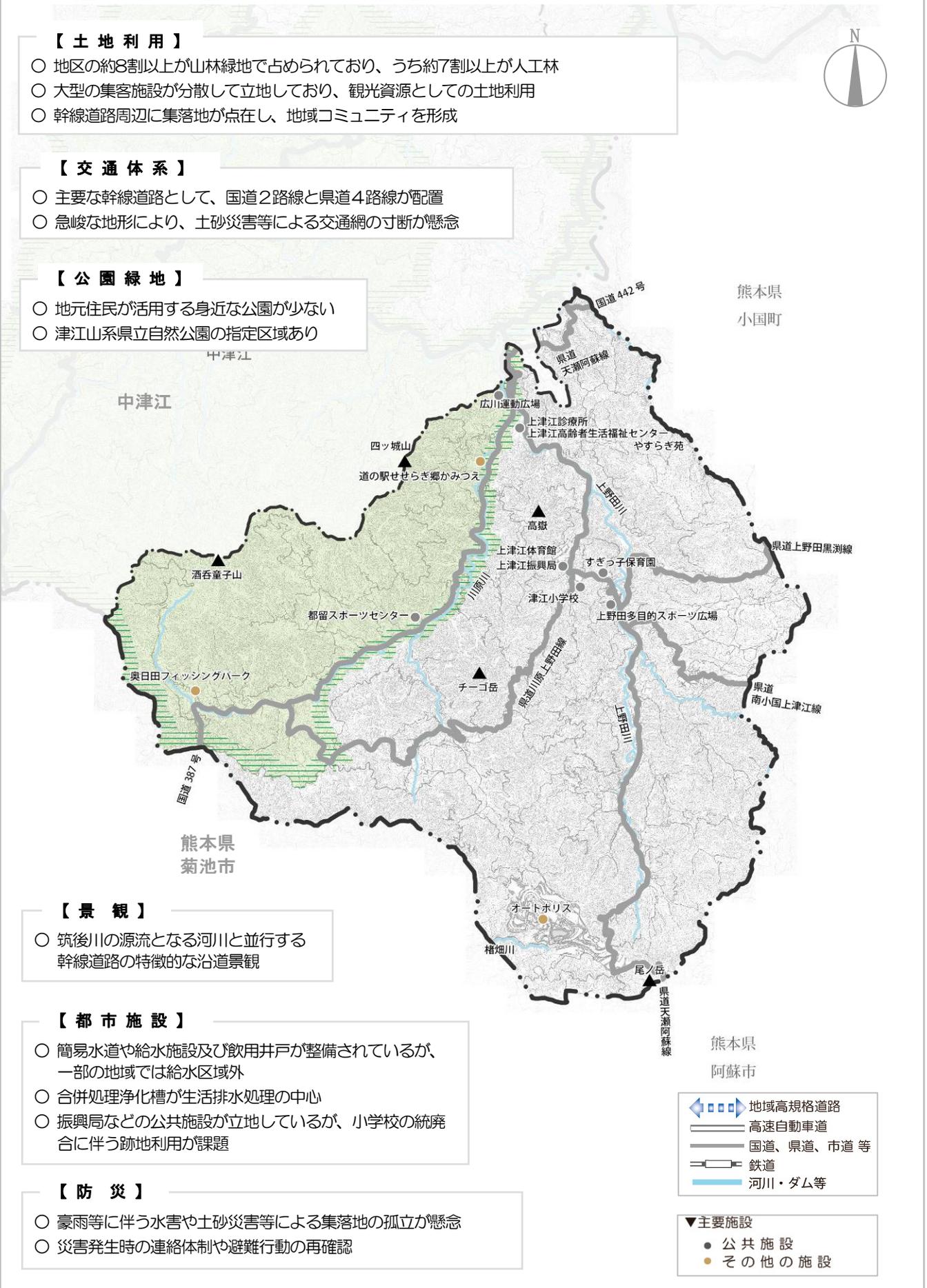
- 筑後川の源流となる河川と並行する幹線道路の特徴的な沿道景観

【都市施設】

- 簡易水道や給水施設及び飲用井戸が整備されているが、一部の地域では給水区域外
- 合併処理浄化槽が生活排水処理の中心
- 振興局などの公共施設が立地しているが、小学校の統廃合に伴う跡地利用が課題

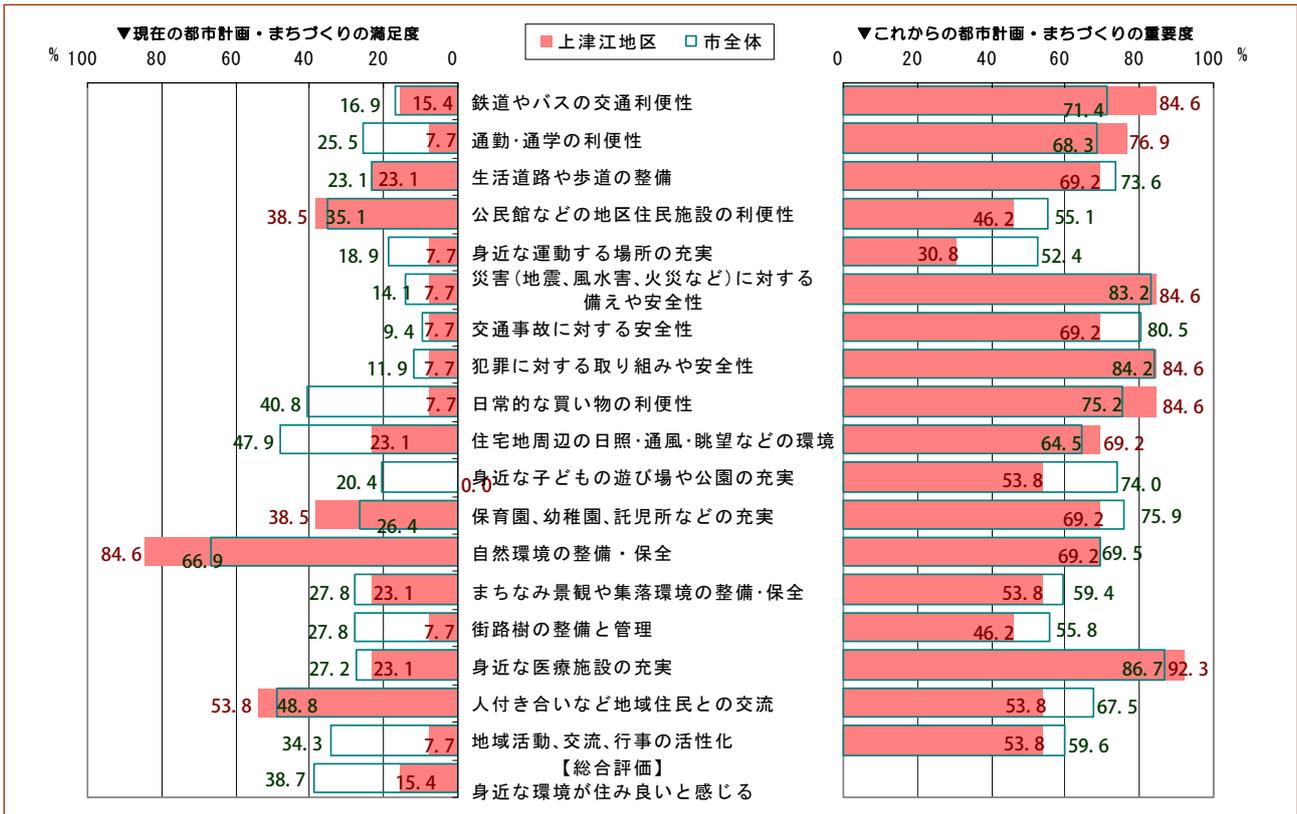
【防災】

- 豪雨等に伴う水害や土砂災害等による集落地の孤立が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認



● 市民の意向

- 通勤・通学や日用品の買い物、生活道路や歩道の整備等、日常生活に必要な機能に対する満足度が低くなっています。
- 地域活動や地域交流等に対する満足度が低くなっていることから、人口減少傾向に対する懸念が伺えます。
- 幼児～20歳代までの人口割合が少ないことから、身近な公園や運動施設に対する重要度が低くなっています。
- 人付き合い等の地域交流に対する満足度の高さが、地区住民の結びつきの強さに反映されていることが伺えます。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 豊かな自然環境を利用した農林業の振興と豊かな水を生み出す山林緑地の適切な維持・管理により“**自然環境を活かした特色あるまちづくり**”を推進します。
- 計画的な生活基盤整備等による“**地域の主要な産業の振興**”及び“**日常生活の利便性の向上を目指したまちづくり**”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土地 利用

- 多様な機能を有している津江山系の豊かな自然環境の恒久的な保全と適正な管理による機能の維持に努めます。
- 集落地や各種集客施設等の周辺基盤整備の充実による居住環境の向上に努めます。
- 地区の大部分を占める山林緑地や農用地等の適切な維持・管理による機能維持及び無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制に努めます。

● 交 通 体 系

- 広域的な交流の促進や医療・防災等において、重要な役割を果たす幹線道路の整備や維持・管理により、地区内外の連携を促進します。
- 地区内における道路機能の維持や向上により、幹線道路との効果的な連携に努めます。
- デマンドバス等の公共交通機関の機能維持に努めます。

● 公 園 緑 地

- 子供の遊び場や地区住民の憩いの場となる身近な公園の必要性について検討します。
- 津江山系県立自然公園の指定地域では、山林緑地等の自然環境の保全に努めます。

● 都 市 施 設

- 簡易水道等の水道供給施設の維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。
- 地区内にある既存公共施設の機能の維持と統廃合している小学校の跡地利用を推進します。

● 景 観

- 筑後川源流域の河川と道路が並行する特徴的な景観を保全するため、沿線の建築物等は背景となる山林・河川景観との調和を重視し、適切な誘導・規制を図ります。



● 防 災

- 水害や土砂災害等の危険箇所に関する情報収集により、災害防止対策の促進に努めます。
- 道路交通網の整備や情報通信基盤の活用を促進し、災害発生時の避難経路確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

● そ の 他

- 集客力のあるスポーツ・レジャー施設や道の駅等へのアクセス性の向上や既存施設を活かした観光・交流の促進に努めます。



⑱ 大山地区

(1) 地区の概況

● 位置・地勢

- 市の中央部に位置しており、熊本県と隣接する地区です。
- 地区の約9割以上が農用地や山林緑地等で占められており、大山川等が急峻なひびき溪谷の谷間を南北に流れています。
- 農業が主要な産業であることから、地区世帯の約5割が就農しており、全国に先駆けて少量多品目栽培等の地域資源を活かした取組みが進められています。

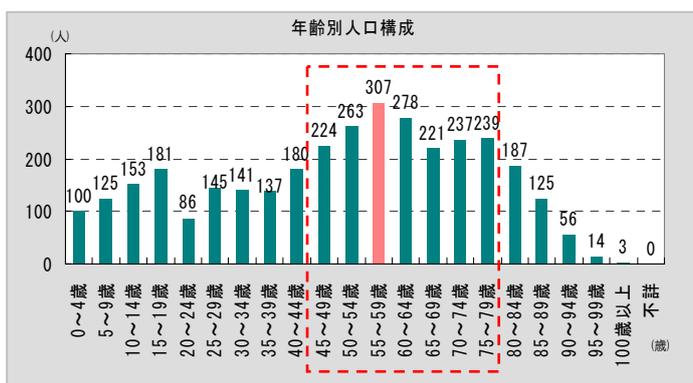


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示し、平成12年と比較して約510人減少し、3,402人となっています。
- 40歳代から80歳代後半までの人口が比較的多く、20歳代から30歳代の若い世代が少なくなっています。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 地区の約8割以上が山林緑地で占められており、約1割程度が農用地としての土地利用となっています。
- 国道212号等の幹線道路周辺に集落が点在しており、地域コミュニティが形成されています。
- 地区内に長期間の未利用地があります。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として国道212号・県道日田鹿本線・県道西大山大野日田線・県道栃野西大山線が配置されています。
- 急峻な渓谷の間を通過している道路が多いことから、土砂災害等による交通網寸断が懸念されます。
- 大分～熊本間の主要な幹線道路が配置されていることから、流通や観光等の交流に伴う大型車両等の交通量が増加しています。

● 公園緑地

- 既存公園として、北部児童公園・中間河川公園・中央梅林公園・貫見つつじ台展望公園等4公園が整備されています。
- 大山川沿いが耶馬日田英彦山国定公園に指定されています。

ひびき渓谷



● 都市施設

- 一部地域で簡易水道が整備されていますが、その他の地域は給水区域外となっています。
- 特定環境保全公共下水道や合併処理浄化槽による生活排水処理が中心となっています。
- 大山川等の増水により、護岸や道路の損壊、家屋の浸水被害が懸念されます。
- 大山振興局や社会福祉施設等の公共施設が立地しており、小学校の統廃合があります。

● 景観

- 松原ダム周辺は、背景となる山々と一体となった美しい水辺景観を形成しています。
- 地区の特産品である梅を栽培している梅園では、多くの梅の木が植生されており、良好な景観資源となっています。

梅林湖



● 防災

- 豪雨に伴う大山川等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。

● その他

- 地域資源を活かした集客力のある観光・交流施設等が点在しており、2月中旬から3月中旬に開催される梅まつりには、多くの観光客が訪れます。

道の駅「水辺の郷おおやま」



大山地区の現況・課題図

【土地利用】

- 地区の大部分が山林緑地や農用地としての土地利用が図られている
- 主に幹線道路沿道に集落地が点在しており、地域コミュニティが形成
- 地区内に長期間の未利用地あり

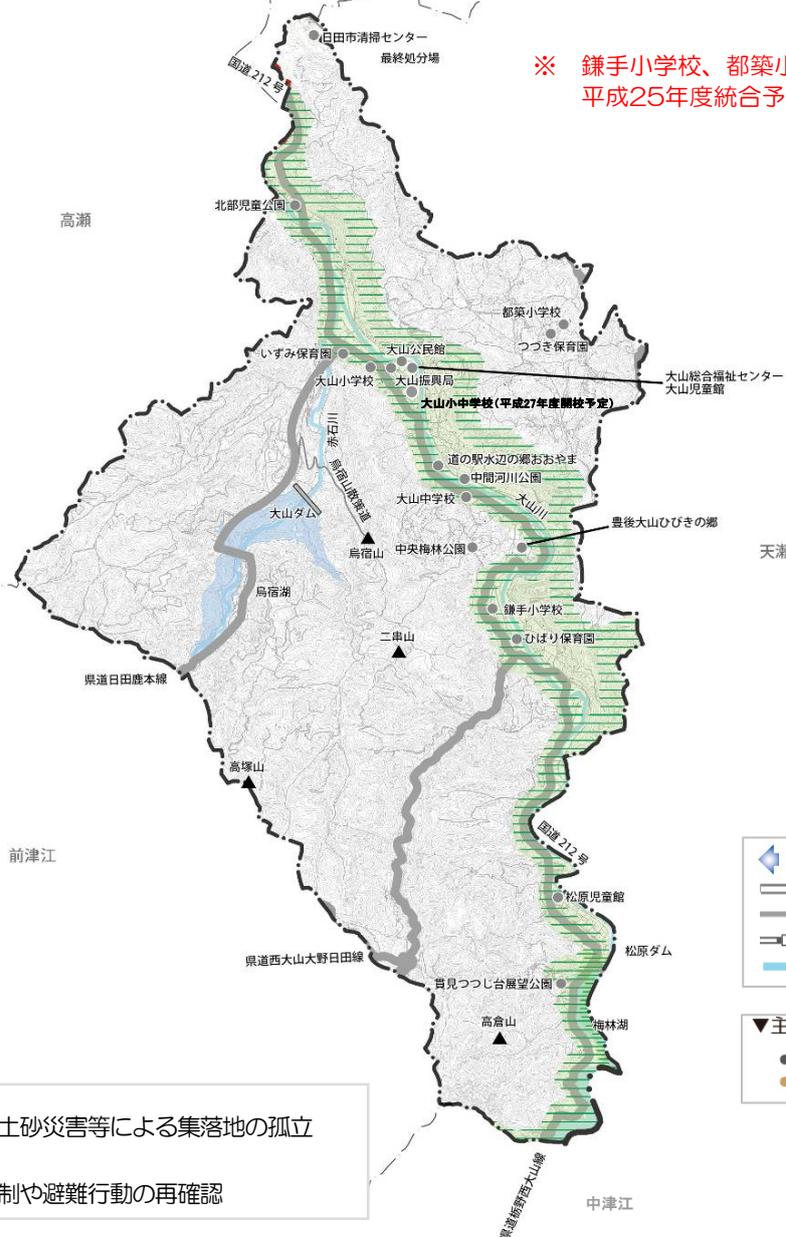
【交通体系】

- 主要な幹線道路として、国道1路線と県道3路線が配置
- 急峻な地形により、土砂災害等による交通網の寸断が懸念
- 流通や観光等の交流に伴う大型車両の交通量が増大

【公園緑地】

- 既存公園として、4公園が整備
- 大山川沿いを耶馬日田英彦山国定公園に指定

※ 鎌手小学校、都築小学校、大山小学校は平成25年度統合予定



【防災】

- 豪雨等に伴う水害や土砂災害等による集落地の孤立が懸念
- 災害発生時の連絡体制や避難行動の再確認

【都市施設】

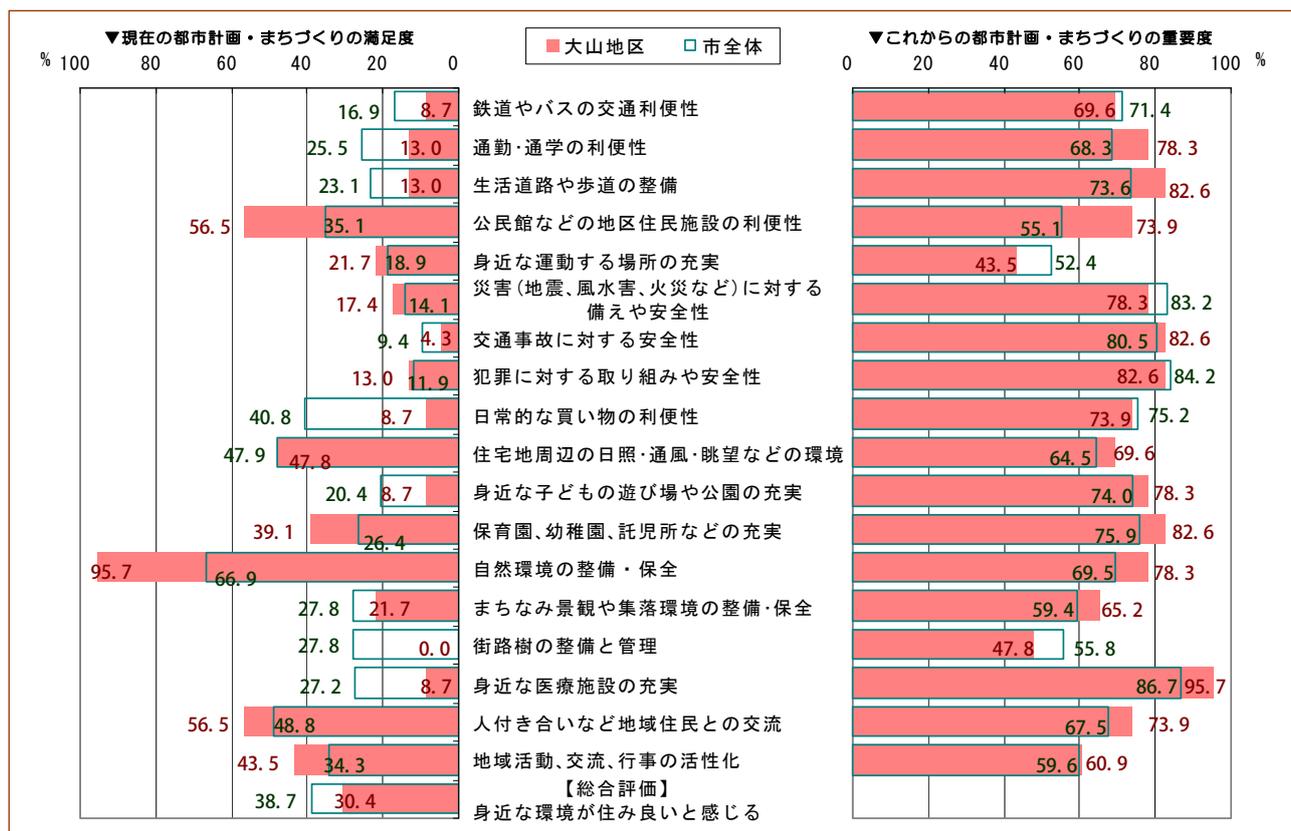
- 一部の地域で簡易水道が整備されているが、その他は給水区域外
- 特定環境保全公共下水道や合併処理浄化槽による生活排水処理が中心
- 大山川等の増水により、護岸や道路の損壊、家屋の浸水被害が懸念
- 振興局や福祉施設等が立地し、小中学校の統廃合あり

【景観】

- 松原ダム周辺や幹線道路から眺望できる美しい水辺景観や背景の山なみ景観あり
- 梅園等の良好な景観資源を有している

● 市民の意向

- 通勤・通学や日用品の買い物、生活道路や歩道の整備等、日常生活に必要な機能や医療体制、犯罪に対する取り組み等、安全・安心について満足度が低くなっています。
- ひびき溪谷や梅園等、地域特性を活かした資源を有していることから、自然環境に対する満足度が高くなっています。
- 地理的な条件として、狭隘な道路区間があることから、交通事故に対する安全性や通行の利便性等に関する重要度が高いことが特徴的です。
- 既存の医療施設がありますが、施設数が少なく、重要性・緊急性も高いことから満足度が低くなっています。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 拠点間を繋ぐ幹線道路等の維持管理や生活基盤の整備等により“安全・安心なまちづくり”を推進します。
- 「豊後・大山ひびきの郷」や道の駅「水辺の郷 おおやま」等の多様な交流施設の活用や地域の観光・産業の振興を図るため“地域資源を活かしたまちづくり”を推進します。



(3) 地区の方針

● 土 地 利 用

- 地区の大部分を占める山林緑地や農用地の適切な維持・管理による機能維持及び無秩序な土地開発や森林伐採等の抑制に努めます。
- 一定のコミュニティを形成している集落地周辺の基盤整備等による居住環境の利便性の向上に努めます。
- 地区内のまとまった未利用地の有効な土地利用を促進します。

● 交 通 体 系

- 広域的な交流の促進や医療・防災等において、重要な役割を果たす幹線道路の整備や維持・管理により、地区内外の連携を促進します。
- 地区内における道路機能の維持や向上により、幹線道路との効果的な連携に努めます。



● 公 園 緑 地

- 既存公園は、憩いや活動の場としての活用を図るとともに、適正な維持・管理に努めます。
- 地域資源である自然環境や空地を活かした公園整備を推進します。



● 都 市 施 設

- 簡易水道の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため、合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。
- 地区内にある既存公共施設の機能維持と統廃合している小学校の跡地利用を推進します。

● 景 観

- 松原ダム周辺の水辺景観や梅林公園、ひびき渓谷等、豊富な景観資源の適切な管理・保全と積極的な利活用を促進します。



● 防 災

- 大山川等の増水や氾濫に対する治水環境整備の推進や災害危険箇所等の情報収集等による災害防止対策を推進します。
- 災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による集落の孤立、二次災害の回避に努めます。

● そ の 他

- 多様な既存交流施設と地域資源を活用し、観光・交流を促進することで、地域振興を図ります。

② 天瀬地区

(1) 地区の概況

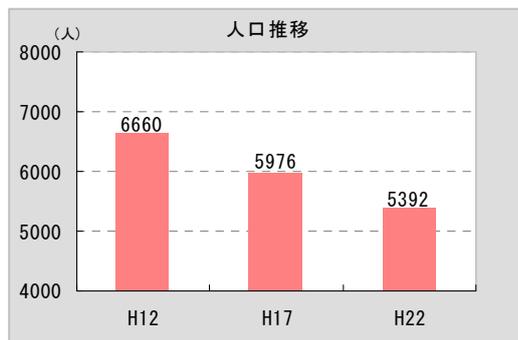
● 位置・地勢

- 市の東部に位置し、玖珠町や熊本県と隣接する地区です。
- 地区内を流れる玖珠川を境として、北側に標高200～400mの山林緑地、南側に自然豊かな台地が広がっています。
- 別府・湯布院と並び賞される掛け流しの天ヶ瀬温泉や九州でも有数の参拝者を誇る高塚愛宕地藏尊、慈恩の滝・桜滝・曾田の池等の豊かな自然環境にも恵まれ、多くの地域資源が点在しています。

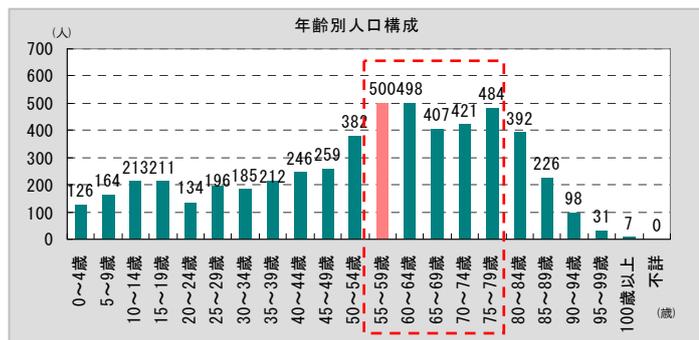


● 人口の動向

- 人口は減少傾向を示し、平成12年と比較して1,268人減少し、5,392人となっています。
- 50歳代後半～70歳代後半が多く、若年層が少ないことから、高齢化が進行しています。



出典：国勢調査 (H12・H17・H22)



出典：国勢調査 (H22)

(2) 地区の現況と課題

● 土地利用

- 地区内を流れる玖珠川沿いに、古くからの湯治場として親しまれている旅館や商店が立ち並び、天ヶ瀬温泉街を形成しています。
- 国道210号や県道天瀬阿蘇線の周辺には集落地が点在し、周辺地域に稲作や酪農を営んでいる農用地が形成されています。
- 地区南西部の五馬地域において、大規模な宅地開発が行なわれています。



● 交通体系

- 主要な幹線道路として大分自動車道・国道210号・国道212号・県道天瀬阿蘇線・県道玖珠天瀬線、県道岩戸五馬日田線・県道戸畑日田線・県道菅原戸畑線が配置されています。
- 大分～福岡間の主要な幹線道路が配置されていることから、流通や観光等の交流に伴う大型車両や自家用車等の通過が多くなっています。
- 公共交通として鉄道と定時路線バス等が運行しています。



● 公園緑地

- 既存公園として、天ヶ瀬温泉公園、天瀬総合運動公園等の4公園を整備しており、小規模なポケットパークが点在しています。
- 玖珠川沿いに耶馬日田英彦山国定公園、地区南部に津江山系県立自然公園が指定されています。

● 都市施設

- 一部地域で簡易水道が整備されていますが、その他の地域は給水区域外となっています。
- 地形的な条件から合併処理浄化槽の設置による生活排水処理が中心となっています。
- 玖珠川等の増水による浸水被害が懸念されます。
- 天瀬振興局や社会福祉施設等の公共施設が立地しています。

● 景観

- 玖珠川が流れる山あいには集落地を形成している天ヶ瀬温泉街が、風情ある景観を醸し出しています。
- 道路沿いから見える山なみ景観と河川景観が一体となって、日田特有の自然景観を形成しています。

● 防災

- 豪雨に伴う玖珠川等の増水による氾濫や土砂災害により、山間に点在する集落地の孤立が懸念されます。
- 災害発生時の避難場所や避難行動の周知や日頃からの連絡体制の確認・強化が求められています。



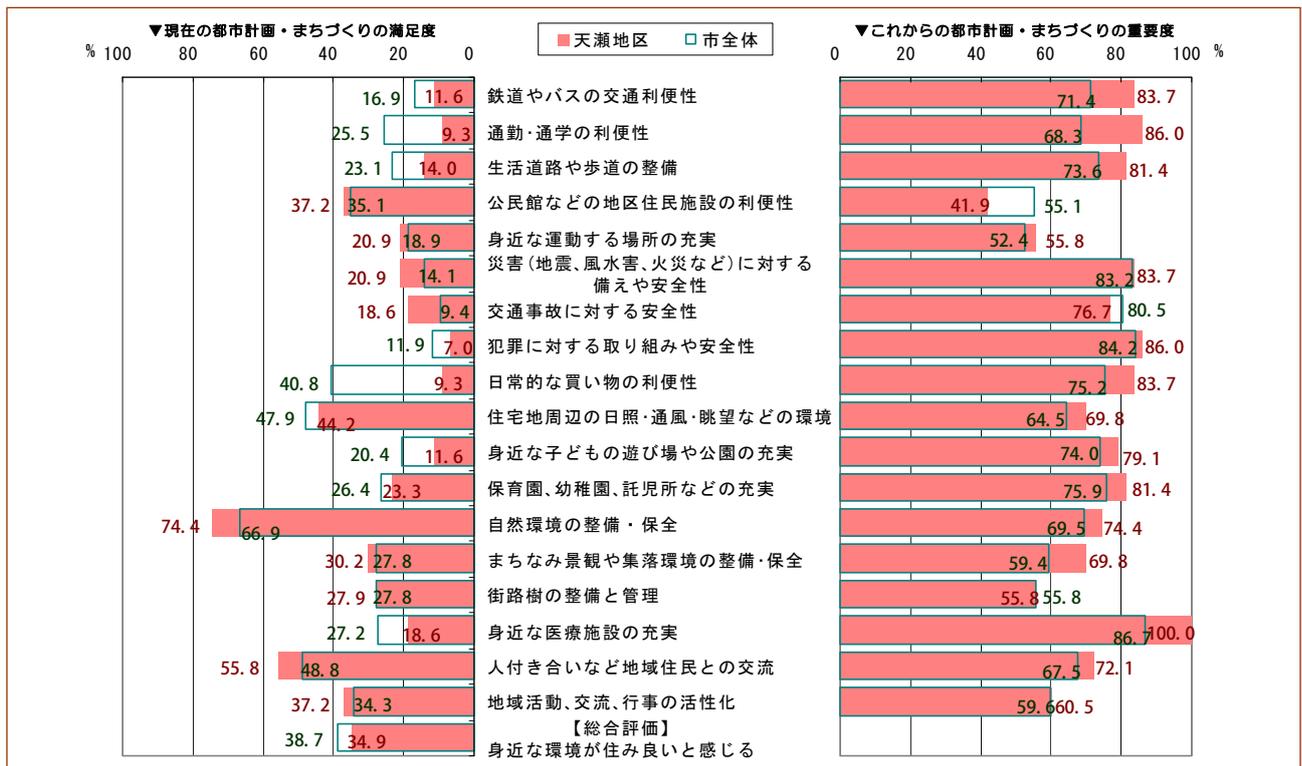
● その他

- 貴重な地域資源である温泉や自然景観が、多く点在しています。



● 市民の意向

- 通勤・通学や日用品の買い物、生活道路や歩道の整備等、日常生活に必要な機能や医療体制、犯罪に対する取り組み等、安全・安心について満足度が低くなっています。
- 既存の公園が整備されていますが、規模が大きいことから満足度が低く、身近な公園と感じられていないことが伺えます。
- 既存の病院・診療所がありますが、施設数が少なく、重要性・緊急性も高いことから満足度が低くなっています。
- 主要な幹線道路である国道・県道が縦横断していますが、日常生活に欠かせない通勤・通学や買い物等の利便性の高さには結びついていないことが伺えます。



出典：日田市都市計画マスタープランの見直しに係るアンケート調査報告書（平成23年3月/日田市）

● 地区の将来像

- 天ヶ瀬温泉街や多様な交流施設、レジャーパーク等地域の観光・産業の振興を積極的に図るため“**地域資源を活かしたまちづくり**”を推進します。
- 国道210号等の主要な幹線道路の周辺に点在する集落地の利便性・安全性の向上を図るため生活基盤等の整備や維持・管理による“**安全・安心で暮らしやすいまちづくり**”を推進します。



ローズヒルあまがせ

(3) 地区の方針

● 土地利用

- 地区の大部分を占める豊かな山林緑地や農用地は、適切な維持・管理を行なうことにより自然機能の保全を推進します。
- 無秩序な土地開発や無計画な森林伐採等による土地利用の抑制により、居住環境や自然環境の保全に努めます。

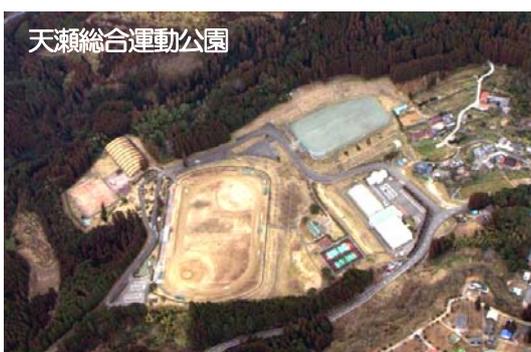


● 交通体系

- 広域的な交流の促進や医療・防災等において、重要な役割を果たす幹線道路の整備や維持・管理により、地区内外の連携を促進します。
- 地区内における道路機能の維持や向上により、幹線道路との効果的な連携に努めます。

● 公園緑地

- 地区に点在する既存公園の適正な管理・保全による機能の維持に努めます。
- 耶馬日田英彦山国定公園や津江山系県立自然公園を中心として、地区に広がる山林緑地や農用地の適正な保全に努めます。



● 都市施設

- 簡易水道の適切な維持・管理及び計画的な更新に努めます。
- 自然環境や河川の水質保全及び汚染防止のため合併処理浄化槽の設置を推進します。
- 氾濫の恐れのある河川や水路等の計画的な改修を推進します。
- 地区内にある既存公共施設の機能維持と統廃合している小学校の跡地利用を推進します。

● 景観

- 玖珠川沿いの天ヶ瀬温泉街や桜滝等、地区に点在する地域特有の景観資源を守り・育て、良好な景観の形成に努めます。



● 防災

- 玖珠川等の増水や氾濫に対する治水環境整備の推進や災害危険箇所等の情報収集等による災害防止対策を推進します。
- 災害発生時の避難経路の確保や迅速な情報提供による集落孤立、二次災害の回避に努めます。

● その他

- 地域資源である温泉や自然環境を活かした観光交流の促進による地域産業の活性化に努めます。

